

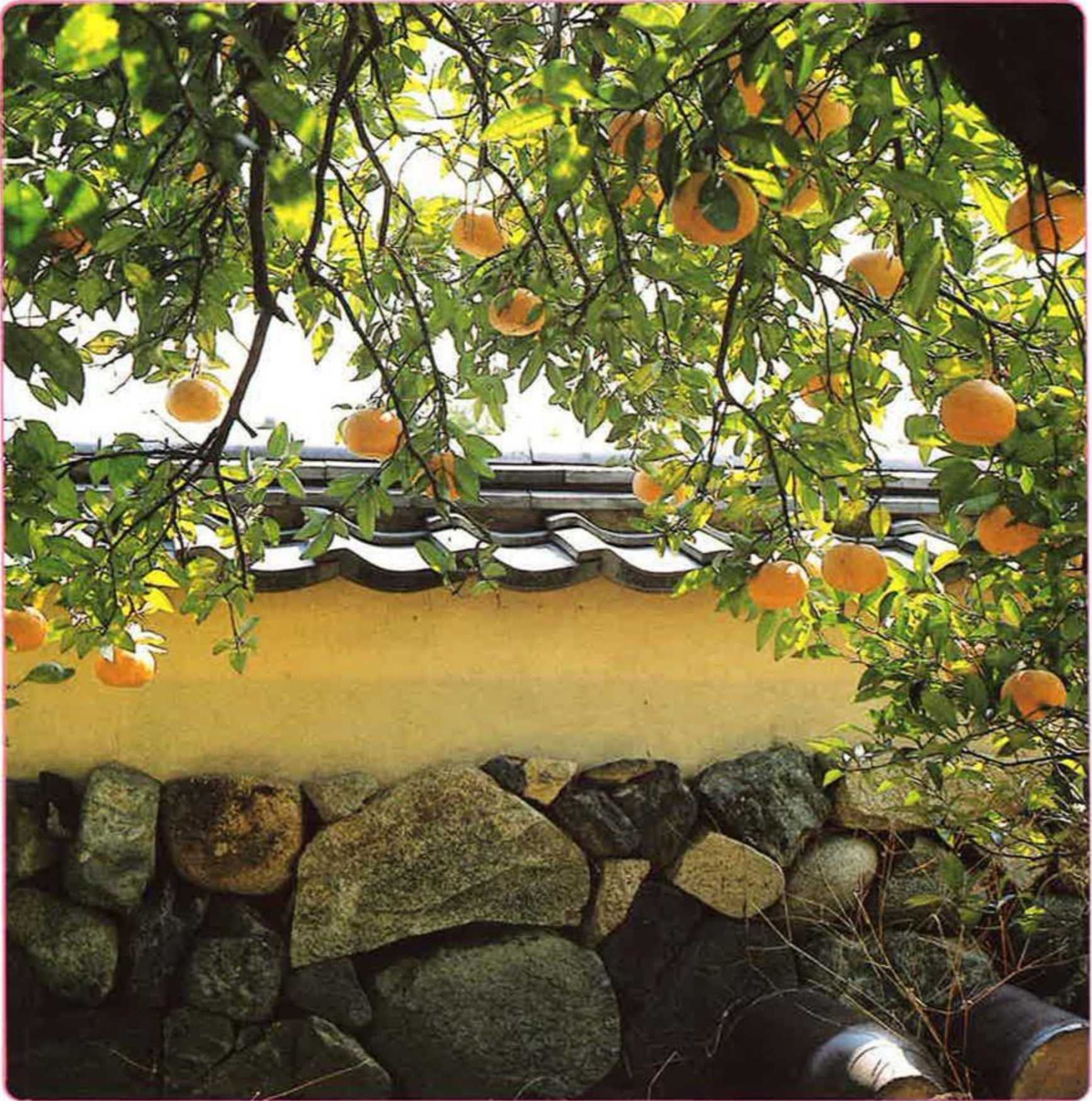
# わたしたちのふるさと 萩



萩市教育委員会

11

有志心  
氏寄贈



土べいと夏みかん



市木 黒松



市花 つばき



市花 はぎ



益田家物見矢倉  
ますだ けもの み やくら



萩焼きのぼり窯  
や がま



萩城跡 (国指定史跡)  
しやう せき していしせき

# 小学校社会科3・4年用 わたしたちのふるさと萩



はぎし みるけんしょう  
萩市民憲章

- 美しい自然と豊かな詩情のまち萩をまもりましょう。
- 輝かしい歴史のうえに新しい文化のまち萩をつくりましょう。
- 明るい社会とのびゆく産業のまち萩をそだてましょう。



## はじめのことば

萩市長 小池 春光

萩市は、<sup>ゆた</sup>豊かな<sup>みどり</sup>緑の山々にかこまれて日本海に面し、阿武川の<sup>せいりゅう</sup>清流にいだかれる美しい町です。

また、<sup>じょうかまち</sup>城下町として<sup>はったつ</sup>発達したことや<sup>めいじいしん</sup>明治維新のときに、新しい日本をつくるために、多くの人たちが活やくした町としても<sup>ひろ</sup>広く知られています。市内には、今でも、<sup>れきし</sup>歴史を伝える文化や<sup>いせき</sup>遺跡がたくさん<sup>のこ</sup>残っています。

萩市では、このように、豊かな<sup>しぜん</sup>自然と<sup>かがや</sup>輝かしい文化や<sup>でんとう</sup>伝統を大切にしながら、市民のみなさんが、豊かで住みよい町にするために、<sup>けいかく</sup>計画を立てて、仕事をすすめています。

萩市は、21<sup>せい</sup>世紀に向かって、「<sup>ていえんとし</sup>庭園都市・萩」、歴史と自然を生かし<sup>そうぞう</sup>創造する町として、大きく<sup>はってん</sup>発展しようとしています。

この本は、萩市のことがよくわかるようにまとめられています。この本で萩市のようにすを正しくつかんで、これからの<sup>きょうど</sup>郷土の発展に役立つ学習をして<sup>きたい</sup>くれることを期待しています。

## 「わたしたちのふるさと 萩」を

### 利用するみなさんへ

萩市教育委員会 教育長 都築 泰

わたしたちのふるさと「萩市」は、わたしたちの祖先が、遠いむかしから苦心して、守り、育て、きずきあげてこられたりっぱな町です。

この萩市に住んでいるわたしたちは、歴史と自然を大切にしながら、さらに豊かで住みよい町づくりのために努力しなければなりません。

そのためには、萩市の土地のようす、人々の仕事やくらしのようす、住みよい町にしていくための人々の努力や願い、そして、今の萩市をつくりあげてきたむかしの人々のようすなどについて、しっかり学習することが大切です。

このたび、市内の先生方のご努力によって、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちのふるさと 萩」が新しく書きあらためられました。

この本は、カラー写真や図表などを多くとり入れ、みなさんが親しんで学習できるように工夫してあります。これを使って郷土のことをよく知り、ふるさと萩市を愛し、萩市のいっそうの発展に役立つ人に育ってくれることを願っています。

# も く じ

## 1 みんなでつくるまちづくり ..... 2

- (1) 庭園都市づくり ..... 2
- (2) みんなの公<sup>かん</sup>民館 ..... 6

## 2 わたしたちのまち萩市 ..... 10

- (1) 萩市ぜんたいのようす ..... 12

## 3 みんなの商店がい ..... 24

- (1) 買い物調<sup>ものしら</sup>べ ..... 24
- (2) 萩市の商店がい ..... 28
- (3) スーパーマーケット ..... 32
- (4) 品物の動<sup>うご</sup>き ..... 34
- (5) じょうずな買い物 ..... 35

## 4 わたしたちのくらしとものをつくる仕事<sup>しごと</sup> ..... 36

- (1) 市みんの仕事 ..... 36
- (2) 工場ではたらく人びとの仕事 ..... 38
- (3) 田畑<sup>はた</sup>ではたらく人びとの仕事 ..... 48
- (4) 海ではたらく人びとの仕事 ..... 58

## 5 くらしのうつりかわり ..... 68

- (1) 道具<sup>どうぐ</sup>からむかしのくらしを調べる ..... 68
- (2) くらしのうつりかわり ..... 70
- (3) れきしを伝える古いものさがし ..... 76

## 6 くらしをよくするために ..... 80

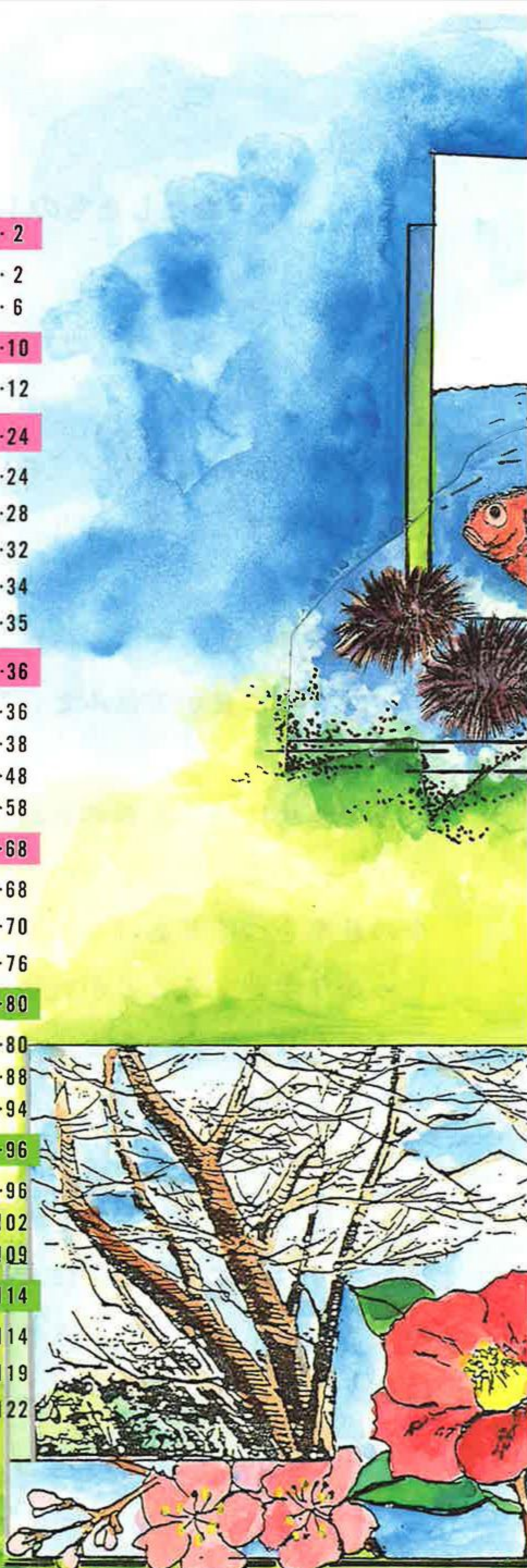
- (1) 住みよいくらしとごみ ..... 80
- (2) くらしをささえる水 ..... 88
- (3) 萩地方の電気 ..... 94

## 7 市民の安全を守る ..... 96

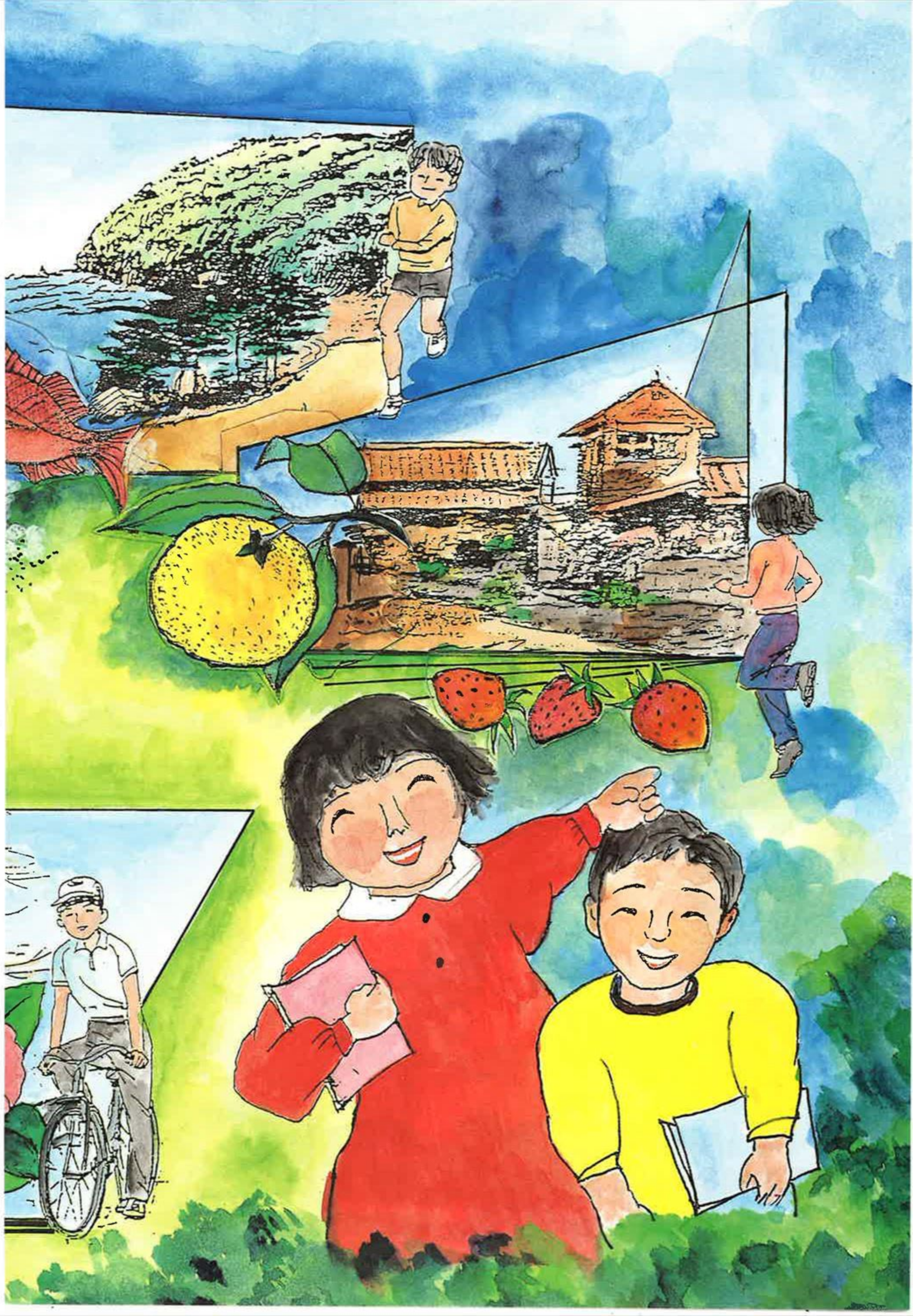
- (1) 交通じこをふせぐ ..... 96
- (2) 火事をふせぐ ..... 102
- (3) 水害をふせぐ ..... 109

## 8 きょう土を開いた人々 ..... 114

- (1) きょう土のはってんにつくした人々 ..... 114
  - (2) 夏みかんと小幡<sup>おばたかまさ</sup>高政 ..... 119
- 萩市のうつりかわり (年表) ..... 122







# 1 みんなでつくるまちづくり

## (1) <sup>ていえんとし</sup>庭園都市づくり

きれいだね。こいがいるよ。



花が、いっぱい  
さいてるよ。





うつく  
美しいまちづくりのために、  
どんなことをしているのかな。



うつく  
美しいまちにしたいな

日曜日に、川そうじを  
したよ。



### 市長さんの話



いろいろな物が、落ち  
てたよ。



みなさんが住んでいる萩市は、海・川・山など、しぜんにめぐまれた広くて庭園えんのような美しいまちです。

この美しいまちをいつまでものこすために、市や多くの人たちが花いっぱい運うん動どうや河川せいそうなど、いろいろな活動かつどうをおこなっています。

みなさんも、このようなすばらしい萩市に生まれたことにほこりをもち、一人一人が気をつけ、みんなできょうりょくして美しいまちになるよう、がんばってほしいと思います。

# みんなできょうりょくしよう



↑市のえんじょによる杉すぎのなえづくり



↑はま浜のそうじ



あいばがわしゅうへん  
↑藍場川周辺の手入れ



↑美しい花づくり

みなさんの地いきでは、美しいまちにするために、どんなことがおこなわれているのでしょうか。

## (2) みんなの公<sup>かん</sup>みん館

### 萩市みん館



↑ 萩市小学校音楽会



↑ 萩市<sup>かがくてらんかい</sup>科学展覧会



↑ 萩市<sup>びじゅつてん</sup>美術展

# わたしたちの公みん館

ちゅうおう  
中央公みん館は、どのように  
つか  
使われているのかな。



↑中央公みん館

## 館長さんの話



萩市には、中央公みん館のほか、三見・大井・大島・見島に公みん館があります。

そこには、地いきの人たちが集まり、料理や書道や英会話など、いろいろな活動をしています。

こうしたことをとおして、地いきの人どうしのむすびつきを深めています。



↑ポスター



↑行事案内



↑事務室



↑料理教室



↑ちょうこく教室



↑おし絵教室



みなさんの地いきの公<sup>かん</sup>みん館は、どんな  
ことに<sup>つか</sup>使われていますか。



↑三見<sup>さんみ</sup>公みん館



いろいろなしせつや活動 かつどう



↑ 萩市立図書館 しりつとしよ



↑ 萩市みんな体育館 たいいく



↑ 萩市郷土博物館 はぎしきょうどはくぶつ




↑ 交通あんぜん運動 うんどう

みなさんの地いきでは、美しくて住みよいまちにするために、  
どんな活動をしていますか。

みなさんができる活動は、ありませんか。

## 2 わたしたちのまち萩市

 空から見よう

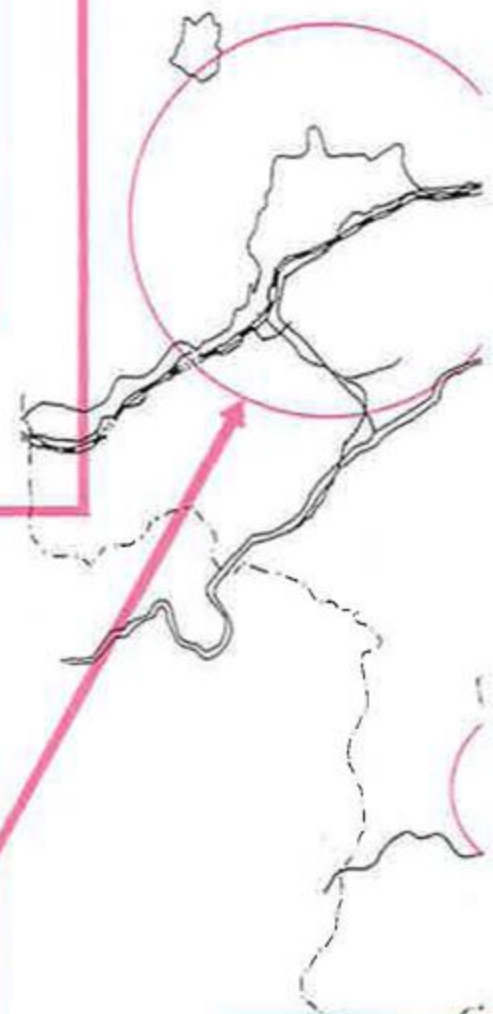
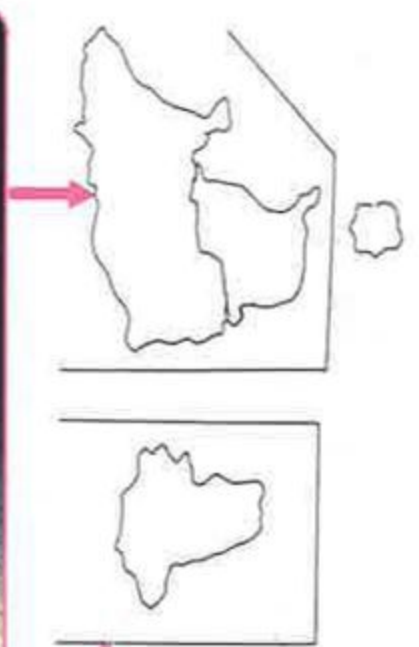
萩市ぜんたいは、どのような形をしているのでしょうか。  
また、土地は地いきによって、どのような<sup>つか</sup>使われ方をして  
いるのでしょうか。

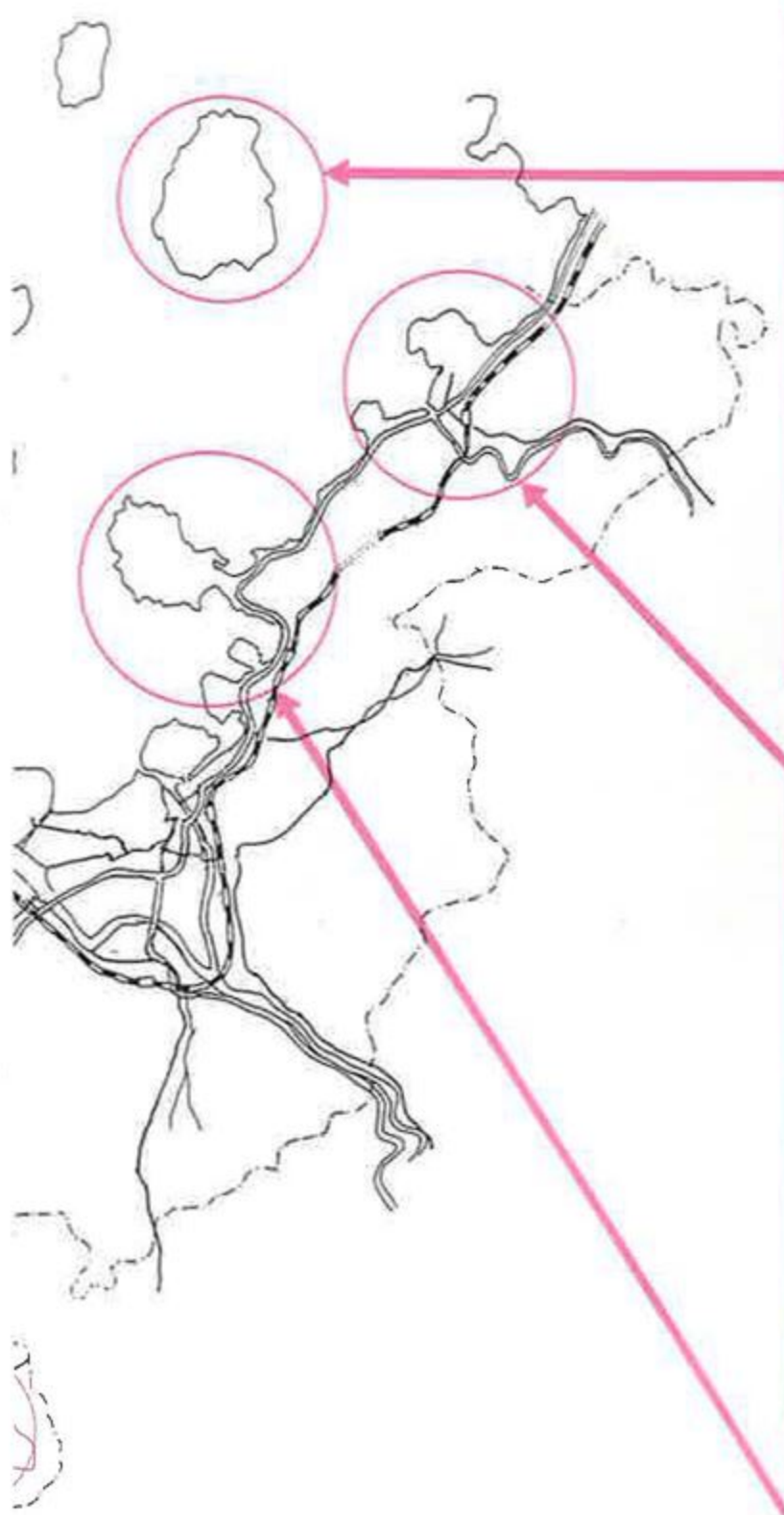


川内とその周辺

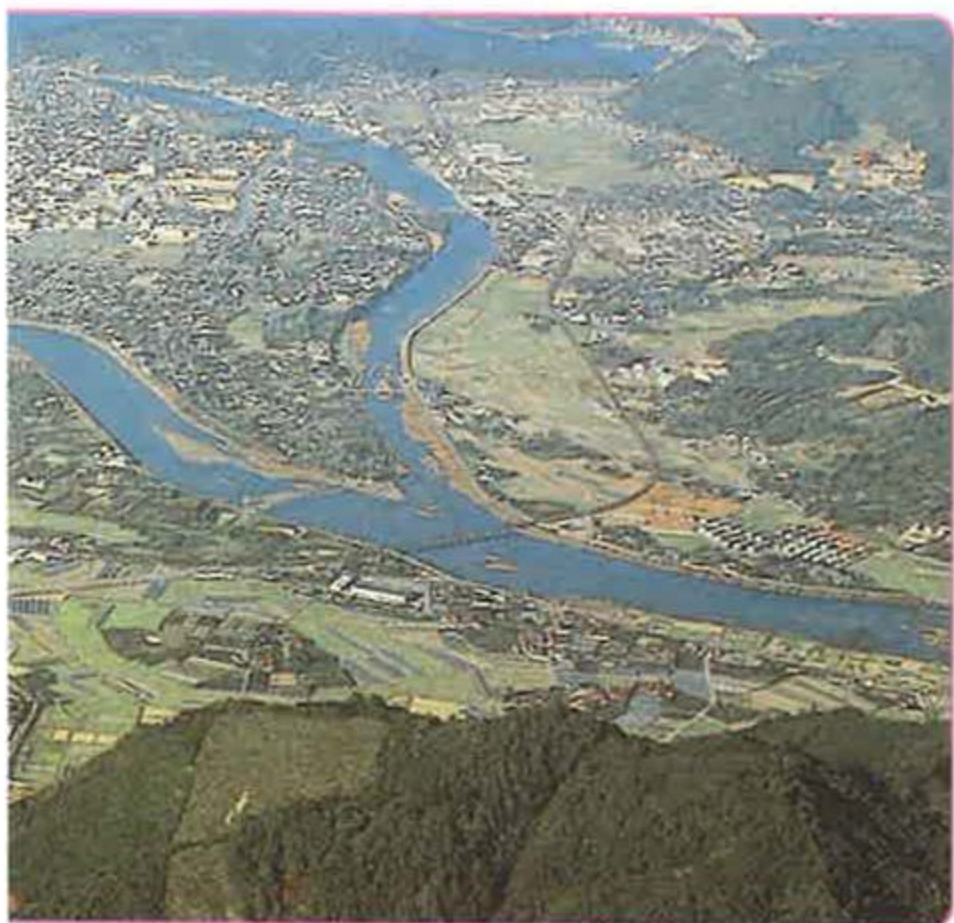
# (1) 萩市ぜんたいのようす

萩市をながめて









↑ レインボープラザ商店がい しょうてん



↑ 土原新天がい ひじわらしんてん



↑ 田町商店がい たまち



↑ スーパーマーケット

じゅう  
住たくの多いところ

住たくは、どのあたりに多いでしょうか。



かわうち  
↑川内



↑川内



つばき  
↑椿



ちんどう  
↑椿東



こしがはま  
↑越ヶ浜

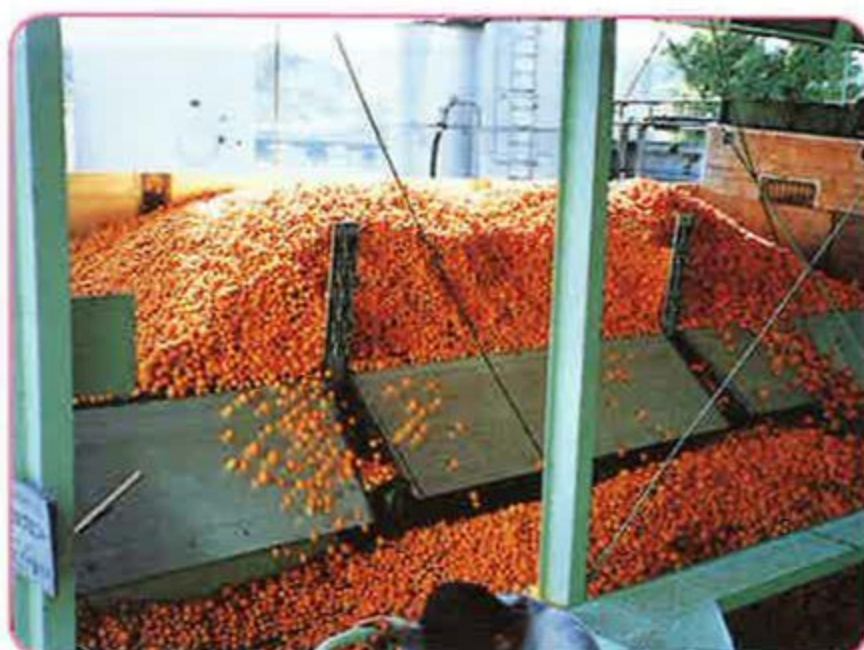


やまだ たまえうら  
↑山田 (玉江浦)



## 工場のあるところ

工場は、どのあたりにあるでしょうか。



↑ジュースなどをつくる工場（樺東）↑

大きい工場  
もあるんだね。



いろんな工場が  
あるんだね。



↑きかいをつくる工場（樺）



↑てっこうだんち鉄工団地（樺東）



↑かまぼこ工場（川内）

はたけ  
田や畑の多いところ

田や畑は、どのあたりに多いでしょうか。



↑田 (山田<sup>やまだ</sup>)



↑たまねぎ畑 (椿<sup>つばき</sup>)



↑夏みかん畑 (大井<sup>おおい</sup>)

## 山にかこまれたところ

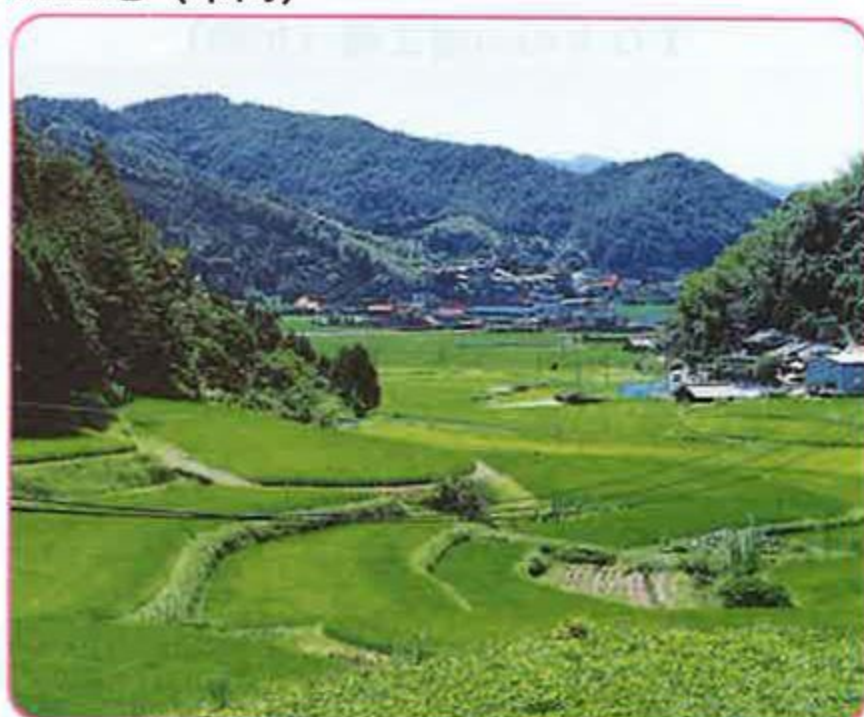
山にかこまれたところは、どんなようすでしょうか。



↑山にかこまれた土地（木間）



↑しいたけさいばい（木間）



↑たな田（三見）

うみべ  
海辺に近いところ

海辺に近いところは、どんなようすでしょうか。



こしがはま  
↑越ヶ浜



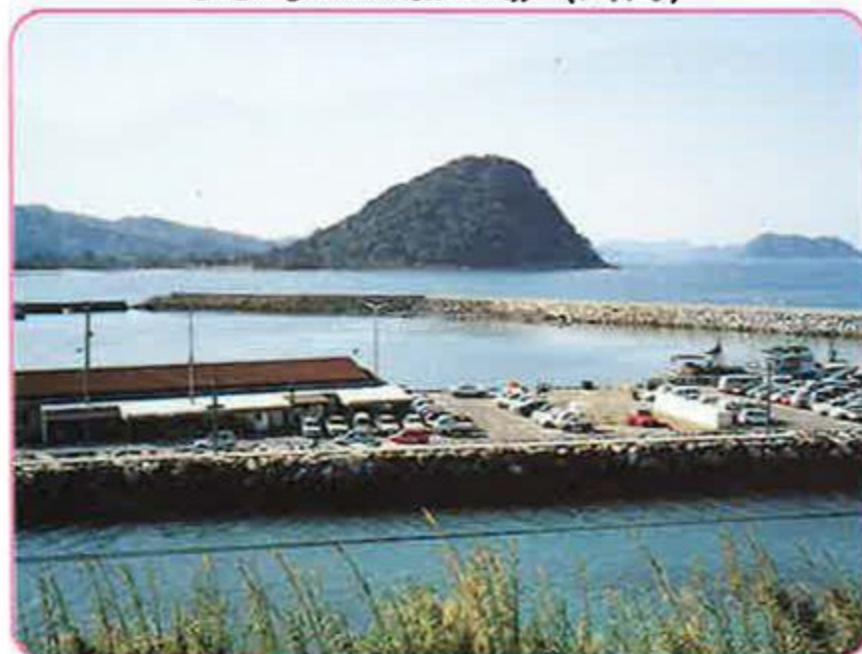
さんみぎょこう  
↑三見漁港



かこう かわうち  
↑ひものの加工場 (川内)



おおい  
↑魚のようしょく場 (大井)



しょうこう  
↑萩商港



きくがはまかいすいよくじょう  
↑菊ヶ浜海水浴場

しま  
島のようす

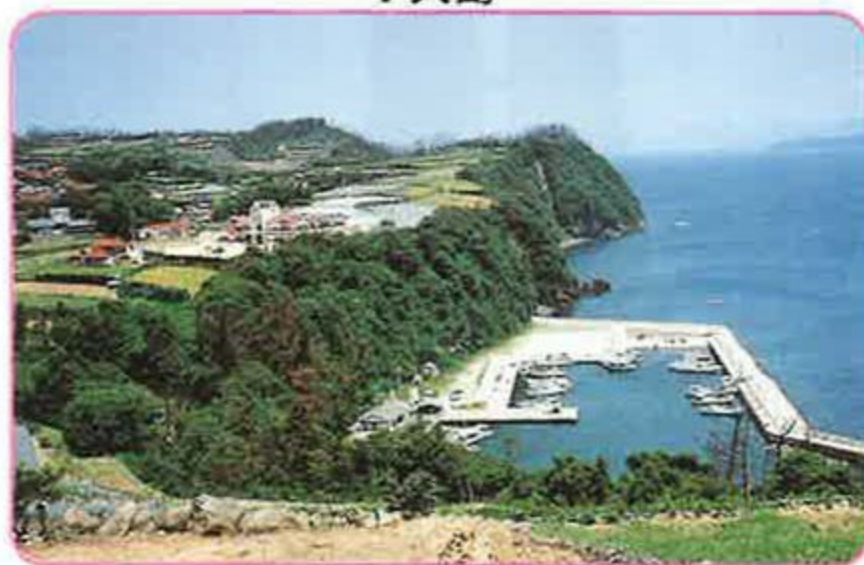
島は、どんなようすでしょうか。



おおしま  
↑大島



↑たばこ (大島)



あいしま  
↑相島




↑すいか (相島)



みしま  
↑見島



↑見島牛

 萩市ぜんたいを見わたして、どうでしたか。

ガイドブックづくりなど、楽しい方法<sup>ほうほう</sup>でまとめてみましょう。

萩市は、どんなまちでしょうか。

れきしとかんこうのまち



じょうせき  
↑萩城跡



しょういんじんじゃ  
↑松陰神社



きくやよちよう  
↑菊屋横丁



はぎはんしゃろ  
↑萩反射炉



もうりけぼしょ とうこうじ  
↑毛利家墓所 (東光寺)



みょうじんいけ  
↑明神池



↑ 萩焼き



↑ 夏みかんせい品

これからのまち



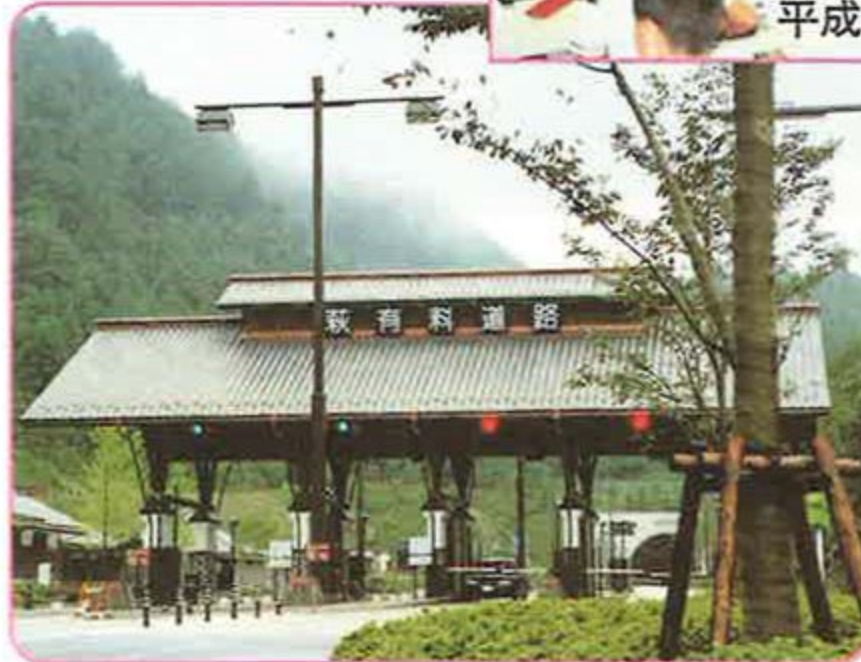
↑ 田床山いこいの広場



↑ ウェルネスパーク  
(予定地)



平成維新塾



↑ 萩有料道路



↑ 姉妹都市との交流

### しょうてん 3 みんなの商店がい

#### ものしら (1) 買い物調べ



↑スーパーマーケット




↑近くの店





























































































みなさんは、お母さんにたのまれて、買い物に行ったことがあるでしょう。いろいろな店とわたしたちのくらしは、どのようなつながりがあるのでしょうか。



## わたしたちの家の買い物調べ

 みなさんの家では、くらしにひつような物をどこで買っているか調べてみましょう。

いっしゅうかん 一週間の買い物調べを ひょう表にまとめてみると、ようすがよくわかります。

日・曜日	近所の商店がい	スーパーマーケット	大きな商店がい
/日	    	    	    
/月	    	    	    
/火	    	    	    
/水	    	    	    
/木	    	    	    
/金	    	    	    
/土	    	    	    



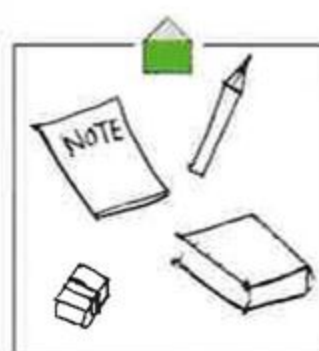
食べ物 のみ物



着る物 はく物



家具 電気き具



本 文ぼう具



日用品

## 近くの店

萩市には、およそ1055軒の小売り店があります。そのうち416軒は、<sup>しょくりょうひんてん</sup>食料品店です。わたしたちの家では、近くの店<sup>やさい</sup>で野菜や<sup>さかな</sup>魚などの食べ物やのみ物を買っています。このことから近くの店<sup>だいどころ</sup>は、家の台所とつながっていることがわかります。



↑魚屋

近くの店<sup>りょう</sup>を利用するのは、どんな人が多いのかなあ。



電話でも<sup>しなもの</sup>品物を持ってきてもらえるのね。



↑やお屋

## いろいろな店

<sup>さいきん</sup>最近は、夜おそくまであいている店がふえてきました。どんな人が、どんな時、<sup>りよう</sup>利用するのでしょうか。



↑コンビニエンスストア

最近、いろいろな  
お店がふえてべん  
りになったね。



↑観光みやげ物店




↑ファーストフード店

萩には、<sup>かんこうきゃく</sup>観光客のためのみやげ物店がたくさんあります。萩焼き、かまぼこ、夏みかんがし、<sup>こはぎにんぎょう</sup>小萩人形、わかめ、うになどを売っています。

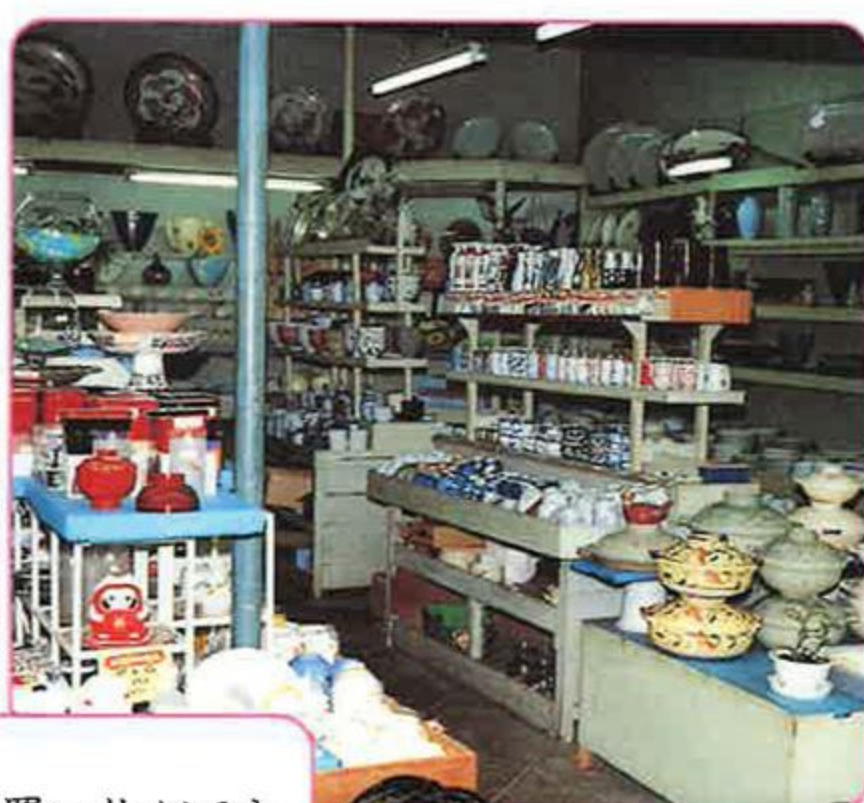
## (2) 萩市の商店がい

萩市の川内には、<sup>たまち よしだちょう</sup>田町や吉田町の商店がい、<sup>ひじわらしんてん</sup>土原新天がいなどがあります。ここには、<sup>ようひんてん</sup>洋品店・<sup>はきもの店</sup>はきもの店・<sup>せい か</sup>生花店などのせん門店があつて、同じ<sup>しゅるい</sup>種類<sup>しなもの</sup>の品物をたくさんそろえています。

 商店がいにある店の種類や数を<sup>しら</sup>調べてみましょう。



↑ガン具店



↑とうき店

気持ちよく買い物ができるように、どんなくふうがされているかなあ。

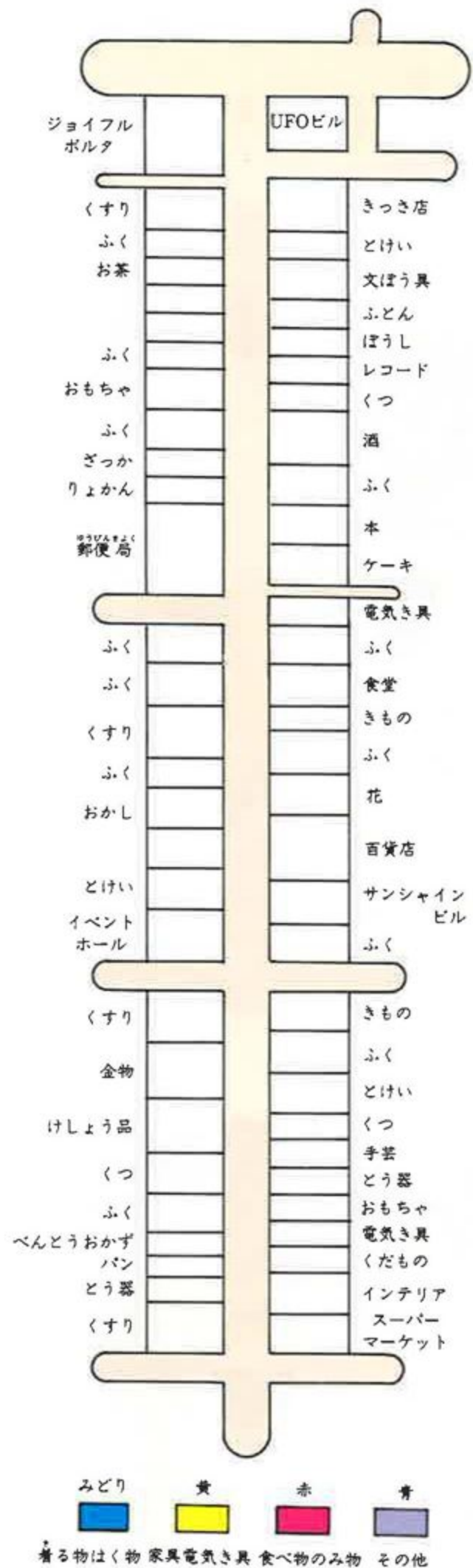


↑とけい店



↑<sup>いりょうひん</sup>衣料品店

# 田町商店がいにある店やしせつ



## 商店がいの人の話

田町商店がいは、1970年（昭和45年）に作ったアーケードを、1987年（昭和62年）に新しく作りかえ、道路をカラーほそうにしました。午前11時から午後6時までは、自動車を通さないで、お客さんが安心して買い物ができるようにしています。



↑ 田町商店がい ↓



## 店どうしで力を合わせて

萩市の商店がいの人たちは、市内だけでなく、遠くからもお客さんが集まるように、どんなくふうをしているのでしょうか。



田町商店がいの夜店



### 商店がいしんこう組合の人の話

商店がいの店は、いっしょになって組合を作っています。春、夏、年末などには、大売出しをします。また、土曜朝市や土曜夜市、たなばた祭りなどのイベントをおこなっています。

萩市江向にある商工会ぎ所では、市内のいろいろな商店や工場の仕事があまくいくようにせわをしています。



萩市で買い物をする人は、どこから来るのでしょうか。

### 萩市に来る 買い物客



### たくさんのお客さん

買い物をするのは市内の人ばかりではありません。まわりの市町村からもたくさん買い物に来ます。だから、商店は、交通のべんりなところにあります。ほとんどの人が乗り物で買い物に来るので、広い駐車場ちゅうしゃじょう ひつようが必要です。



↑ 田町商店がい駐車場の料金所

← 市営駐車場

### (3) スーパーマーケット

スーパーマーケットには、広い売り場と<sup>ちゅうしゃじょう</sup>駐車場があります。店内には、食べ物・本・おもちゃ・くすり・ようふくなど、くらしに使うものをいろいろ売っています。品物を工場から<sup>しなもの</sup>ちよくせつ買入れたり、大きい<sup>とんや</sup>問屋から<sup>しい</sup>仕入れたりして、安く、多く売るくふうをしています。



↑スーパーマーケットのレジ



↑品物の仕入れ



↑駐車場



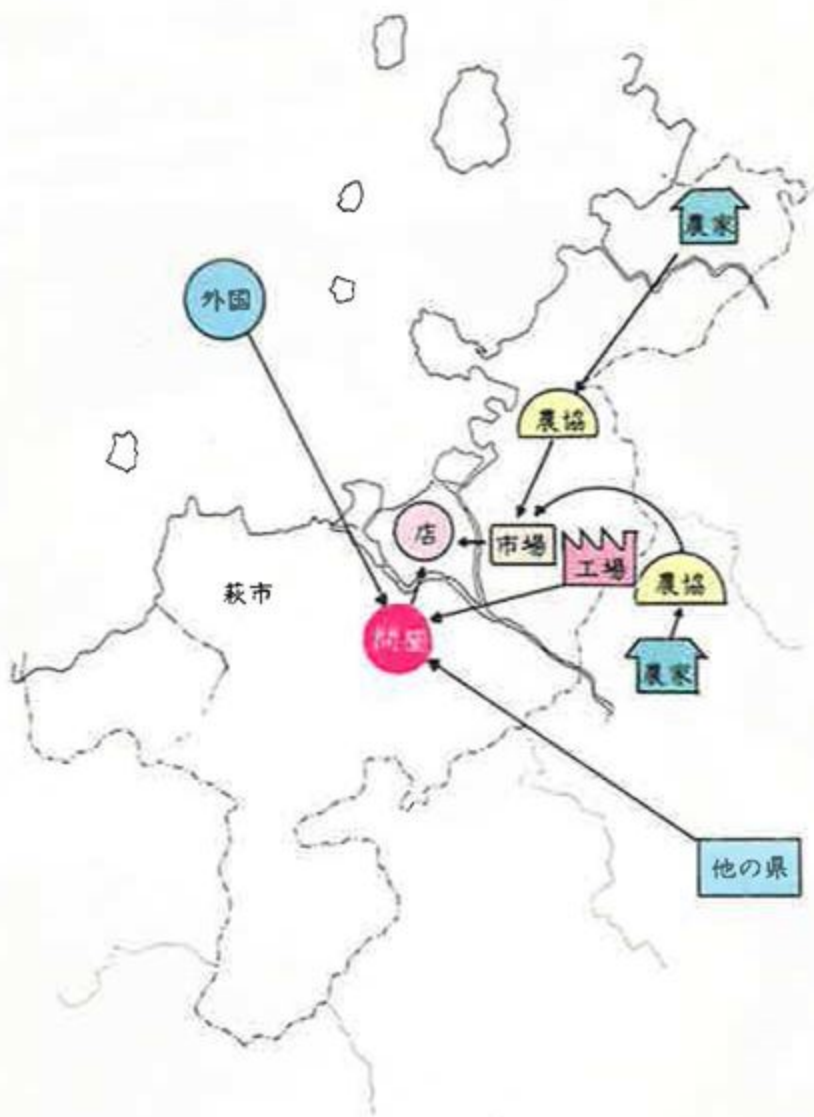


↑スーパーマーケットのようす

#### (4) 品物の動き

わたしたちが、毎日のように買っている野菜やくだものは、どこから、どのようにして集められるのでしょうか。


#### 品物の動き




↑いろいろな産地さんちからきた品物



↑萩市の青果市場せいかにちばのせり

 他の品物もどこからきているのか調べてみましょう。

## (5) じょうずな買い物

 買い物をするときに、気をつけていることや、家でくふうしていることを調べてみましょう。

店の人に聞いたこと




↑ねだんのちがい



↑製造年月日と賞味期限・使用期限

# 4 わたしたちのくらしとものをつくる仕事しごと

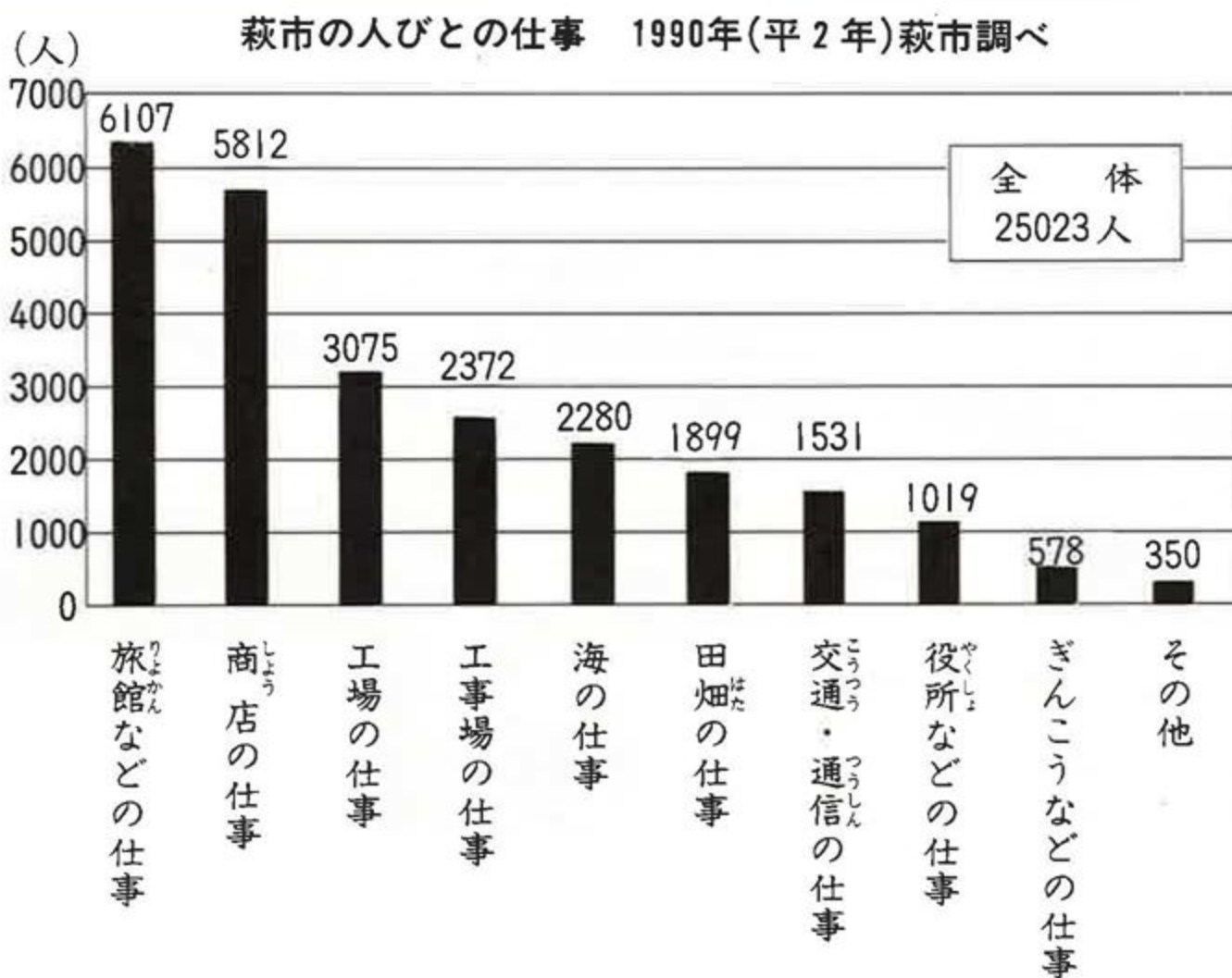
## (1) 市みんの仕事

 わたしたちの学級のおとうさんやおかあさんの仕事を調べてみましょう。

仕事調べ

(人) 15											
10											
5											
0											
人数 仕事	商店 の仕事	旅館など の仕事	工場の 仕事	海の 仕事	工事場の 仕事	田畑の 仕事	交通・通信 の仕事	役所など の仕事	ぎんこう などの 仕事	その他	

萩市には、どのような仕事をしている人が多いでしょうか。



どのような仕事をしている人が多いかな。



# 萩市の人びとの仕事

萩市では、およそ26000人がはたらいているそうよ。



↑ 商店ではたらく人



↑ 旅館などではたらく人



↑ 工場ではたらく人



↑ 海ではたらく人




↑ 工事場ではたらく人

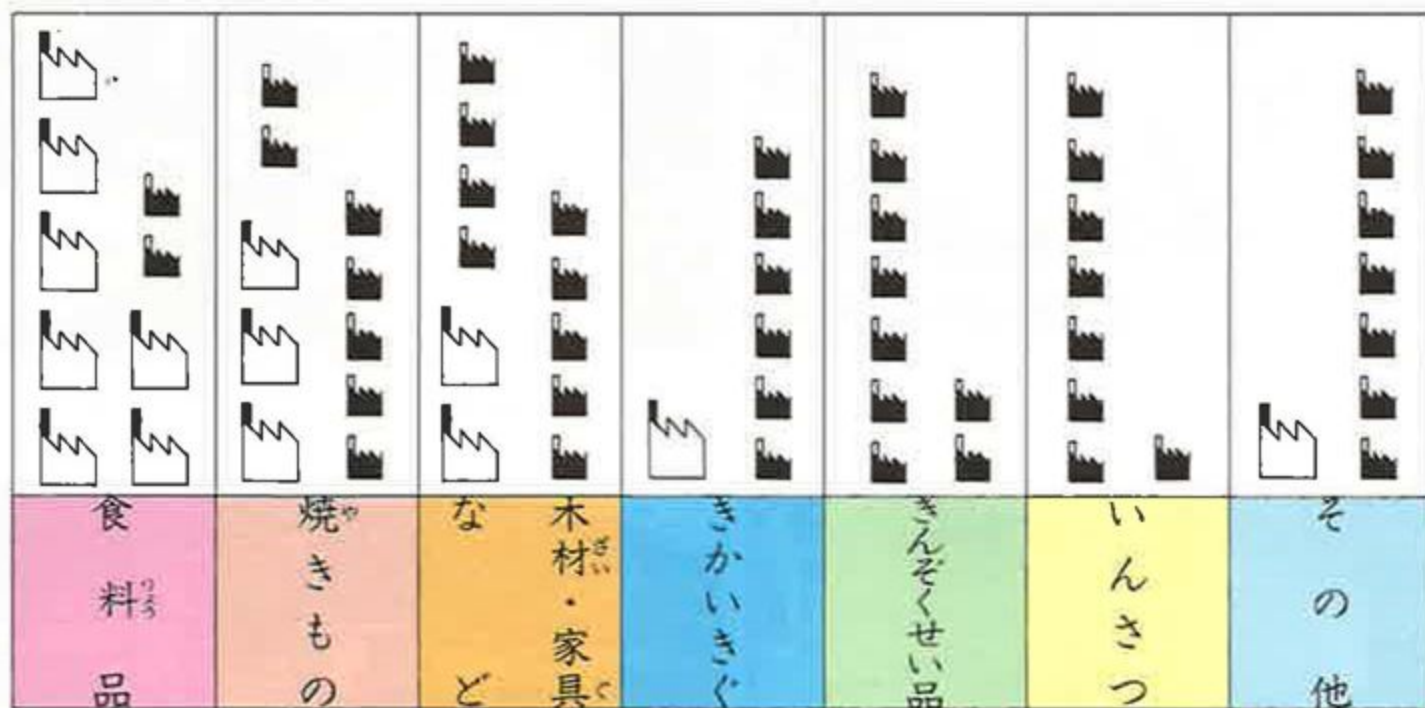




↑ 田畑ではたらく人

## (2) 工場ではたらく人びとの仕事しごと

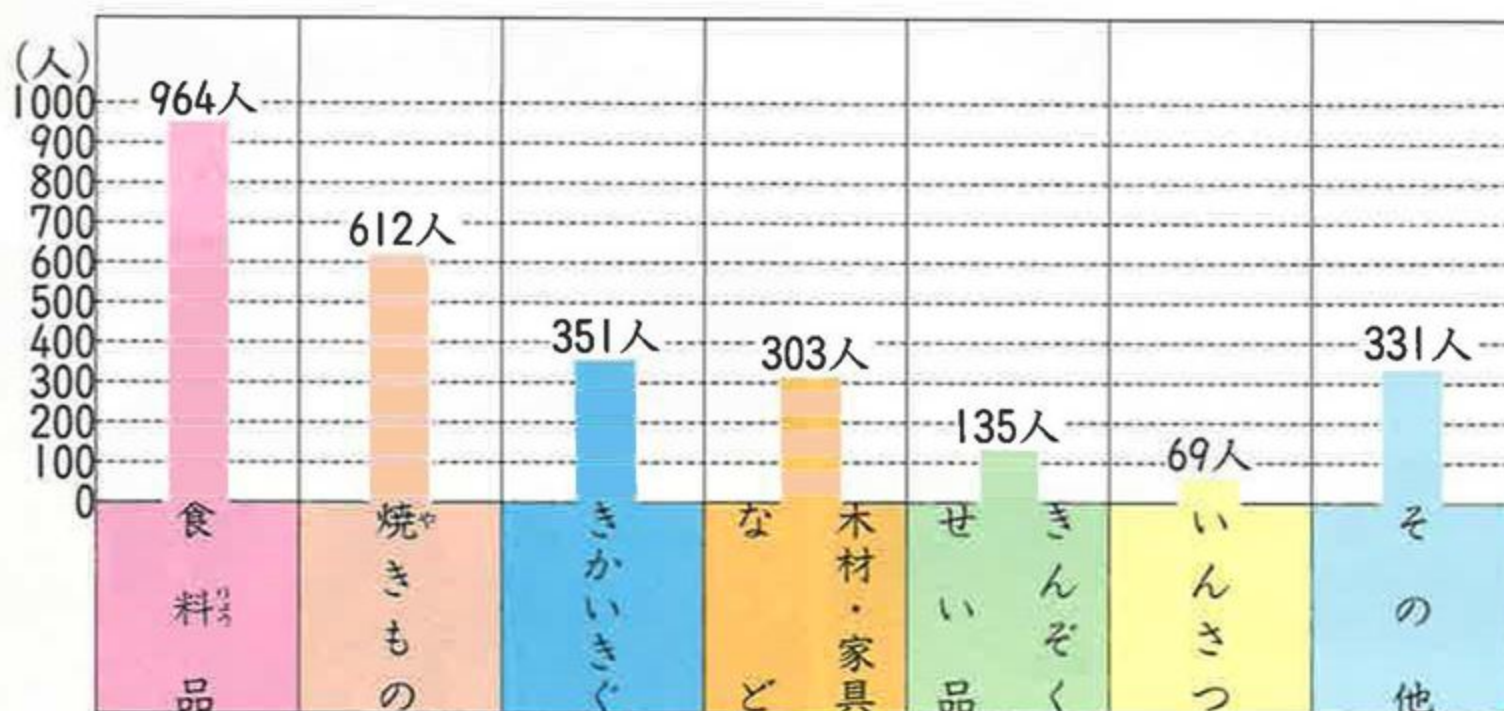
 萩市の工場の種類と数・はたらく人の数を調べてみましょう。

萩市の工場の種類と数 1990年（平成2年）萩市調べ



 は10工場  は1工場をあらわしています。

萩市の工場ではたらく人 1990年（平成2年）萩市調べ



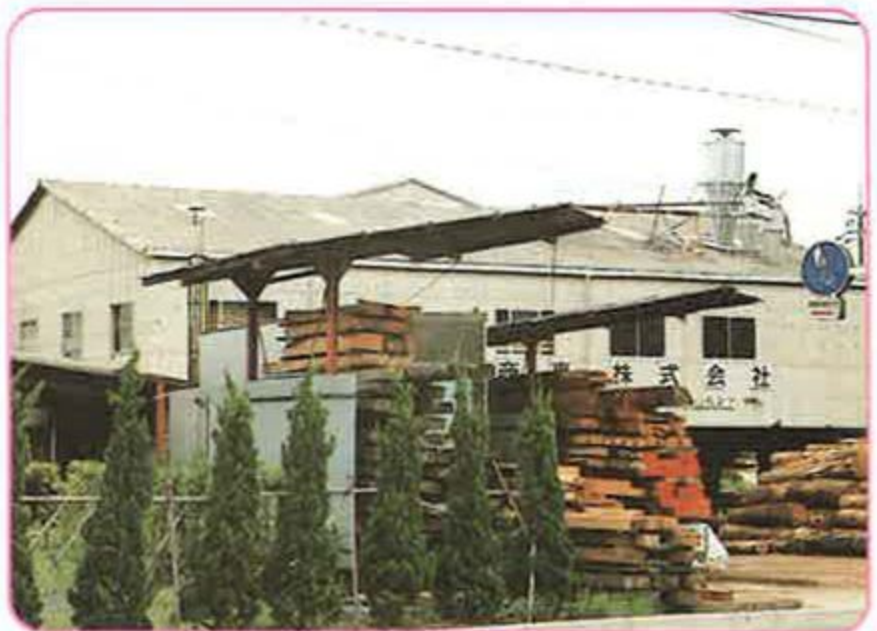
※はたらく人が4人以上の工場では調べてあります。

# 萩市にある工場

萩市にはいろんな工場があるのね。



↑ジュースなどをつくる工場



↑木材をつくる工場



↑焼きものをつくる工場



↑きんぞくせい品をつくる工場




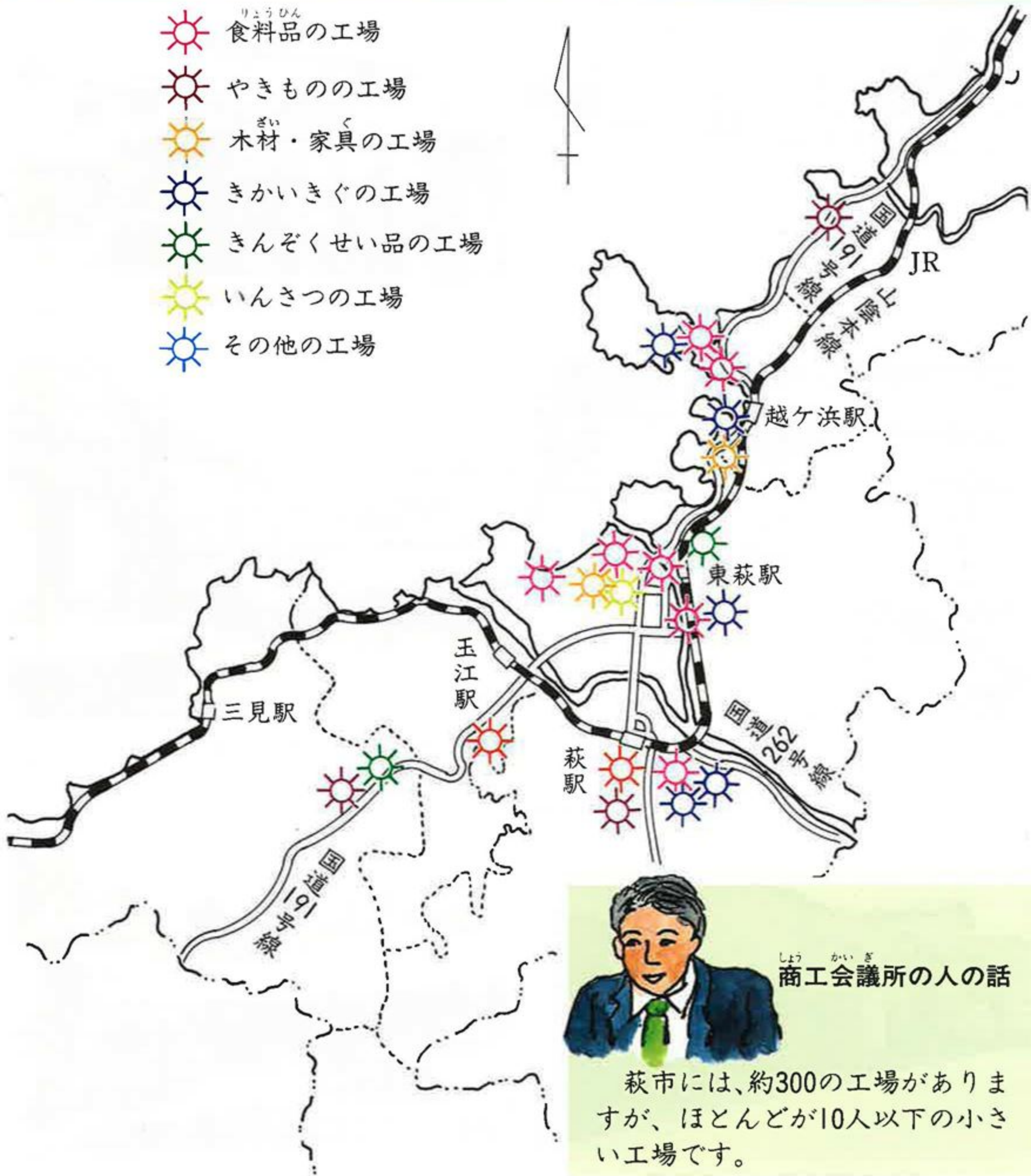
↑かまぼこをつくる工場



↑船をつくったり、修理する工場

## 萩市のおもな工場と位置 いち

 下の図は萩市のおもな工場の位置を調べたものです。これ以外 がい の工場も調べ、地図にかきいれてみましょう。



しょうかいぎ 商工会議所の人の話

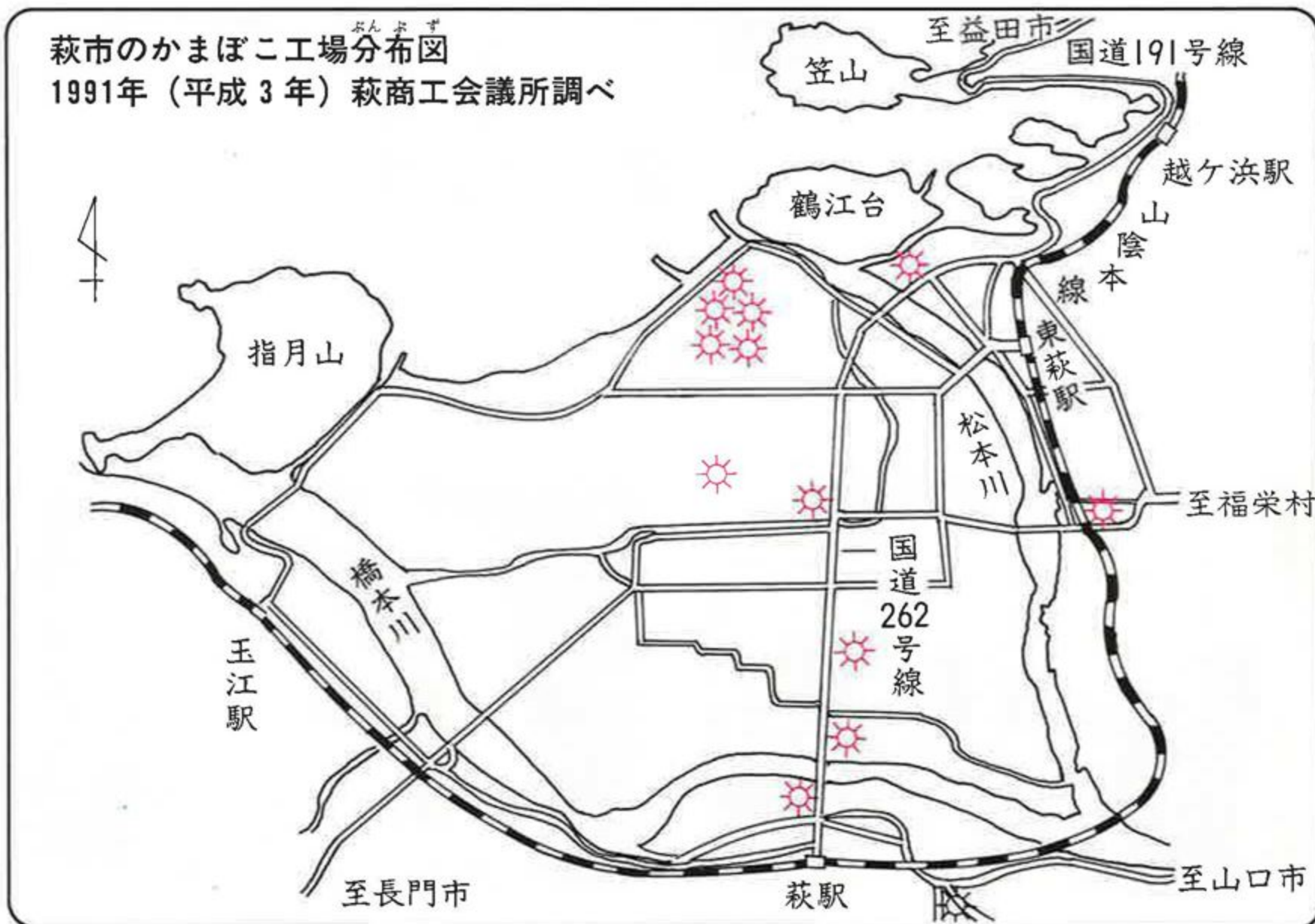
萩市には、約300の工場がありますが、ほとんどが10人以下の小さい工場です。



## かまぼこ工場

### ①かまぼこ工場の位置

 かまぼこ工場の位置を調べてみましょう。



### 工場の人のお話

萩では、むかしから、かまぼこ、てんぷら、ひもの、にぼし、ういのびんづめなどを作ることがさかんです。なかでも、かまぼこは、萩の名産品としてよく知られています。かまぼこを作る工場は、浜崎の魚市場近くをはじめ、市内のあちらこちらに、およそ20けんあります。



## ②かまぼこができるまで

どんな原料から、どんな順序でかまぼこになるのでしょうか。

### 原 料

近くの海でとれた魚

・えそ、こだい、  
はぜ、ぐち

れいとうすり身

・すけそうだら、  
ほっけ、きんめ、  
いとより



え そ



れいとうすり身



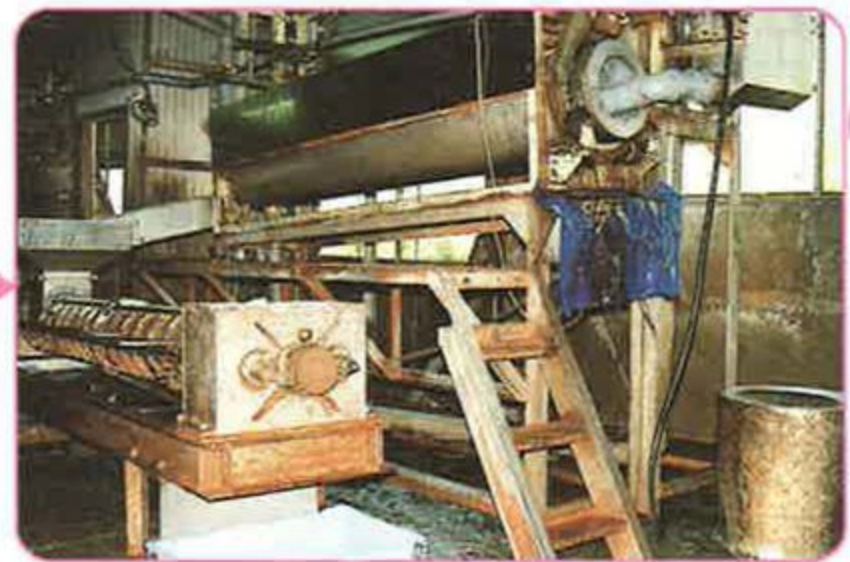
①魚の頭や内ぞうをとりぞく。



②ほねや皮をのけ、身を取りだす。



③身を水にさらして、脂肪分をとりぞく。



④よぶんな水をとりのぞく。



⑤身をよくなりあわせながら、ちょうみりょうをまぜて味をつける。



⑥ねったすり身を木の板にのせて、形をつくっていく。



⑦赤外線光熱せきがいせんこうねつをりょうしてやきぬ焼抜く。



⑧くさりにくくするために、つめたい風をおくるなどしてひやす。



⑨かまぼこしゅるいを種類ごとにつつむ。



⑩ていねいにほれいしゃにづくりし、保冷車で、できるだけはやくはこぶ。



かまぼこができるまでに、こんなにたくさんしごとの仕事があるとは初めてはじだったよ。たいへんだな。

げんりょう ひん  
**③原料やせい品からみたむすびつき**

かまぼこの原料はどこから来て、せい品はどこへ送られるのでしょいか。



ほれいしゃ  
 ↑保冷車 (0~5度)



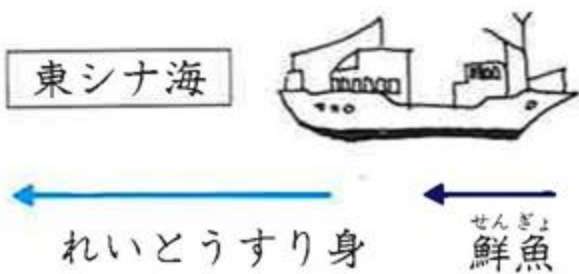
ちやくばい  
 ↑工場での直売

原料は、こんなに遠くからはこばれてくるのか。

せい品は、どこへ行くのかな。

原料のしいれ先

かまぼこの送り先



← 保冷車 ← 保冷車  
 飛行機

工場の人のお話

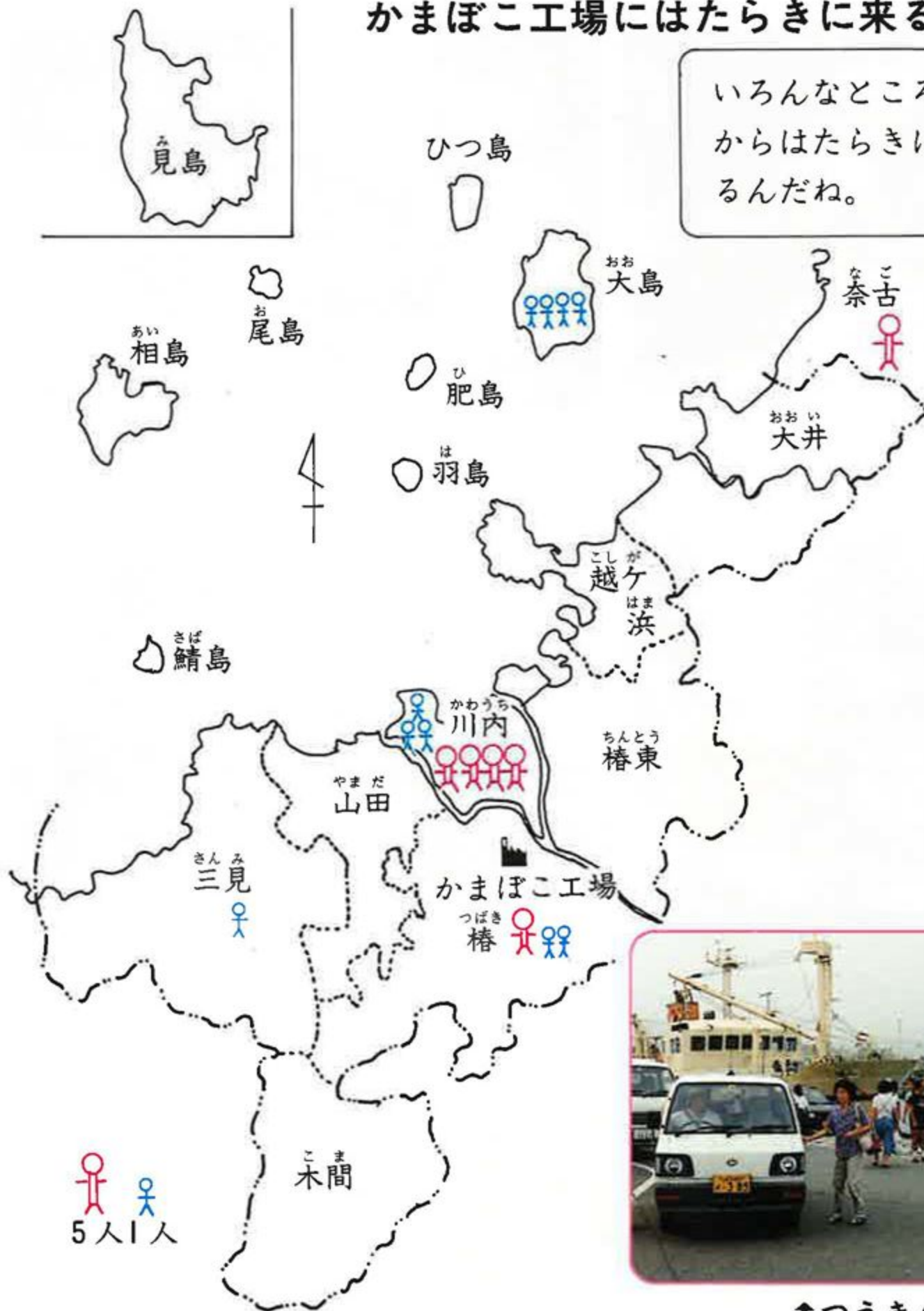
せい品は、ていねいに荷づくりして保冷車で、できるだけ早くはこぶように気をつけています。

#### ④はたらく人からみたむすびつき

はたらく人はどこから、どのようにしてかよって来るのでしょうか。

#### かまぼこ工場にはたらきに来る人

いろんなところからはたらきに来るんだね。



#### かよう方法

じかようしゃ 自家用車 会社の車	28人
じてんしゃ 自転車	7人
船→会社の車	4人
てつどう 鉄道→徒歩	1人
計	40人



↑つうきんのようす

## ⑤工場の工夫や努力くふう どりよく

工場ではかまぼこをつくるのに、また、えい生めん面で、どんな工夫をしているでしょうか。

ア. しんせんな魚をつかう。



イ. ふくそうに気をつける。



ウ. あとしまつをする。



エ. よごれた水をきれいにする。(共同しより場)




## 工場の人のお話

かまぼこ工場では、よい品しな つくを作るために、新しい魚をしいれ、いろいろな作り方を研究けんきゅうしています。また、はたらいている人は、えい生めんに気をつけ、毎年けんこうしんだんを受けています。浜崎には、「共同しより場」がつくられ、かまぼこ工場やいりこ工場からパイプでつないで、よごれた水をしよりして海に流しています。



かこうじょう  
萩加工場

 萩加工場は、どのような工場なのか、調べてみましょう。

い ち  
工場の位置



見学の計画(調べること)

1. 原料げんりょう
2. せい品ひん
3. はたらく人
4. 工夫や努力



↑かんジュースをつくっているところ



↑いちごジャムをつくっているところ

工場の人のお話



ここでは、うんしゅうみかん(11月~2月)や、夏みかん(3月~5月)から、ジュースやマーマレードをつくっています。そのほか、きせつによっては、たけのこ(4月~5月)くり(9月~11月)をかんづめにしたり、いちご(5月~6月)をジャムにしたりしています。



### (3) 田畑ではたらく人びとの仕事


 萩市の農家の数を地区べつに、調べてみましょう。



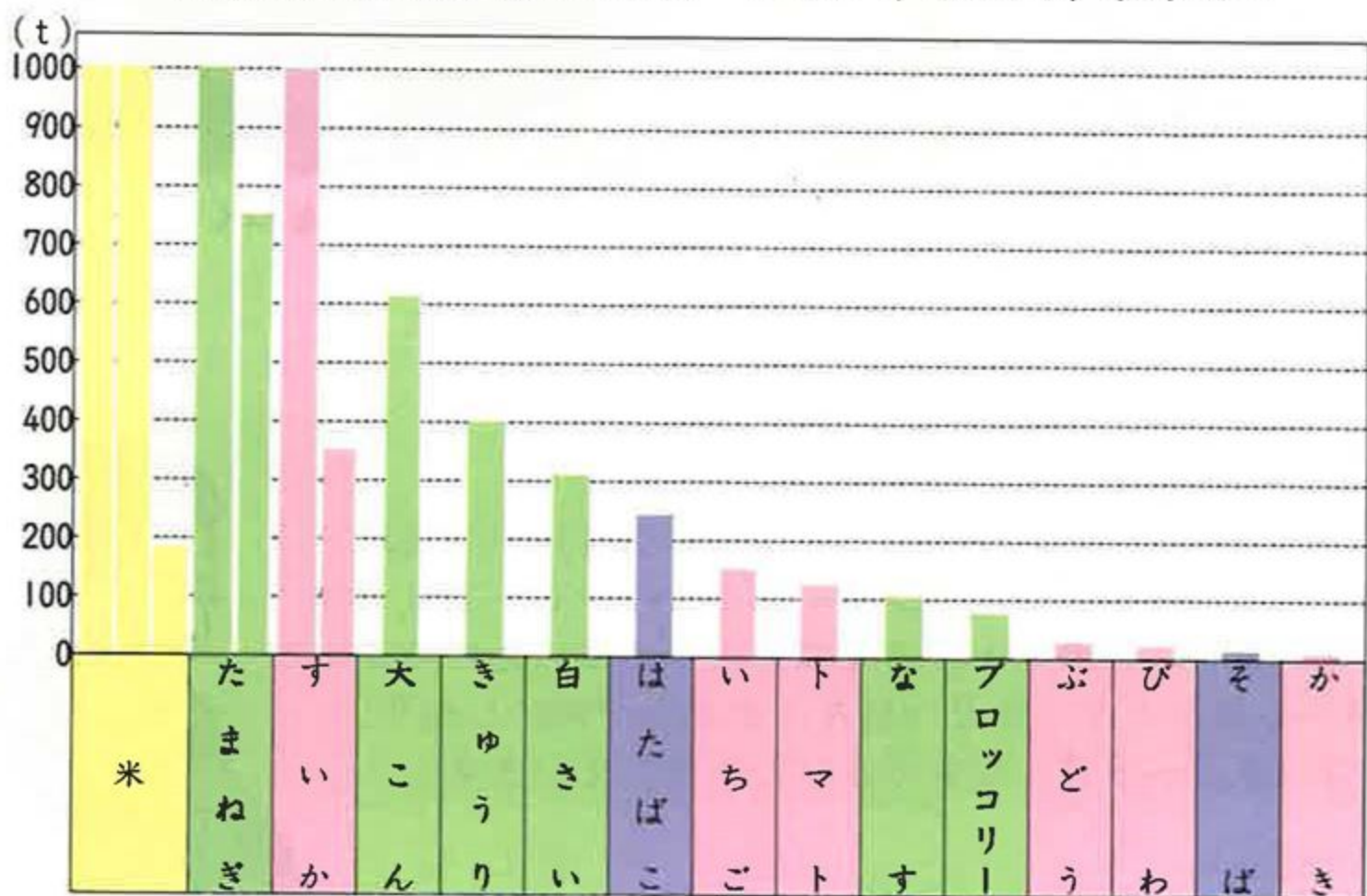
 農業だけをしている農家 (50戸)  
 農業をしながらほかの仕事もしている農家(50戸)

農業だけをしている農家は  
すくないようだわ。




 萩市で作られている農産物には、どんなものがあるのか調べてみましょう。

萩市のおもな農産物のとれ高 1990年(平成2年)萩市調べ





 萩市では、どの地区で米作りがさかんなのか調べてみましょう。

米のとれ高 1991年（平成3年）萩市調べ

JA名	地区名	とれ高 (t)											
		0	200	400	600	800	1000	1200	1400	1600	1800	2000	2200
萩市	川内、椿東、椿、山田、相島、大島、ひつ島、木間	[Bar chart showing yield up to 1000t]											
萩見島	見島	[Bar chart showing yield up to 400t]											
萩市大井	大井	[Bar chart showing yield up to 300t]											
三見	三見	[Bar chart showing yield up to 300t]											
合計	萩市全地区	[Bar chart showing total yield up to 2200t]											

## 米作りの仕事

米作りには、どんな工夫や努力があるのでしょうか。

## 米作りの順序



①なえ作り（はこにもみをまき、はこなえを作る）



②田おこし（こううんきやトラクターでたがやす）

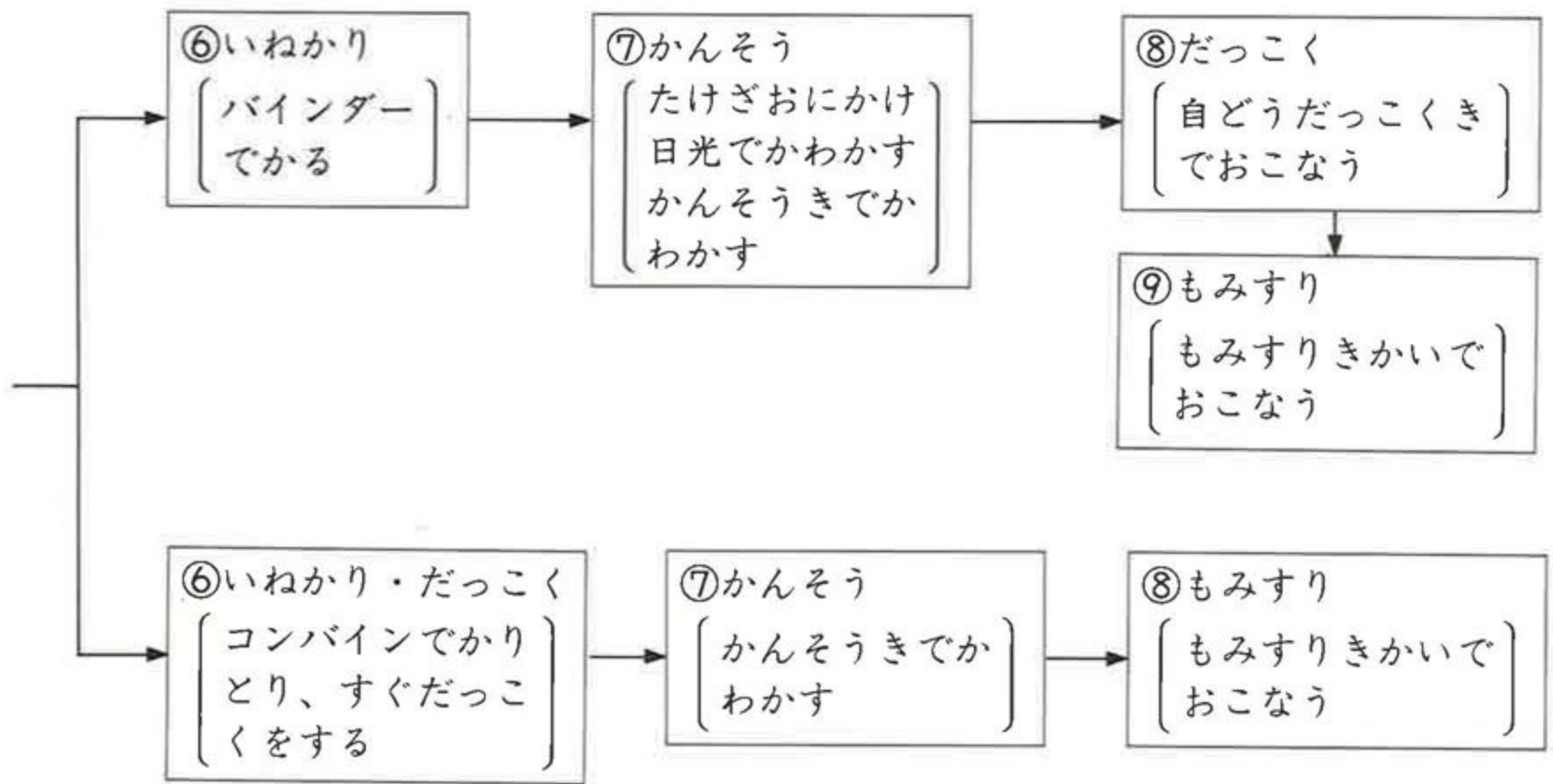


③田うえ（田うえきに、はこなえをのせて、うえる）

④草とり  
（じょそ  
うざいを  
まく）



⑤農やくまき（農やくをどうカ  
さんぶきでまく）



⑥だっこく

### のう 農家の人の話



萩市の農家では、昭和45年ごろから急にきかい化が進み、手で作業することは少なくなりました。しかし、土地がせまく、区かくせい理のできていないところでは、手作業で米作りをしているところもあります。

近ごろでは、よくきく農やくや米作りのぎじゅつが進んで、毎年たくさんの米がとれるようになりました。そのため、米があまり、萩市でも米作りをへらし米以外の作物を作るようになり、野さいや大豆などを作る農家がふえてきています。



イネがそだつのに  
ひつような水は、いっ  
たいどうしているんだ  
ろう。



水のほかに、大事な  
ことがあるのかしら。

# 夏みかんのさいばい

夏みかんは、どのようにして作られ、どんな工夫や努力があるのでしょうか。



↑夏みかんのさいばい



夏みかんは、どの地区でさいばいされているのだろう。

## みかん類のとれ高 1990年 (平成2年)

種類	とれ高 (トン)
	200 400 600 800 1000
あま夏みかん	~ 1000
ふつうの夏みかん	~ 1000
はっさく	~ 400
うんしゅうみかん	~ 200
いよかん	~ 200

### 農家の人の話



今までの夏みかんは、少しすっぱいので人びとのこのみに合わないところもあり、近ごろでは、

あま味の多いあま夏みかん(あま夏かん)、伊よかん、はっさくなどにうえかえています。しかし、ふつうの夏みかんも作っています。

## あま夏みかんさいばいのこよみ

月	おもな作業			
1月	しゅうかく	ひりょう	しょうどく	
2月	しゅうかく	ひりょう	しょうどく	せんてい
3月	しゅうかく		しょうどく	じょそう
4月	しゅうかく	ひりょう		
5月	しゅうかく		しょうどく	
6月		ひりょう	しょうどく	
7月			しょうどく	じょそう
8月			しょうどく	てきか
9月		ひりょう		
10月				
11月		ひりょう		
12月	しゅうかく			

### 農家の人の話

よい夏みかんをつくるために、ひりょうを入れたり、病気やがい虫をふせぐ薬をかけたりしています。

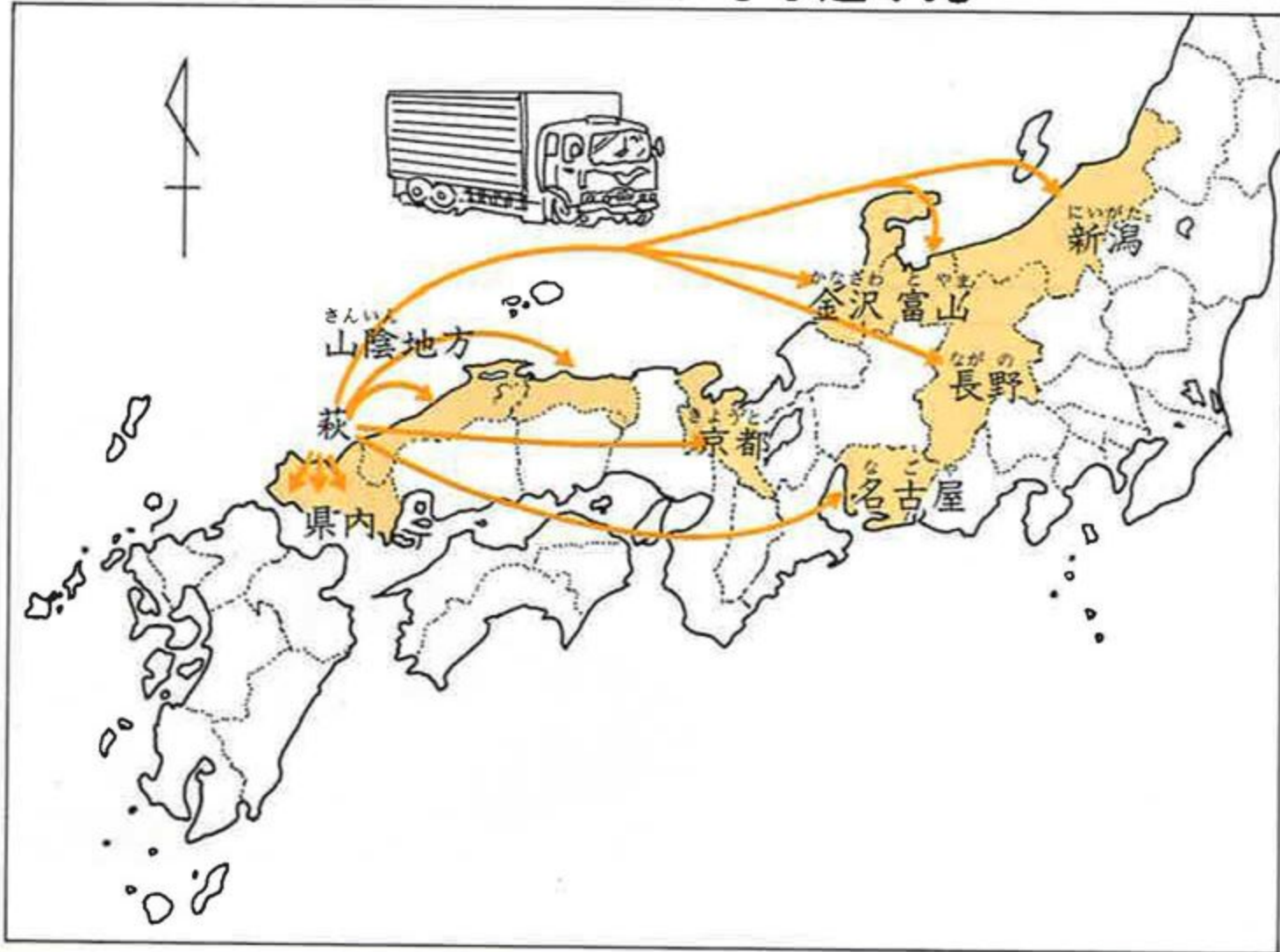


あま夏みかんは、冬寒さのがいにあいやすいので、今では12月から1月にかけてもぎとり、そうこの中にたくわえるようにしています。おそく市場に出すものは、とくべつに、れいぞうこの中に入れておきます。



↑そうこにたくわえられるあま夏みかん


## あま夏みかんのおもな<sup>おく</sup>送り先<sup>さき</sup>



### JAの人の話

JAは、つみ出しに大きなはたらきをしています。農家から集められた夏みかんを、同じ大きさにより分け、つや出しをしてはこにつめ、いつ、どこに、どれだけ、どんな方ほうで送ったらよいか<sup>しら</sup>調べた後、送り出しています。




 夏みかん<sup>るい</sup>類<sup>けんきゅう</sup>について研究している「山口県萩柑<sup>かん</sup>きつ<sup>しけんじょう</sup>試験場」について調べてみましょう。



↑山口県萩柑きつ試験場↑

## 自分の地区の農産物調べ

 米作りや夏みかんのさいばいのように、自分の地区では、何をどんなふう<sup>に</sup>にそだてているのか調べてみましょう。



↑玉ねぎ作り(大井・椿・山田・三見・大島・相島・見島)

### のう 農家の人の話

びょうき 病気に強く、とれ高の多い、よい品種<sup>ひんしゅ</sup>をえらんでうえています。また、玉ねぎをいち時れいぞう庫<sup>ご</sup>にたくわえ、ねだんの高くなる11月から2月にかけて、下関<sup>しもせき</sup>や北九州<sup>しゅう</sup>の市場に出して売るようにしています。農業<sup>のうぎょう</sup>かいろいろふきゅう所<sup>じょ</sup>を中心にして、よい玉ねぎ作りの研究<sup>けんきゅう</sup>をすすめています。



↑いちご作り(椿・山田)

### 農家の人の話

今では、ほとんどがビニルハウスさいばいとなっています。ねだんの高い12月ごろから、よく年の6月ごろまで、長い間とれるように、作り方を工夫<sup>く</sup>しています。



# 萩市で作られるもの



↑きゅうり（見島）



↑すいか（相島）



↑びわ（三見）



↑ぶどう（椿東）

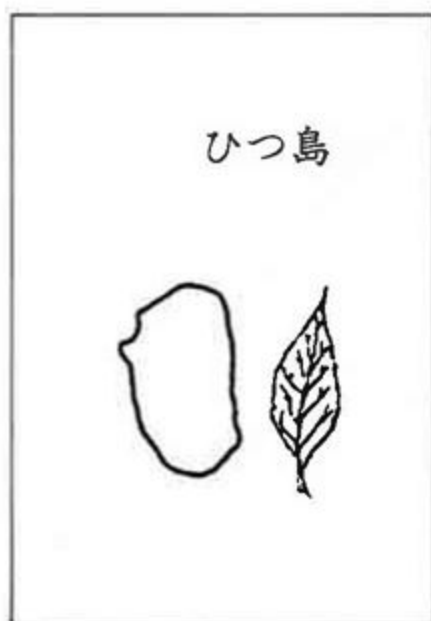
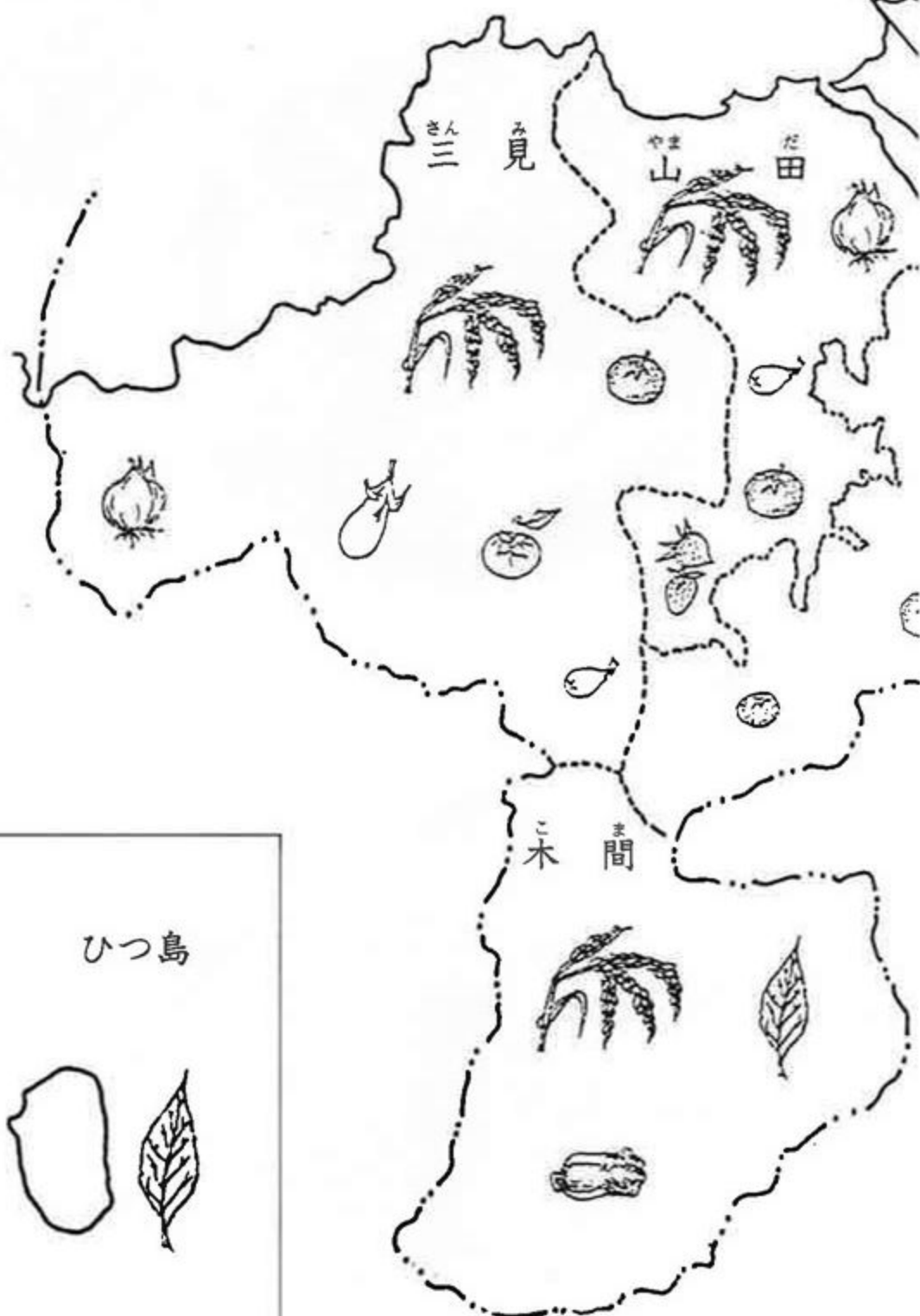
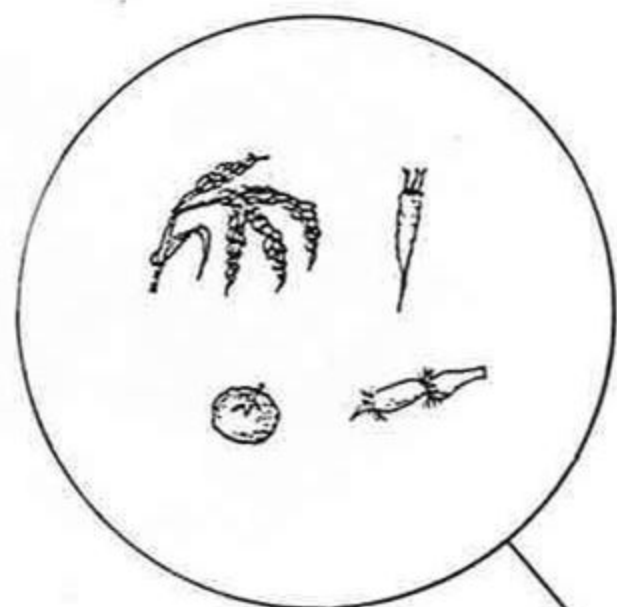
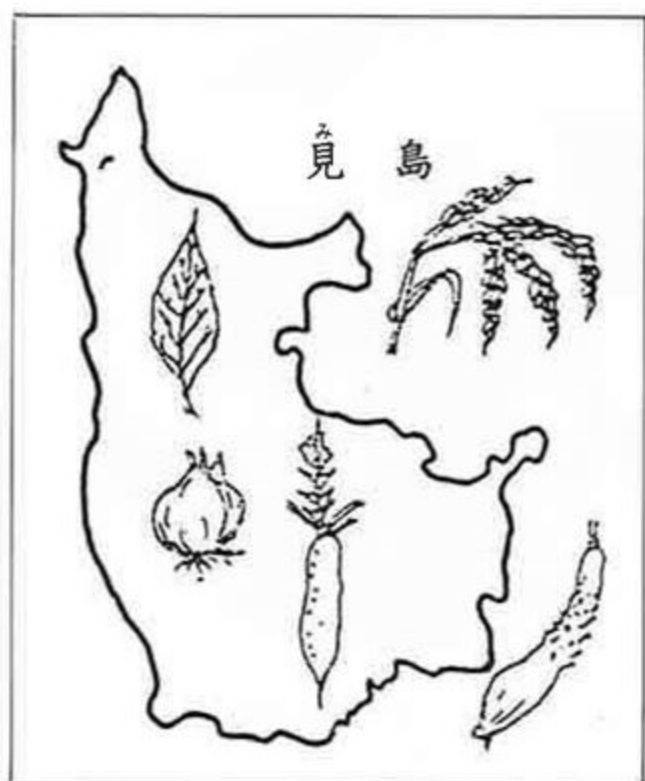
それぞれの地区によって、  
いろいろなものがつくられて  
いるんだなあ。どんな工夫や  
どりよく  
努力があるんだろうか。



↑トマト（椿）




↑ブロッコリー（大井・大島）

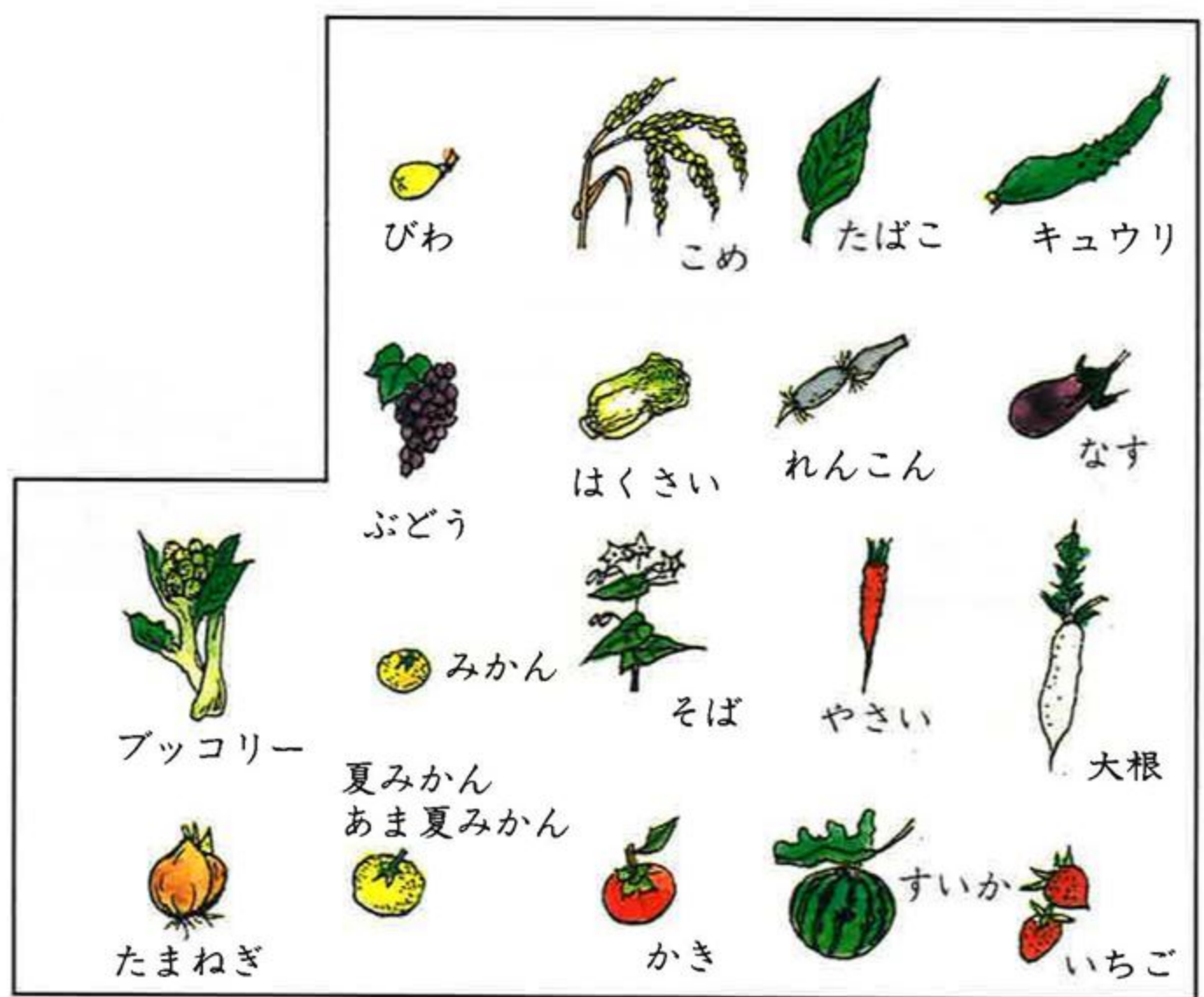




れるもの




 自分の<sup>ちく</sup>地区で作られているものに色をぬりましょう。また、他にも作られているものがあればかきたしましょう。



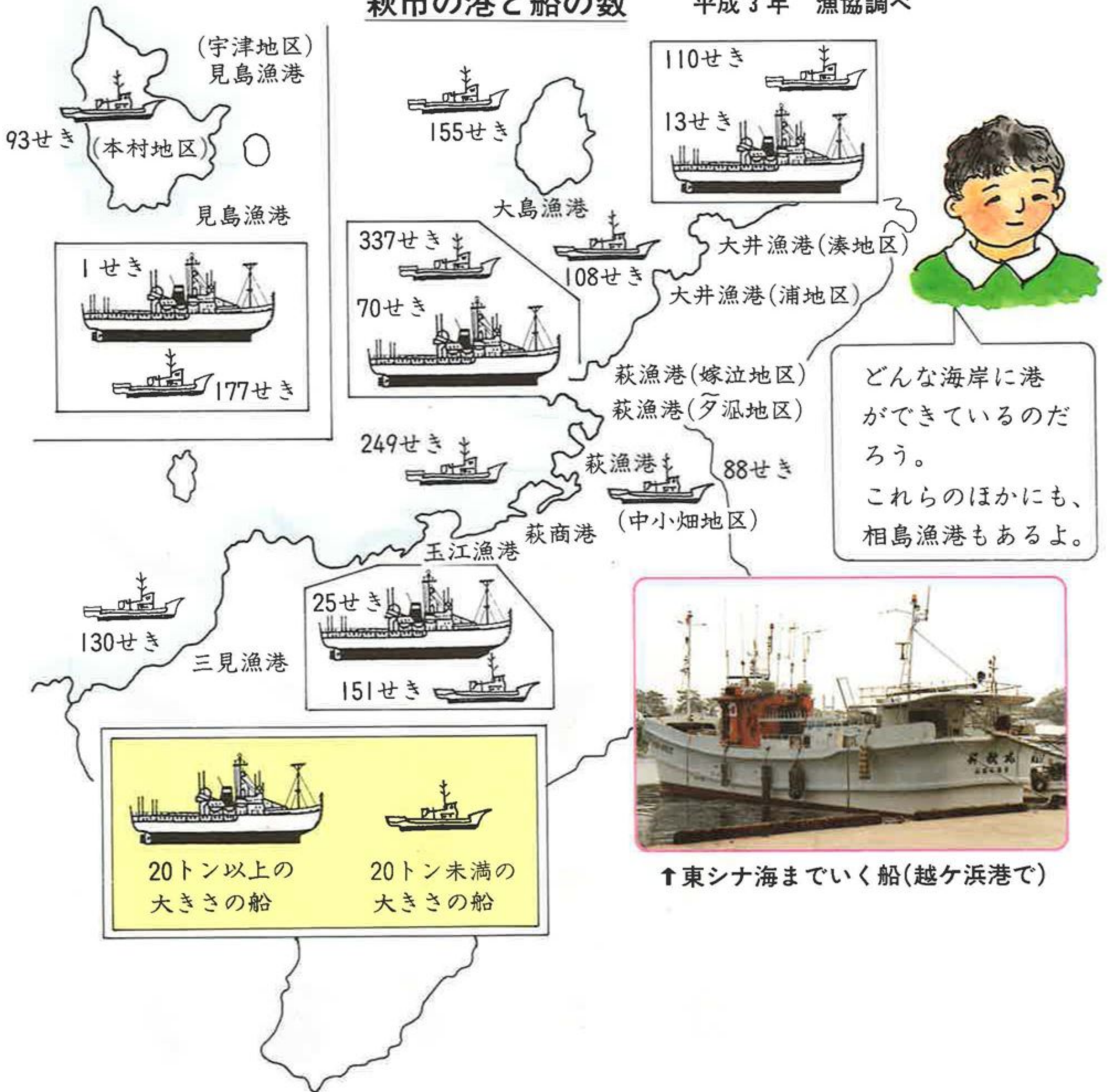
# (4) 海ではたらく人びとの仕事 しごと

## 萩市の港 みなと

 萩市には、どこに港があるでしょうか。また、魚をとる船はどれくらいあるか、調べてみましょう。

### 萩市の港と船の数

平成3年 漁協調べ



どんな海岸に港ができていんだろう。これらのほかにも、相島漁港もあるよ。



↑東シナ海までいく船(越ヶ浜港で)

萩市には、海で仕事をする人がどのくらいいるでしょうか。

### 海で仕事をする人の数(平成3年漁協調べ)



海で仕事をする人  
とほかの仕事をする  
人の数を調べて、  
くらべてみましょう。

大井湊 <sup>みなと</sup>		
大井浦		
越ヶ浜		
小畑		
萩・相島 <sup>あいしま</sup>		
玉江浦		
三見		
大島		100人
見島		10人
宇津		1人

萩市の近くの海では、どんな魚や貝るいがとれるでしょうか。




### りょうをする人の話

さいきんは、海でとれる魚のりょうが少なくなって、船にのっ  
てはたらく人や船の数もへってきたんじゃよ。それで、わたしの  
なかまは、みんなさびしい思いをしちよるよ。

## 萩市近くの海でとれる魚貝類 (平成3年<sup>ぎょきょうしら</sup>漁協調べ)

しゅるい	とれ高(トン)	しゅるい	とれ高(トン)	しゅるい	とれ高(トン)
たい	3410	かれい、ひらめ	96		
いわし	2027	いさぎ	94	いか	5451
あじ	1647	とびうお	49	たこ	15
あまだい	638	えそ	27	なまこ	11
さば	421	かさご	25	えび	10
ぶり、ひらそ	410	きんたろう	20		
ふぐ	297	さわら	19	さぎえ、あわび	322
まぐろ、かつお	206	かます	16	うに	16
めいぼ	206	あなご	14	海藻	116
しらす	156	えい	12		

## 海の<sup>しごと</sup>仕事の<sup>くふう</sup>工夫や<sup>どりよく</sup>努力

 魚をとる仕事には、どんな工夫や努力があるか、調べてみましょう。

### 〈遠くの海での仕事〉



↑<sup>ぎょぐんたんちき</sup>魚群探知機



↑<sup>ろらん</sup>魚探



↑船の上での、ふぐの氷づめ作業

ゆれる船の上  
での仕事は、つ  
らくないかなあ。



かんよう  
寒風の中、糸をたくって  
つりあげるふぐりょう→



ぎょぎょうきょうどうくみあい  
漁業協同組合の人の話

あまだいやふぐをとるには、海の中に細い糸を長くのばして、つりばりをたくさんつけ、一度にたくさんの魚をとるしかけをつかうんだよ。

大きい船にはべんりなきかいがいろいろついていて、魚群探知機で魚の集まっている所をさがしたり、無線電話機でなかまの船や港とれんらくをとりあって、りょうをしているんだよ。ロランというきかいがあるから、広い海でもまいごにならずに安全に仕事ができるよ。

と  
一度、りょうに  
出たら何日くら  
いで家に帰れる  
のかしら？



## 〈近くの海での仕事〉



### ぎょぎょうきょうどうくみあい 漁業協同組合の人の話

さい近は、近くの海でとれる魚の量<sup>りょう</sup>がへったため、遠くの海へいくようになったんだよ。ところが、遠くの海でも、外国とのやくそく<sup>りょう</sup>があって、仕事がむずかしくなり、魚をとる仕事もたいへんだよ。



↑近くの海で仕事をする船（萩漁港）



↑あみの手入れ



↑きんちやくあみのもけい



りょうをする時間は、一日のうち、何時間くらいかしら。

海があれて悪い天気がつづくとき、りょうしさんたちは心配だろうね。

萩地方で魚が多くとれる時期

	(月)												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
いか	[Orange bar]												
ふく	[Orange bar]												[Orange bar]
ぶり	[Orange bar]												[Orange bar]
すずき		[Orange bar]											
はまち	[Orange bar]												[Orange bar]
ひらめ		[Orange bar]											
かれい	[Orange bar]												
たい		[Orange bar]											
あじ			[Orange bar]										
かきご	[Orange bar]												[Orange bar]
うに	[Orange bar]												[Orange bar]
あわび	[Orange bar]												
さざえ	[Orange bar]												



りょうをする  
人の話

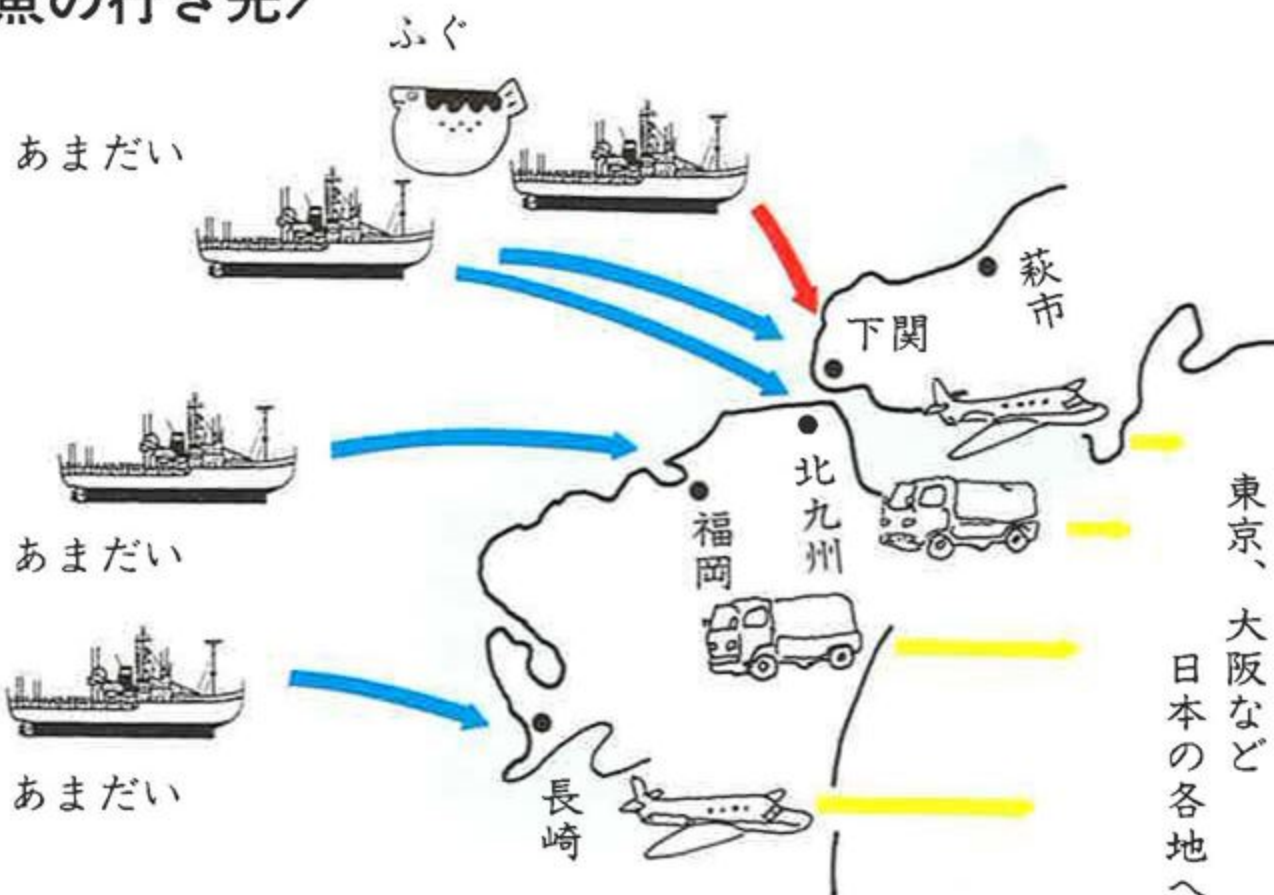
とる魚によって、一本づり、さしあみ、おおしきあみ、そこびきあみなど、とる方法がちがうんだよ。

りょうをする時間もまちまちで、朝早くからはじまるものもあれば、夜の仕事になることもあるんだよ。いかりょうは、昼でも夜でも、できるよ。



海があれて、りょうができない日は、おじさんたちは、どうしてるのかな。

<魚の行き先>



どうして自分たちの町である萩の港にもって帰らないで、よその町の港にもっていくのだろう？

下関や九州の港へもっていくのは、なぜだろう。

東京、大阪など  
日本の各地へ

<遠くの海でとれた魚の送り先>



## りょうをする 人の話

ふぐは、船のいけすに生かしておいて、下関の魚市場で、生きたままで売るんだよ。

あまだいは、氷づめにしておくんだよ。



↑ふぐのせりのようす（下関市）

## 〈近くの海でとれる魚の行き先〉



ぎょぎょうきょうどうくみあい

## 漁業協同組合の人の話

とった魚は、<sup>おぼた</sup>小畑、<sup>はまさき</sup>浜崎、<sup>みなと</sup>大井湊、<sup>こしがはま</sup>越ヶ浜、三見の魚市場へ運んでいって、せりにかけて売られるんだよ。萩市の近くの海岸には岩が多いので、うにやさぎえなどがたくさんとれるし、春には、わかめとりもさかんだよ。これらの地区では、うにの加工かや小さい魚をいりここうにしたりして、ほしわかめとならんで、萩の名産品めいさんひんになってるんだよ。





## 魚を<sup>そだ</sup>育てる<sup>くふう</sup>工夫

育てる漁業では、どんなものを、どのように工夫して育てているのでしょうか。



↑海につくったはまの<sup>ようしよくじょう</sup>養殖場



↑養殖の魚にえさのいわしを小船で<sup>はこ</sup>運ぶ



↑海水をくみ入れるひらめの養殖場



↑<sup>せいちよう</sup>成長したひらめ



### 漁業協同組合の人の話

萩市では、大井浦漁業協同組合、萩小畑漁業協同組合を中心にして、養殖がおこなわれ、研究も続けられているよ。



↑魚しよう（魚のアパート）



↑わかめぼし

ぎょぎょうきょうどうくみあい  
漁業協同組合



の人の話

萩市では、はまちやたい、ひらめの<sup>ようしよく</sup>養殖が行われており、ふぐの養殖の研究も進められているんだよ。

また、あわびを<sup>そだ</sup>育てることも手がけて、よいせいせきをあげているよ。さらに近くの町の漁業協同組合と協力しあって、たい、かきご、ひらめの稚魚<sup>ちぎよ</sup>を育てて海にはなすためのしせつもつくってるんだよ。

魚貝るいをとりすぎないための工夫<sup>くふう</sup>

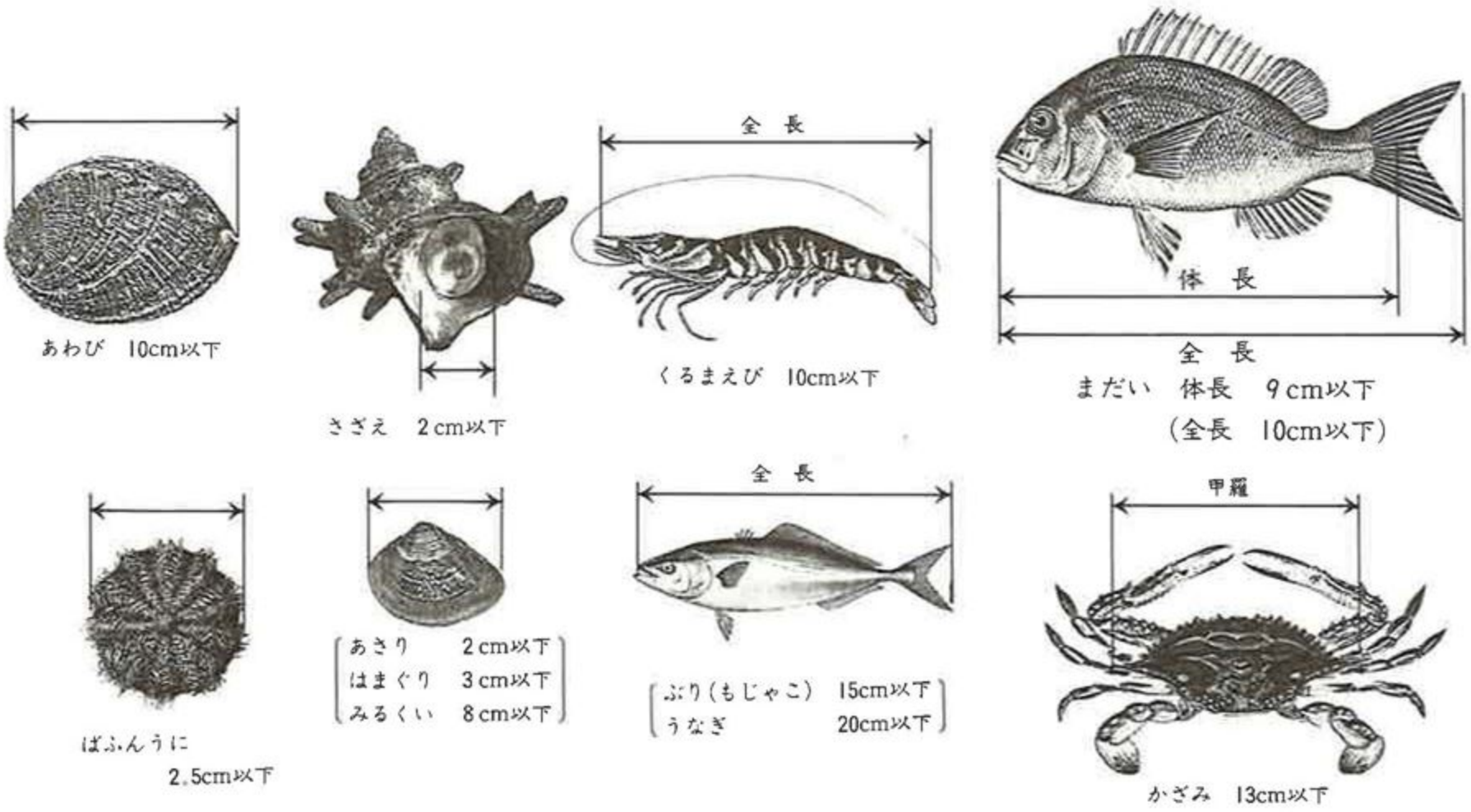
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
なまこ		4/1										10/31
あわび									11/1		12/20	
てんぐさ						8/1					10/31	
あゆ					5/19				11/1			
べにずわいがに					7/1			8/31				

とってはいけない<sup>きかん</sup>期間



土曜日、日曜日はりょうを休むとか、「あわびやさぎえがたまごを生む<sup>じ</sup>時期はとらない」などの工夫もあるんだね。

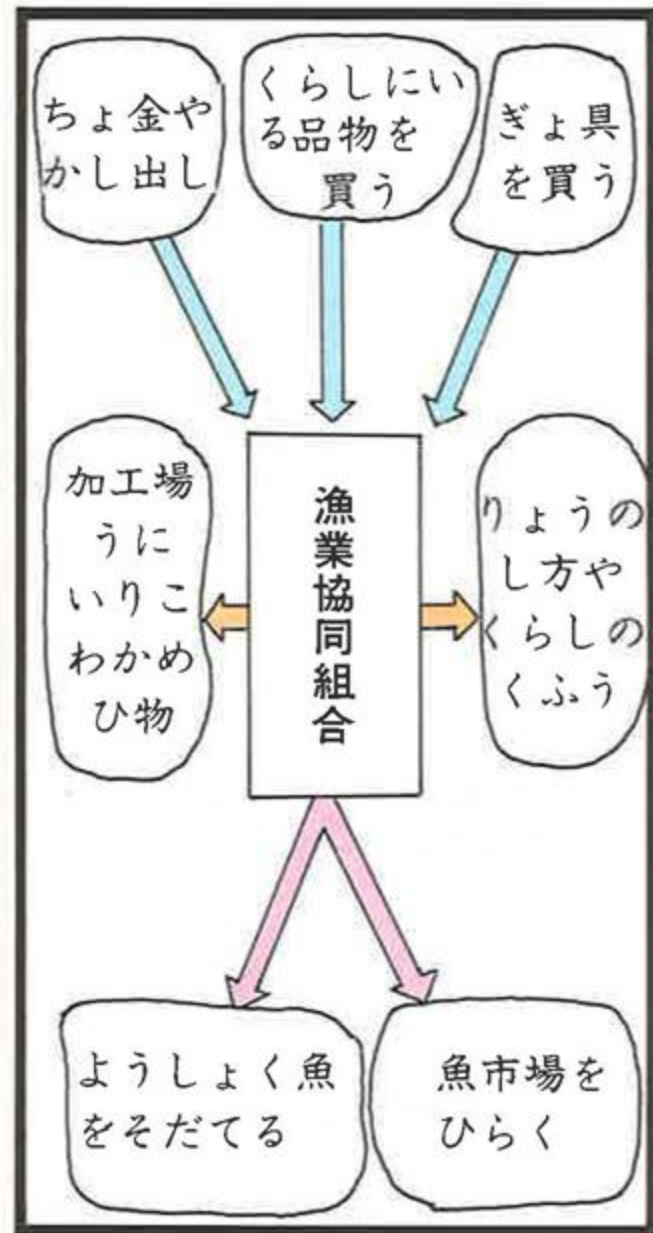
# とってはいけない大きさ



# 漁業協同組合の仕事

## 組合の人の話

わたしら、漁業協同組合の仕事をしているものは、海ではたらく人たちがよい仕事ができるように、その人たちの家ぞくのくらしがよくなるように、海ではたらく人のあとつぎがふえるように、明るく住みよいくらしの手だすけをしているんだよ。



## 5 暮らしのうつりかわり

### (1) <sup>どうぐ</sup>道具からむかしの<sup>しら</sup>暮らしを調べる

みなさんの家にのこっているむかしの道具をさがしてみましよう。その道具はどのようにして使われていたのでしょうか。


#### むかしの道具

##### ひいおじいさんやひいおばあさんの話

わたしが子どものころ、夜の明かりはあんどんやランプじゃった。それで、ランプのおおいにつくすすを、よくみがかされたもんじゃ。はじめて電気がついたのは、およそ80年前じゃったが、10ワットぐらいの電きゅうを見て「ずいぶん明るいう」と、話し合ったことをおぼえちよる。家は、かやぶき屋根で、だいどころは、土間になっちよった。ごはんは、かまどでたきよったからけむたかった。まだ、水道がなかったから、いど水をくみ上げてつこうちよった。ふろ水をくむのは子どものしごとじゃったよ。みんな、よう手つだいをしたもんじゃ。せんたくは、たらいでせんたくいたをつこうて、おふろののこり水でしよったよ。



きょうどはくぶつかんぶんかん    民俗資料館  
**萩市郷土博物館分館（民俗資料館）をたずねて**

 むかしの道具やくらしのようすを調べてみましょう。



↑民俗資料館の中



↑むかしの冷蔵庫れいぞうこ



↑せきゆ石油ランプ



↑あんどん



↑こたつ



**民俗資料館の先生のお話**

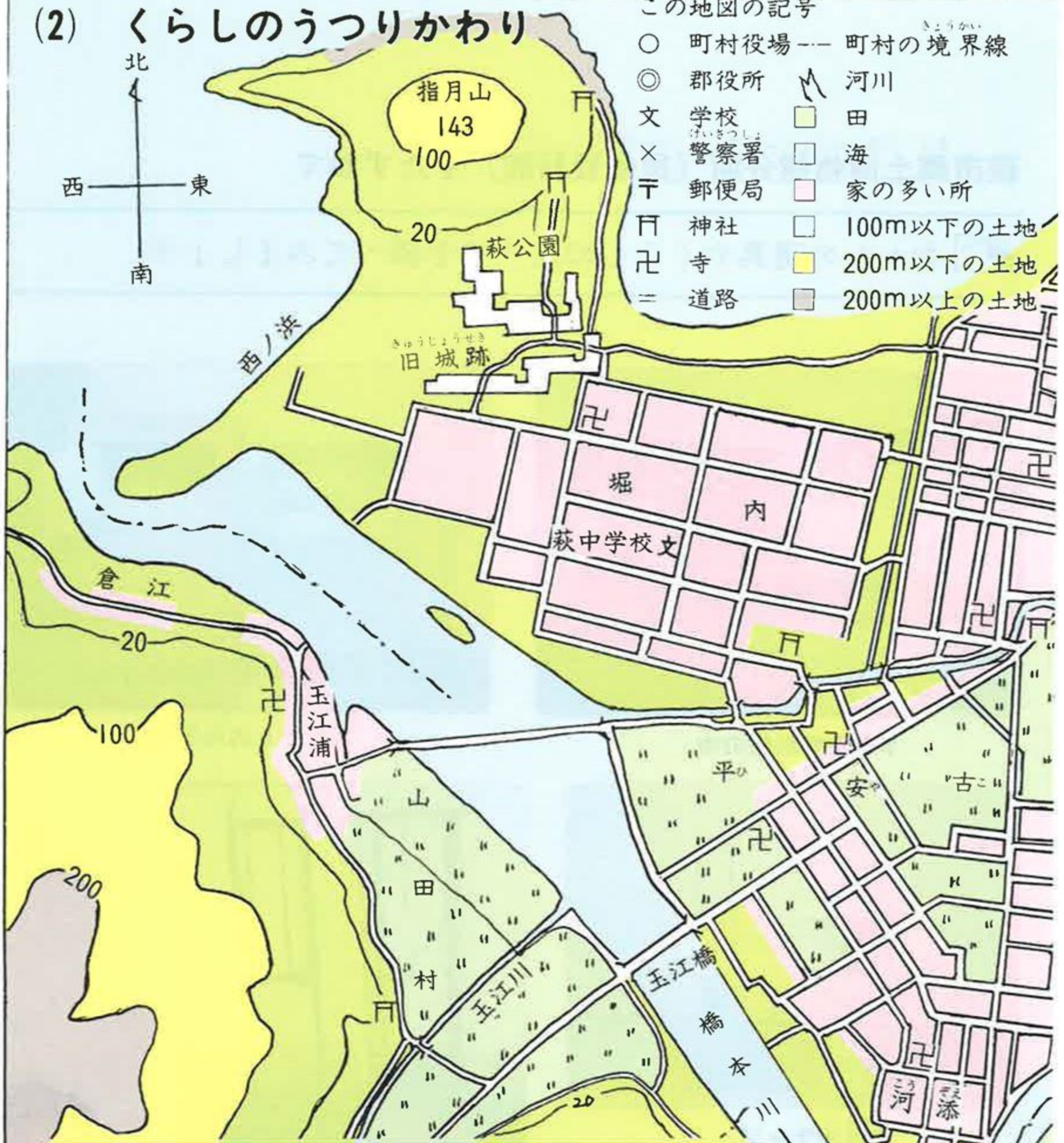
むかしの人たちが仕事や生活で使っていた道具をよく見ると、むかしの人たちのくらしのちえがわかります。そして、生活や仕事の工夫や努力くふうどりよくがしぜんと伝わってきます。道具には使っていた人たちの心もこめられているのです。


## (2) 暮らしのうつりかわり



この地図の記号

- |   |      |     |           |
|---|------|-----|-----------|
| ○ | 町村役場 | --- | 町村の境界線    |
| ◎ | 郡役所  | ↘   | 河川        |
| 文 | 学校   | □   | 田         |
| × | 警察署  | □   | 海         |
| 〒 | 郵便局  | □   | 家の多い所     |
| 卍 | 神社   | □   | 100m以下の土地 |
| 卍 | 寺    | ■   | 200m以下の土地 |
| ＝ | 道路   | ■   | 200m以上の土地 |



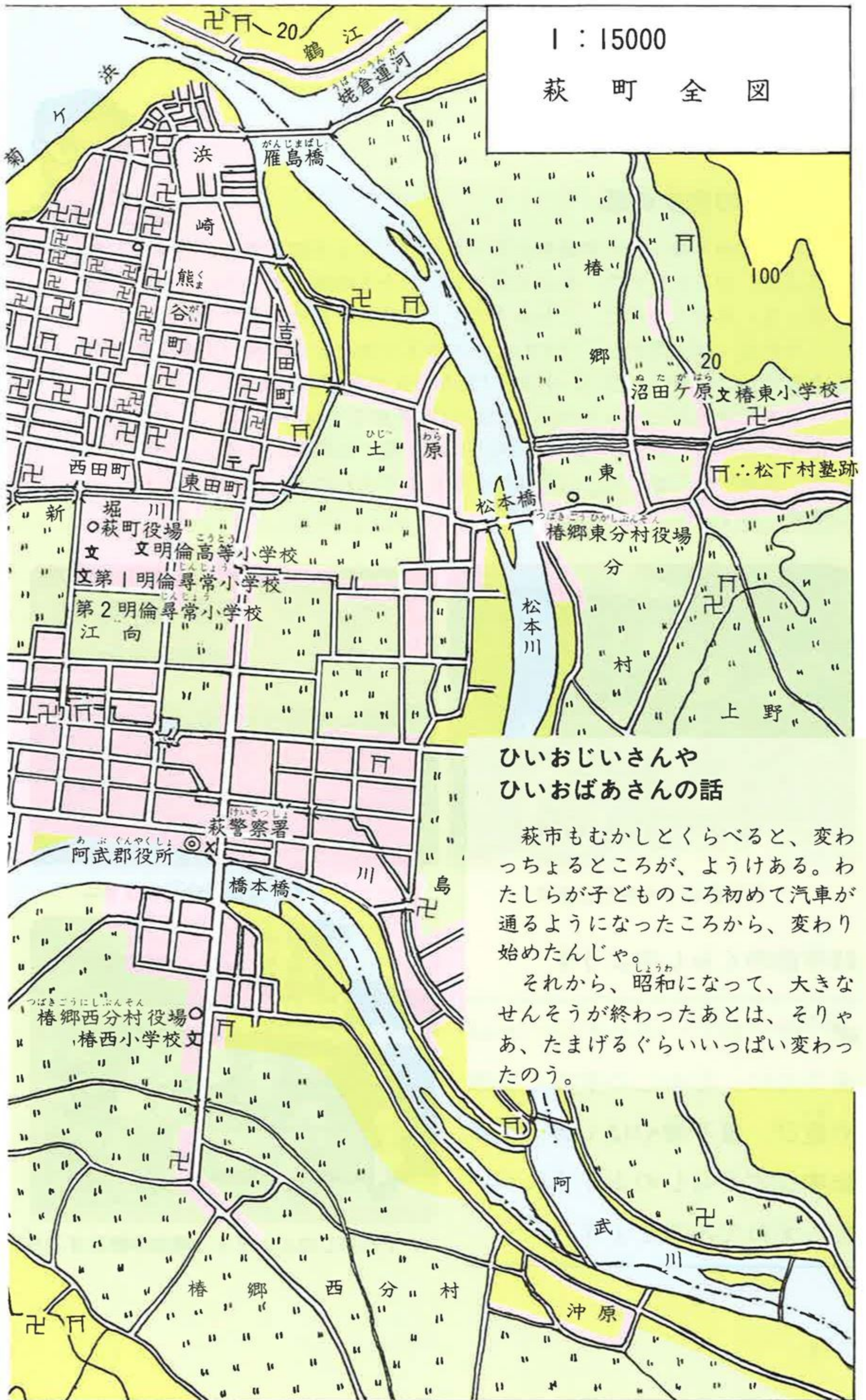
 むかしのことを調べる計画をたてましょう。



これは、今から80年ぐらい前の萩市です。今の萩市とくらべると、どんなところがちがっていますか。

1 : 15000

# 萩町全図



## ひいおじいさんや ひいおばあさんの話

萩市もむかしとくらべると、変わ  
っちょるところが、ようけある。わ  
たしらが子どものころ初めて汽車が  
通るようになったころから、変わり  
始めたんじや。

それから、昭和になって、大きな  
せんそうが終わったあとは、そりゃ  
あ、たまげるぐらいいっぱい変わっ  
たのう。

## 80年前の交通のようす



### れきしの先生の話

萩で初めて乗り合い自動車を通ったのは、およそ80年前（1913年大正2年）のことでした。萩と小郡のあいだを3時間で走っていましたが、古い車だったので、とちゅうでよくこしょうしたそうです。

それまでは、馬やかごにかわった人力車や乗り合い馬車が大事な乗り物でした。多いときは、およそ170台の人力車があったそうです。

日本に鉄道がしかれたのは、およそ120年前ですが、萩では、その後60年ぐらいおくれて、1925年（大正14年）萩—三隅間に鉄道がしかれて、汽車が通りました。山陰本線がぜんぶできたのは、1933年（昭和8年）です。



↑80年前の6人乗り自動車



↑鉄道開通記念ポスター

## 80年前のくらしのようす

ひいおじいさんやひいおばあさんに、むかしの学校と勉強や遊び、着る物やはく物、食事、仕事などくらしのようすについてたずねてみましょう。



↑むかしのふくそう（明治の終わりごろ）





↑いろいろのあるへや



ばしゃ にもつ  
↑馬車で荷物をはこぶ

### ひいおじいさんやひいおばあさんの話

むかしは、学校に行く時、<sup>きもの</sup>着物とわらぞうりがふつうじゃった。お祭りの時は、げたをはかせてもらうた。着物から洋服に変わったのは、大正時代の終わりごろ（70年ぐらい前）じゃったかな。

くらしにひつようなみそやしょうゆも、家で作っていたし、着るものも糸車で糸を作り、はたで<sup>ぬの</sup>布をおって、自分でぬっていたんじゃ。

田や畑では、くわでたがやしたり、牛や馬につけたすきでたがやしたりしておった。作物やひりょうは、とりのすやにっこでかついだり、<sup>に</sup>荷車につんではこんだりしとったよ。

朝は朝日がのぼる前から夕方はくらくなるまで田畑の仕事をつづけたものじゃ。子どもも自分にできる仕事をよう手伝うておったよ。




↑すきでたがやす



↑とりのす

## 50年前せんそうがあったころのようす

 おじいさんやおばあさんにせんそう中やせんそうの後のようすを聞いてみましょう。



### おじいさんやおばあさんの話

せんそう中、萩の町はやけなかったけれど、食べ物や生活にひつような物がたいへん少なくなって、生活が苦しくなりました。

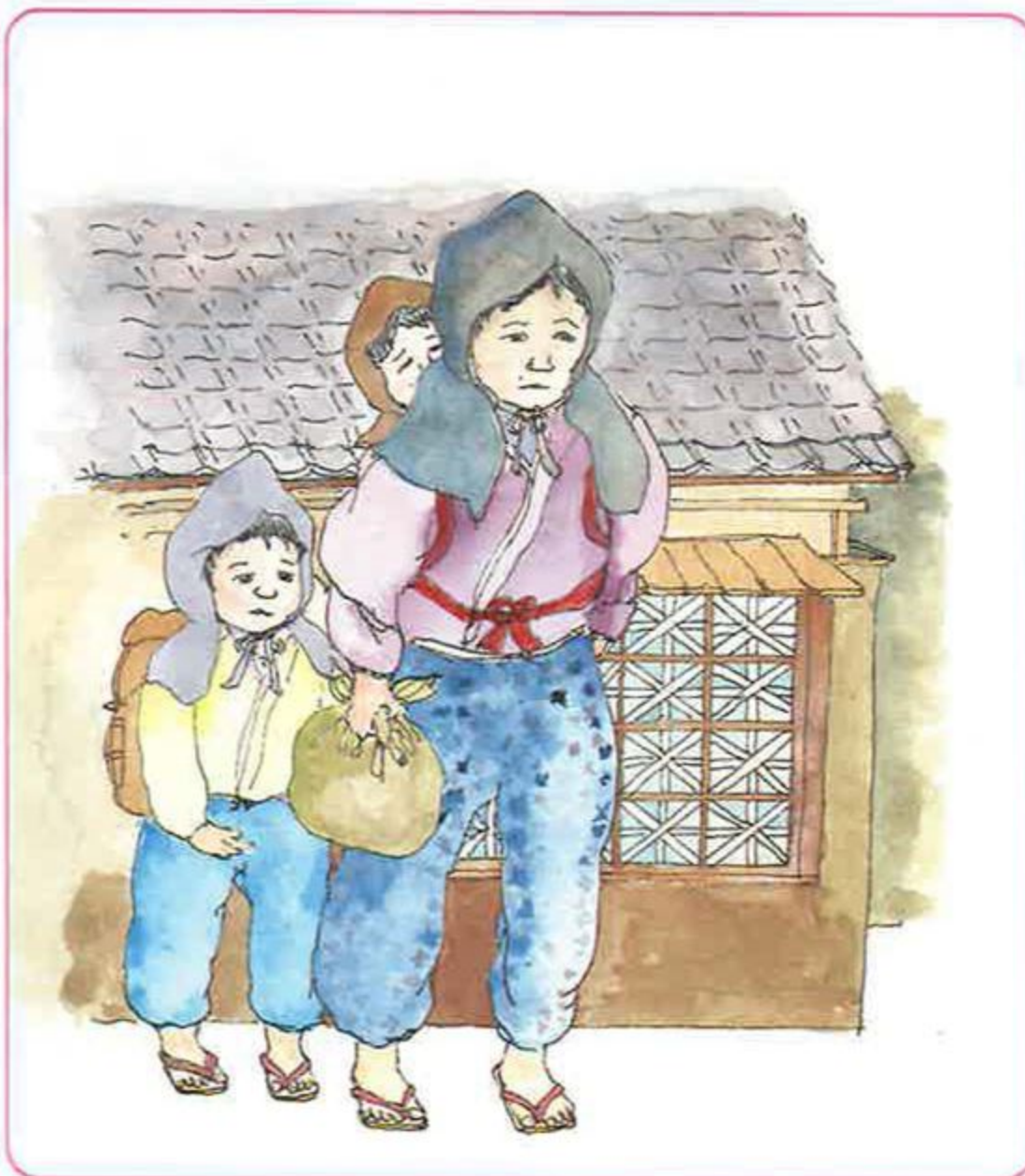
お米も少ないので、むぎが多く入ったごはんや、ぞうすいを食べたり、ごはんのかわりに、いもやかぼちゃなどを食べたりしました。学校の運動場に、さつまいもやだいこんを植えていたこともありましたよ。

ようふくやシャツ、くつ、せっけんなども、かづが少なくなったので、はいきゅうでした。

ノートなどの学用品も自由には買えなかったので、むだづかいしないように大せつにしました。

えんぴつがみじかくなると、竹などにさして、使いました。

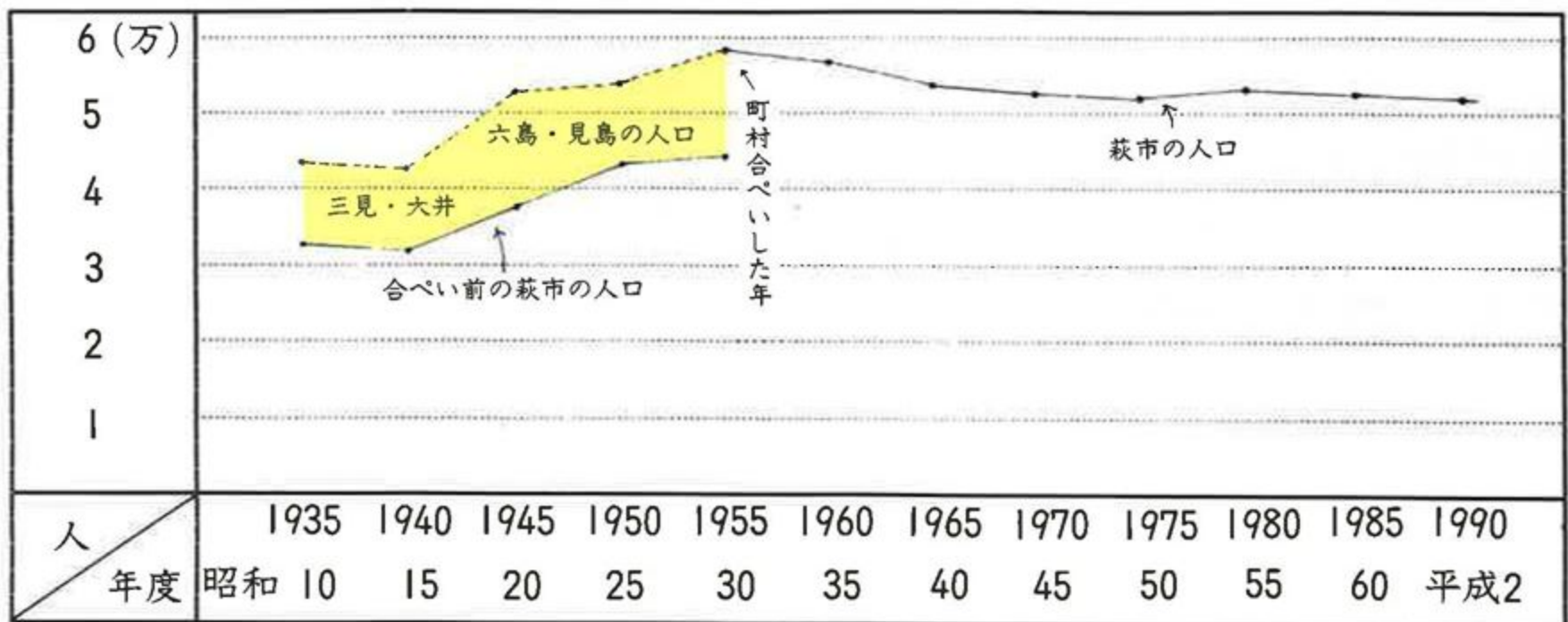
せんそうの後もこのような苦しい生活がつづきましたが、みんないっしょうけんめいはたらい、少しずつくらしをよくしていったのですよ。



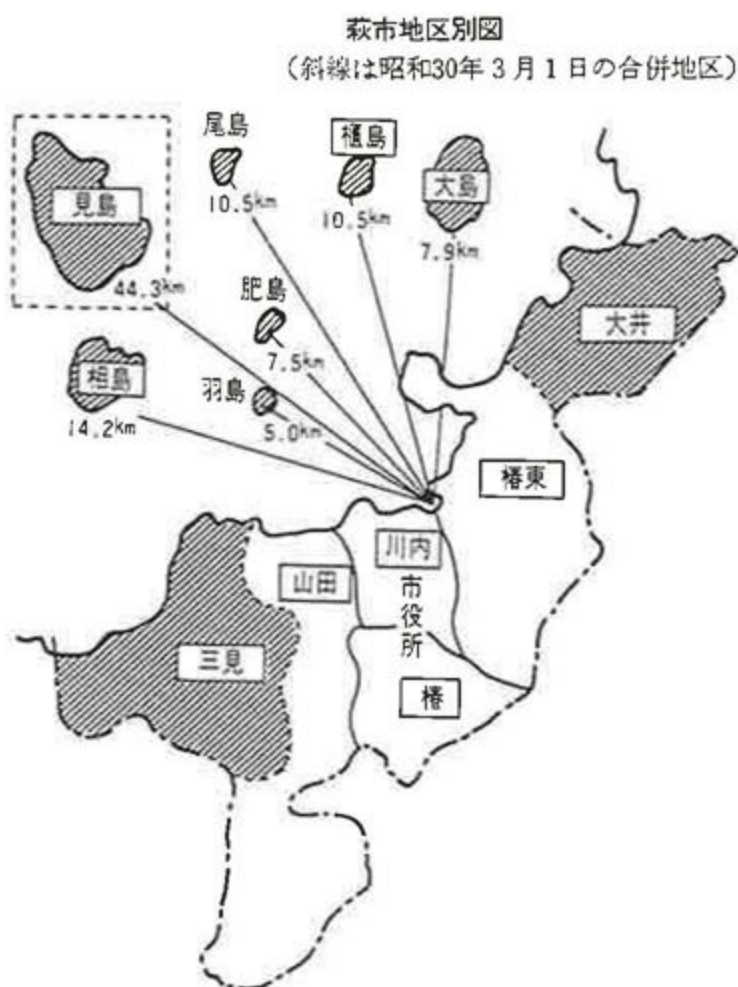
↑せんそう中のふくそう

## 40年前萩市が合ぺいしたころのようす

1955年（昭和30年）に萩市は、三見村、大井村、六島村、見島村といっしょになって、今の萩市になりました。萩市の人口のうつりかわりは、どのようになっているのでしょうか。



↑萩市の人口のうつりかわり



1955年（昭和30年）萩市ではじめてのスーパーマーケットができました。

1961年（昭和36年）には、田床山にテレビ中けい局ができたのでテレビを持つ家庭がふえてきましたが、白黒の画面がめんでした。それから3年後に、カラー放送が始まりました。

### (3) れきしを伝える古い物さがし

萩市には、どんな古い物がのこっているのでしょうか。



↑ はぎじょう 萩城



↑ あさもうり けはぎやしきながや 厚狭毛利家萩屋敷長屋



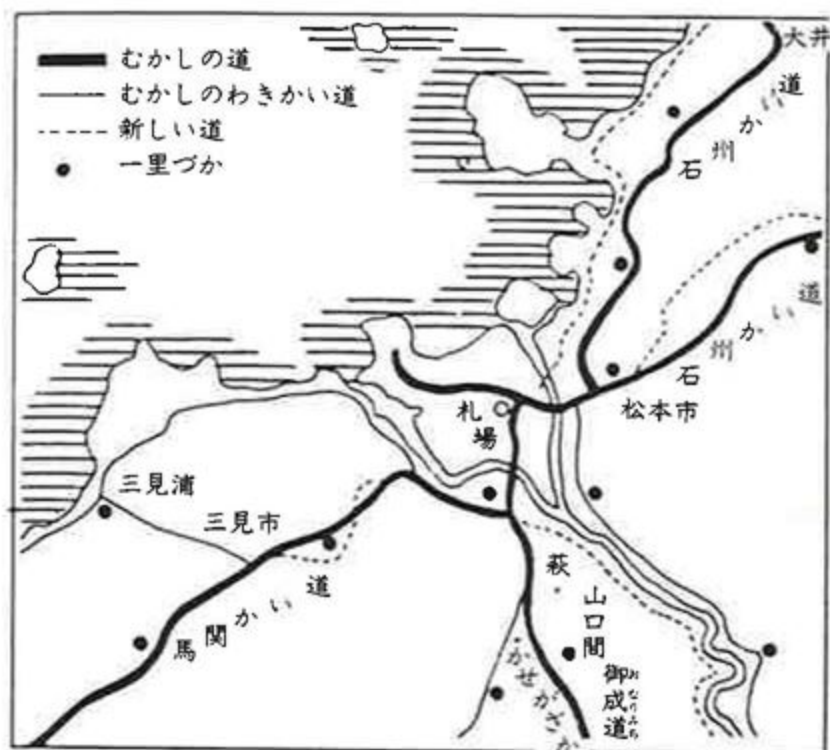
#### れきしの先生の話

萩城は、今からおおよそ390年前、周防・長門（今の山口県）すおう ながとの大名になった毛利氏だいまよう もうりしがきずきました。そのころの川内は、水たまりやあしのしげった土地でしたが、城を中心にして、まわりを少しずつうめたてて、しだいに町を広げていきました。城の近くには、おもだった武士の家、その外がわには、商人や職人しよくにんをすまわせ、道路や船着き場ふなづをもつくって、城下町としての形をととのえてきました。こうして、萩の町は、周防・長門の中心としてきかえてきたのです。

武士を中心とした世の中は、今からおおよそ130年前に終わりましたが、萩市には、江戸時代の城下町のようなすよくつたえるたて物や土べい、記ねんひくちば けじゅうたく きゅうなどが多くあります。城の近くの堀内には、口羽家住宅、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋きくやよこちようなどがあり、菊屋横丁の近くには、木戸孝允きとたかよしや高杉晋作たかすぎしんさくが住んでいた家などがあって、武士のすまいのようすを知ることができます。

## むかしの道

むかしの道は、今の道とくらべてどんなところがちがっているのでしょうか。



↑むかしのかい道



↑道しるべ



↑かい道のとうげ (かせがざかふきん)



↑一里づか

## むかしからつづいている祭りや行事

萩市には、むかしから<sup>つた</sup>伝わるいろいろな祭りや行事があります。これからも祭りや行事をつづけていくために、人びとは、どのような<sup>どりょく</sup>努力や<sup>くふう</sup>工夫をしているのでしょうか。

地区に伝わる祭りの<sup>まい</sup>舞には、人びとのねがいがこめられています。子どもころに、舞をおぼえたおじさんやおばさんたちが、ねっしんに教えておられます。



↑天狗拍子のけいこ (玉江浦)  
てんぐびょうし たまえうら



↑天狗拍子の舞 (玉江浦)



↑神楽舞 (山田)  
かくら



↑巫女の舞 (越ヶ浜)  
みこ こしがはま

## 萩市に伝わる祭りや行事



↑見島の鬼揚子あげおにようず（1月）




↑玉江浦のおしくらごう（6月）



↑住吉祭りの御船謡奉納すみよし おみなうたぼうのう（8月）



↑天神祭りの御備てんじん おそなえ（11月）

みなさんのすんでいるちいきには、どのような祭りや行事が  
伝わっているかしら調べてみましょう。


# 6 くらしをよくするために

## (1) 住みよいくらしとごみ



家から出るごみ



↑ごみの山

 わたしたちの家から、どんなごみが、どのくらい出ているか調べてみましょう。

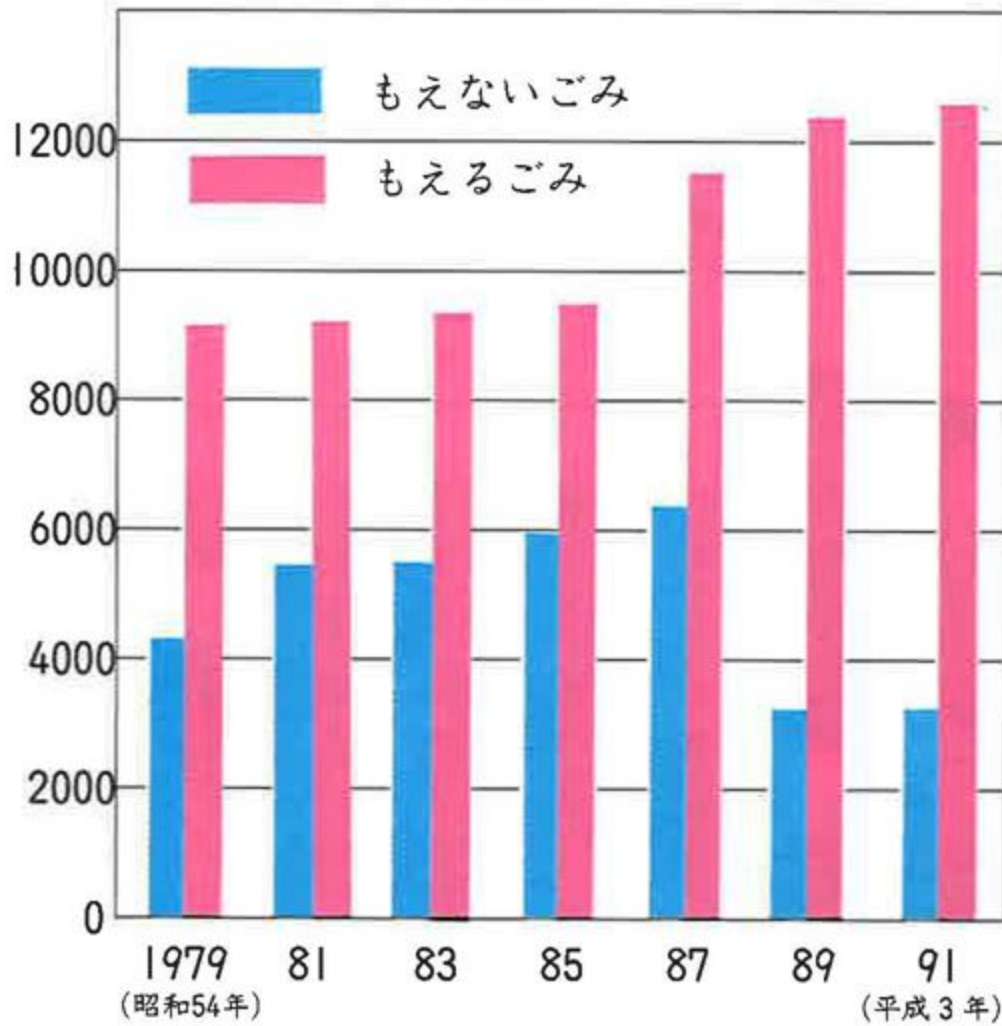
1週間分のごみの種類と量 しゅるい りょう

もえるごみ 	もえないごみ 



ごみは、年々どうなっていますか。それはなぜでしょうか。

(トン) 集めたごみのうつりかわり(萩市環境衛生課調べ)



萩市では、現在1日におよそ54トン (54000kg) のごみをしゅりしています。

このごみをしゅりするのに、平成3年度には、およそ3億750万円の費用がかかりました。

資源ごみとして回収する事業を進めることにより、うめたて処分場に運ばれてくるごみがへってきました。


萩市のごみしゅりのあゆみ

1932 昭和7	1953 28	1962 37	1971 46	1972 47	1974 49	1976 51	1977 52	1978 53	1980 55	1984 59	1988 63	1989 平成元	1993 平成5	
・萩市が生まれる	・市がごみ集めを始める(荷車) ・西ノ浜にごみしゅり場ができる	・山田のうめたて地を使い始める	・三見のうめたて地を使い始める	・もえるごみともえないごみを分けて集め始める	・近くの町村と共同して、椿東にごみしゅり場をつくる	・大島でごみ集めを始める	・パツカー車で集め始める	・相島でごみ集めを始める	・見島にごみしゅり場が完成する	・カンビンと資源ごみとして分けて集め始める	・かん電池を別に集める	・椿東に新しい清掃工場ができる ・ごみコンポストの世話を始める	・大井のうめたて地を使い始める	・ごみぶくろによるごみ集めを始める

(萩市財政課・環境衛生課調べ)

## ごみを集めるくふう

ごみは、だれが、どのようにして集めているのでしょうか。

 **お**ごみ置き場のかんさつを  
しましょう。



↑ごみしゅうしゅう車 (パッカー車)



↑ごみを出す場所の立てふだ




### ごみを集める人の話

萩市では、もえるごみは、きめられたごみぶくろで月・木の地区と火・金の地区に分けて集めています。戸べつまたは数戸ずつにまとめたごみを、26人で9台のごみしゅうしゅう車に分かれて集め、萩清掃工場へ運んでいます。

そのときに困ることは、生ごみの水をよくきらない人がいたり、もえないカンやビンをまぜて出す人がいたりすることです。

もえないごみは、月2回町内ごとに決められた場所に出してもらい、大井のうめたて地に運んでいます。

みんながきまりを守ってごみを出して、きれいな町にしたいですね。

 萩市がごみを集める前は、どのようにしまつしていたのでしょうか。家の人にたずねてみましょう。

# ごみの行き先

集められたごみは、どこへ行くのでしょうか。



萩清掃工場 (萩東)

しげんかいしゅう  
資源回収業者 (防府市 山口市)  
(再利用) ・アルミかん新聞紙など



大井不燃物うめたて処分場

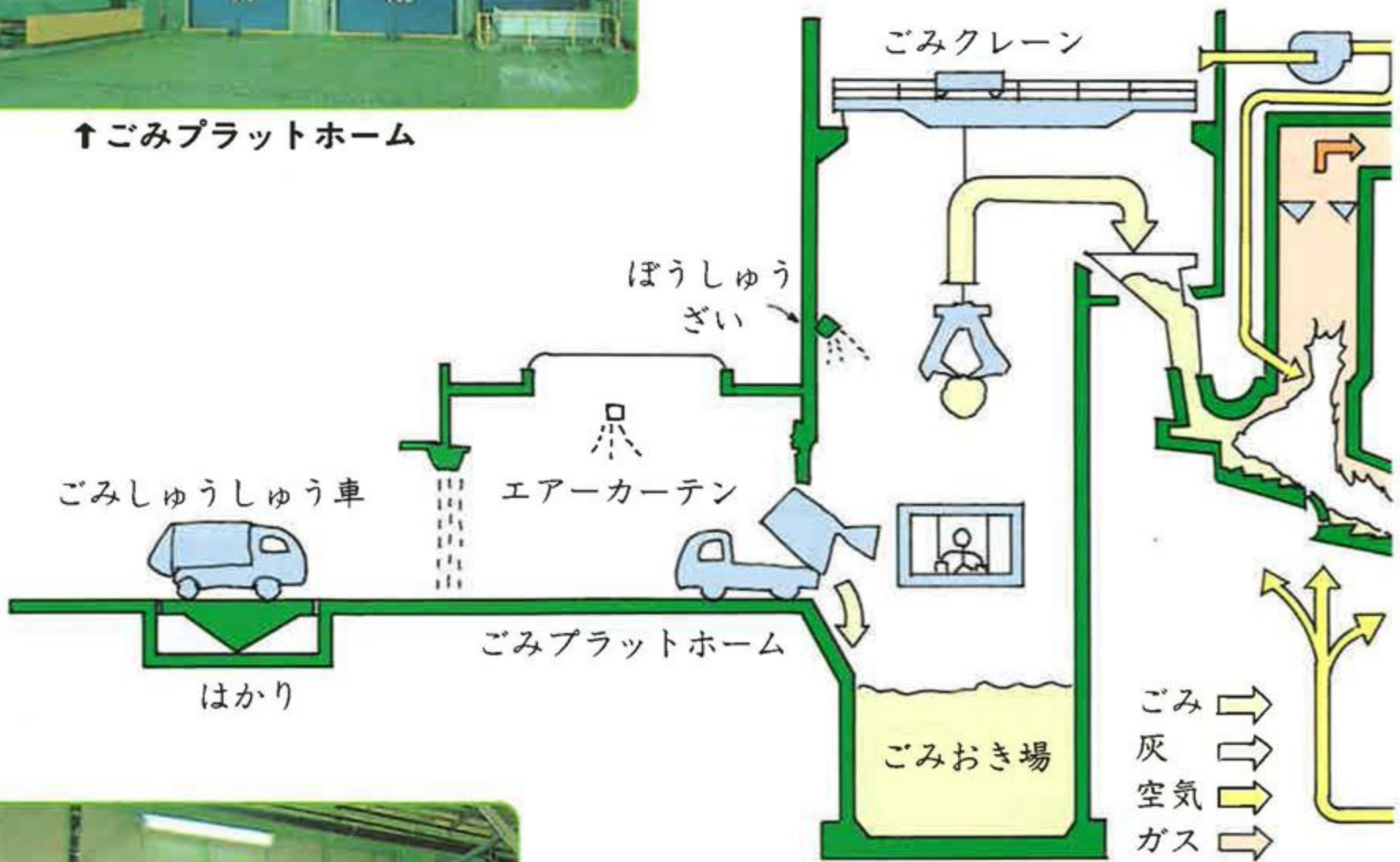
かん電池・けい光とうなどの水銀系のごみは  
北海道へ運び水銀をぬいて再利用される。

# 荻清掃工場のしくみ

けむりやにおいをふせぐ  
ために、どんな工夫<sup>くふう</sup>をして  
いるでしょうか。



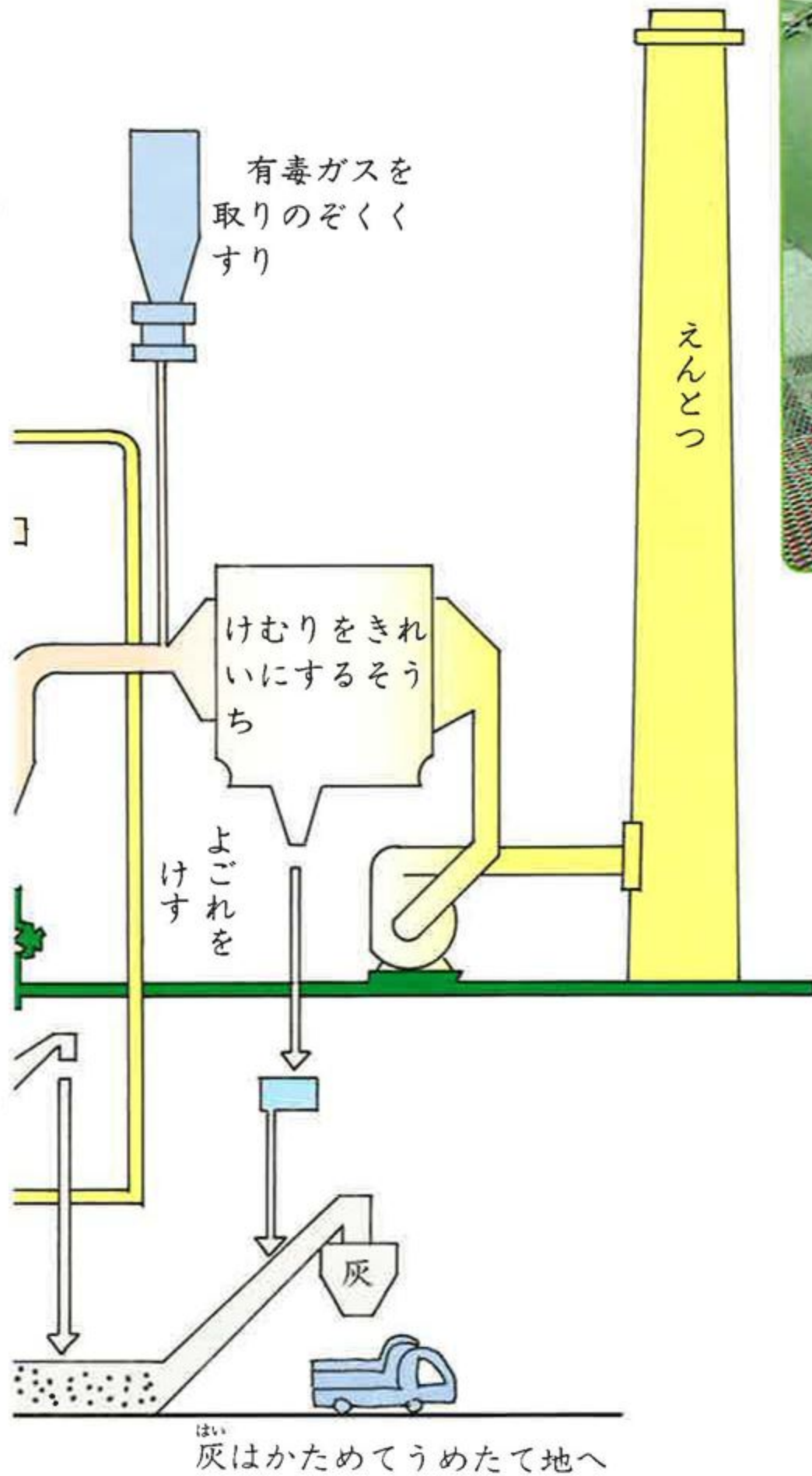
↑ごみプラットホーム



よごれた水はしょうきゃく<sup>ろ</sup>炉の  
中へふきつけられて、じょう<sup>ろ</sup>発  
させられる

←はい水をきれいにするせつび  
よごれた水はしより<sup>せいのり</sup>してきれいに  
再利用する





↑けむりをきれいにするそうち  
空気中の小さなごみを取りのぞく





↑けむりの成分<sup>せいぶん</sup>を調べるそうち

せいそう

清掃工場は、どこにつくられているのでしょうか。



 なぜ、このような場所につくられたのか、話し合ってみましょう。

 環境を守るために、わたしたちができることは、どんなこと  
でしょうか。みんなで話し合ってみましょう。



みんなで川や海を  
きれいにしたわ。



清掃工場やうめた  
て場が空気や水を  
よごさないように  
つくられているこ  
とがよくわかった  
なあ。



↑ かせんせいそう  
河川清掃



ごみをへらすこと  
も大切なことだ  
と思うよ。どうした  
らへらせるかな。




わたしたちは、子  
供会ではい品回  
収しゅうをしているのよ。  
空きビンや古新聞  
をもう一度利用す  
ることができるね。



↑はい品回収

## (2) くらしをささえる水

### くらしと水


 わたしたちは、1日に、どのくらいの水を使っているのでしょうか。自分が使う<sup>りょう</sup>量を調べてみましょう。

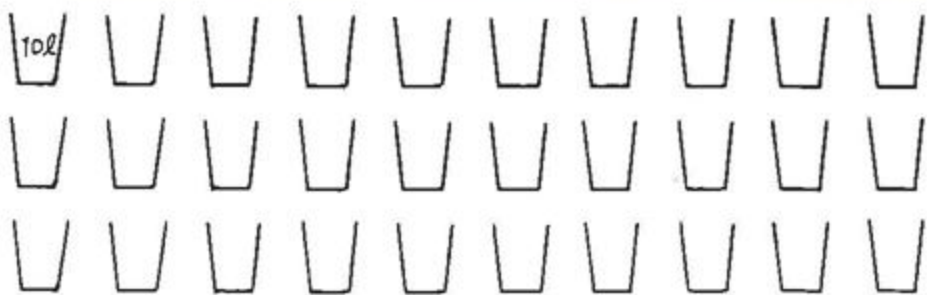


使った水の量は  
どうやって調べ  
たらいいかな。

「学校と家ではずいぶんちがうことがわかるね。」

「ぼくの家では、2か月で61000ℓ使っています。  
5人家族でひと月分で30500ℓだから、1人1日約  
200ℓ使ったことになります。」

 あなたの家では、1人が1日に  
どれくらいの水を使っているか、  
調べて色をぬってみましょう。



使用番号 B 59 435- 0- 0 13133			
〒758 無田ヶ原			
チントウシヨウカツコウ 殿			
平成 4 年度		8-9 月分	
1125			
給水料	量水器使用料	合計	
2,697	108	2,805	
92,617	3,708	96,325	
3	075	7/6 9/5	
上記の金額を平成 4 年 10 月 31 日までに萩市水道事業 出納・収納取扱金融機関へ納付してください。 平成 4 年 9 月 30 日 萩市水道事業管理者			
上記の金額を預収しました 萩市水道局企業出納課 萩市水道事業出納・収納取扱金融機関 萩市水道局現業課			

↑ 椿東小学校の例

#### 使用水量と口座振替のお知らせ

平成 4 年度	8-9 月分	点検日	9 月 / 日
使用番号	0- 0	様	
今回の指示数	1	9 4 7	
前回の指示数	2	1 8 8 6	
2か月使用水量	1	6 /	

※ 今回の使用水量は次の理由により認定いたします

不在・積荷 埋設  
故障・点検におくれ

お願い 次回から検で結びたいします

※ 使用水量に不明の点などがありましたら、早くご連絡ください  
※ ノーターボ、クスのしや周囲には、物を置かないでください  
水道の廃止や転出などは、前日までにお願いします

\*\*\*\*\* 口座振替済通知書(前回の料金を)\*\*\*\*\*  
下記の金額は、ご指定の口座から 月 日  
振替納入されました

平成	年度	月分	使用水量
給水料	量水器使用料	合計	

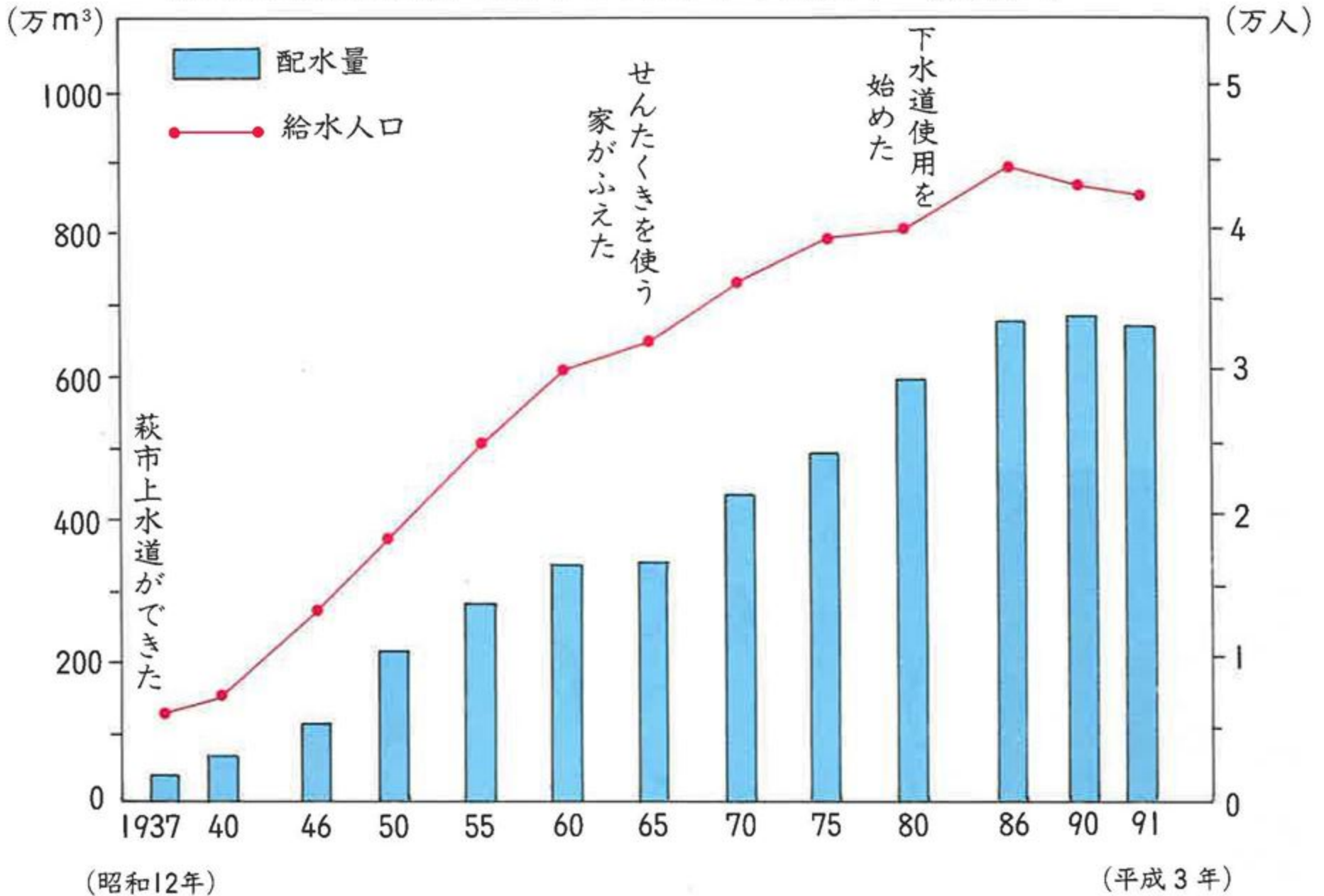
〒758 萩市水道局 電話 2398

↑ 5人家族の例



ひとびと  
 萩市の人々が使う水の量がふえてきているのはなぜでしょうか。

はいすいりょう きゅうすい  
 水道の配水量と給水人口のうつりかわり (平成4年 萩市調べ)



### 水道局の人の話

萩市では、1936年（昭和11年）に水道がつくられました。萩市に住んでいる人々は、ほとんど上水道の水を使っています。この水は、阿武川のふくりゅう水を使っているのです。きれいですし、今のところ水不足の心配はありません。しかし、年々、家の数がふえ、生活も豊かになってきたので、水を使う量もふえてきました。



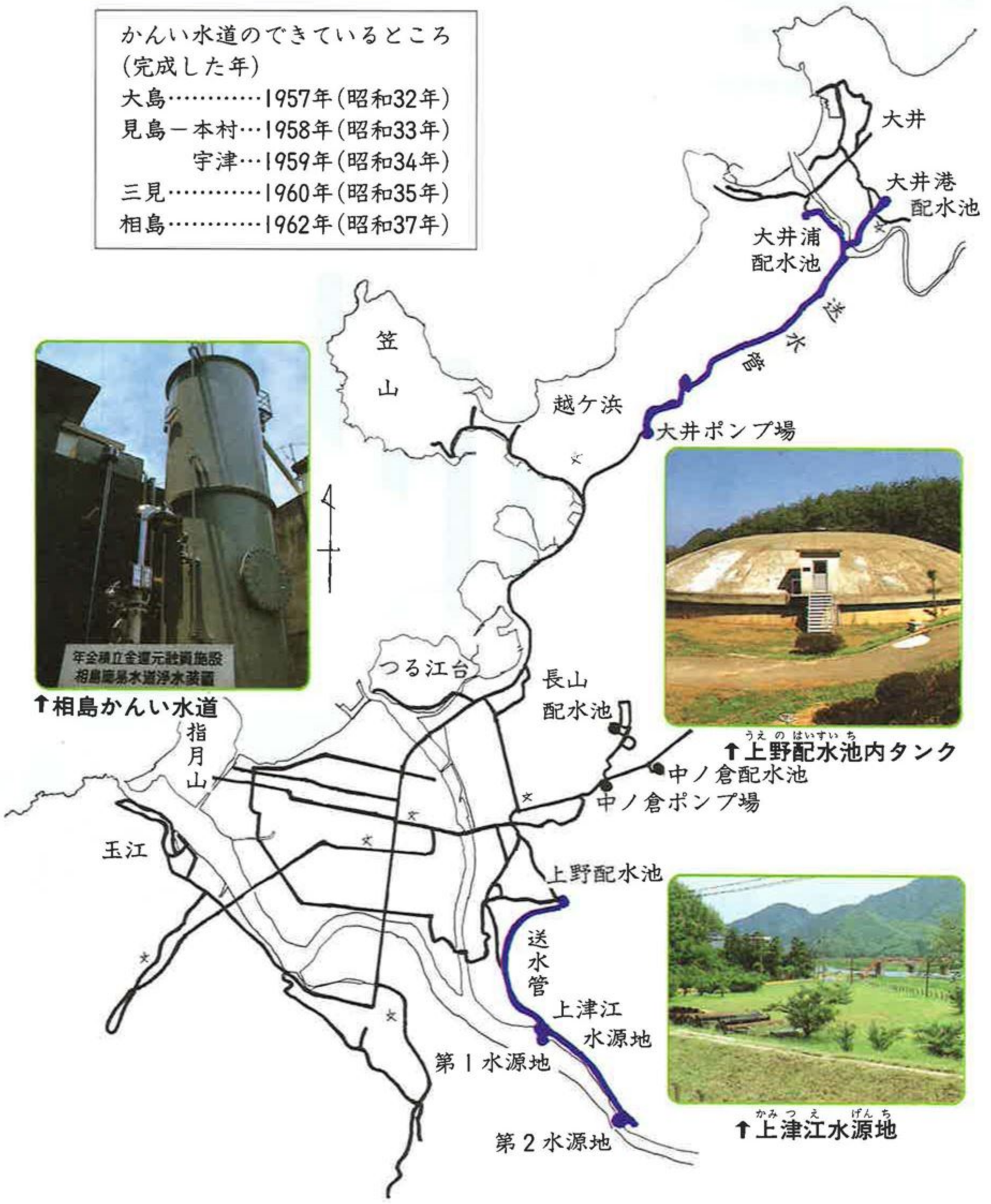
学校以外の所でも水をたくさん使っているよ。病院やお店や工場や公園や公共トイレ、それに火事を消すときにも使っているね。

水道の水は、どこからきているのでしょうか。

萩市の上水道(主な配水管としせつ)<sup>はいすいかん</sup>

かんい水道のできているところ  
(完成した年)

- 大島……………1957年(昭和32年)
- 見島一本村…1958年(昭和33年)
- 宇津…1959年(昭和34年)
- 三見……………1960年(昭和35年)
- 相島……………1962年(昭和37年)



年全積立全運元設備施設  
相島簡易水道浄水装置

↑相島かんい水道



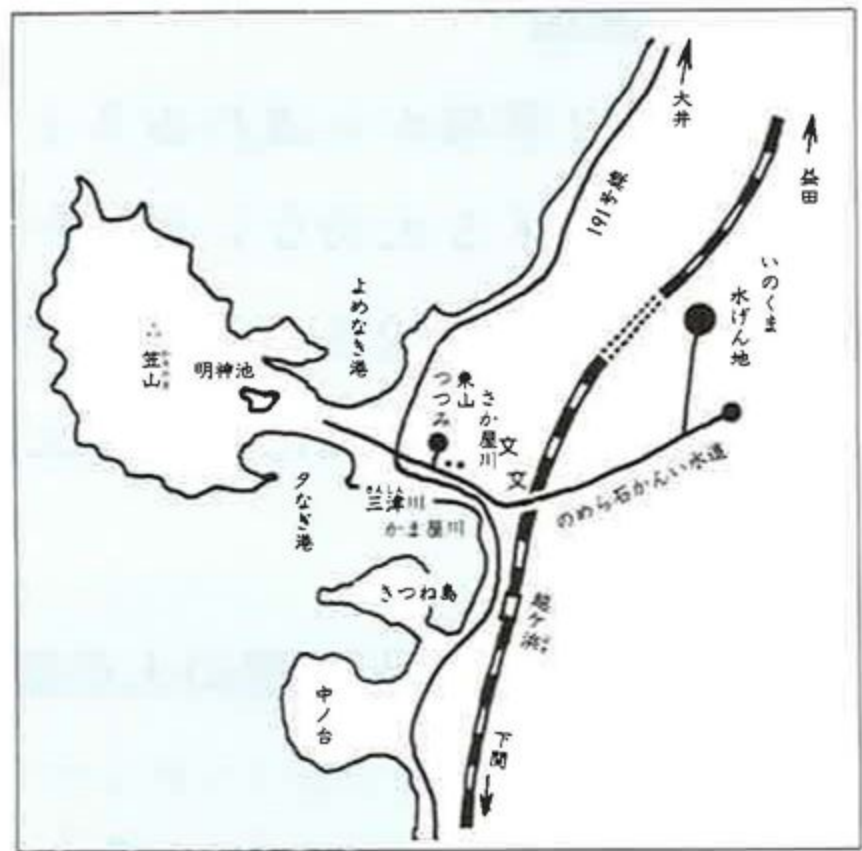
↑上野配水池内タンク



↑上津江水源地

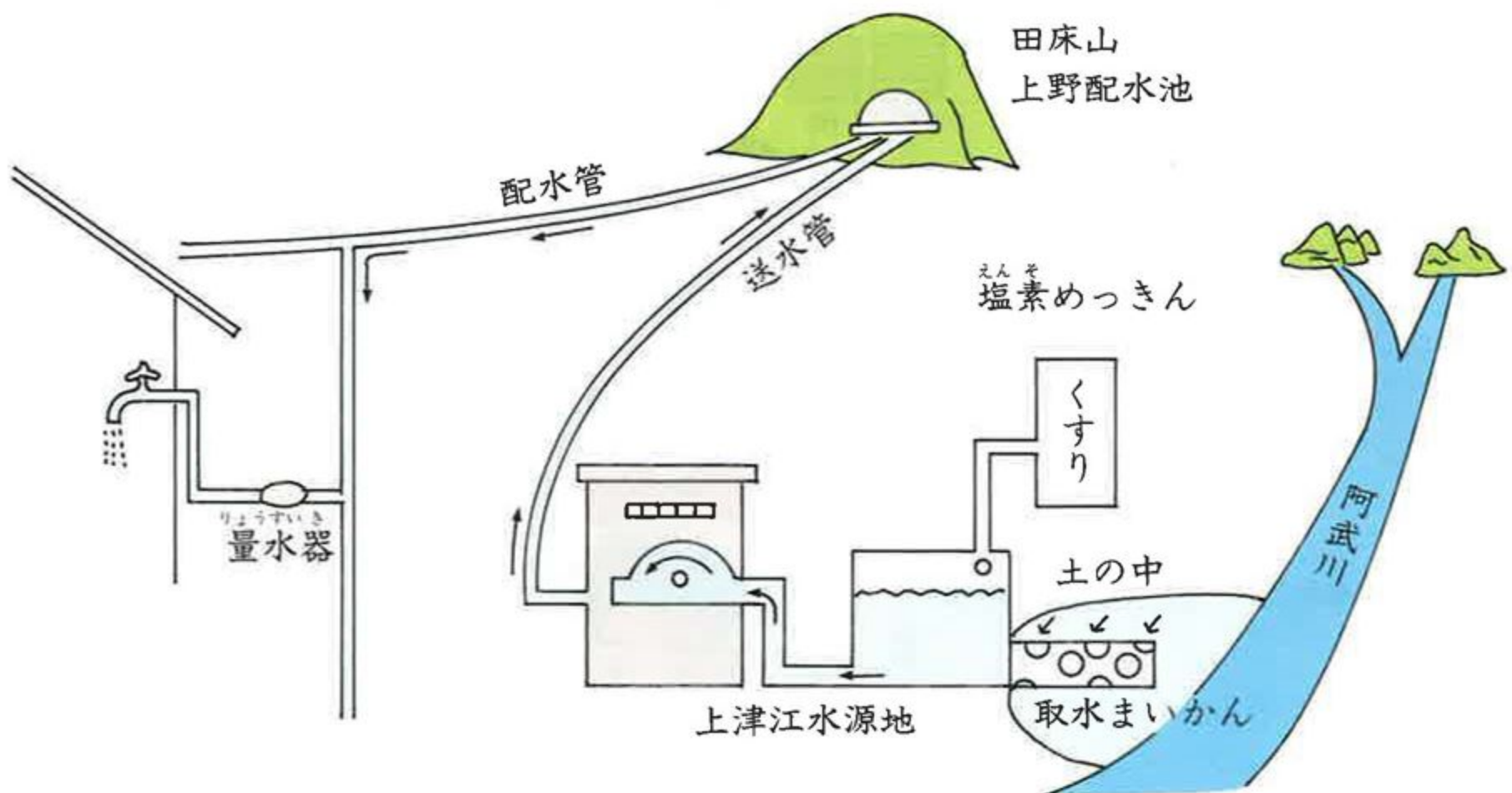
## 水で苦しんだ越ヶ浜<sup>こしがはま</sup>

萩市で最初に水道ができたのは、越ヶ浜です。越ヶ浜には、2、3か所、わずかばかりの水のわき出る所があるだけで、昔から飲み水にたいへん苦勞くろうしました。そこで、この土地の代官だいかんとなった杉梅太郎すぎうめ たろう（吉田松陰の兄）は、明治元年、馬のくら山につつみをほり、水を引いて人々の苦しみをやわらげました。その後、かんい水道ができ、今は、萩市の上水道でまかっています。



越ヶ浜水道

## 萩市の上水道のしくみ——水源すいげんから家庭かていにとどくまで



## 広がる下水道

家庭や仕事場から流れ出るよごれた水を、うまくしまつし、きれいな水にする大切なしせつが下水道です。

市では、昭和52年より、萩市公共下水道事業計画にもとづいて、国や県の協力のもとに下水道工事を始めました。



### 下水道課の人の話

地下に管をうめるので、長い年月と多くの費用とすぐれた技術が必要です。流れをよくするために、かたむきをつけたり、ポンプでくみ上げたりして流すように工夫してあります。



↑下水道工事



(終末しより場)  
萩浄化センター

1977年(昭和57年)萩市下水道計画



第二期計画(平成六年〜平成十二年)

第一期計画(昭和五十二年〜平成五年)



「川や海がきれいになるね。きたないドブがなくなると町もきれいになるよ。」



「カやハエが少なくなって伝染病の予防にもなるそうよ。」



「ぼくは、水洗トイレが使えて気持ちがいいなあ。」

じょうか  
萩浄化センターのしくみ

しゅうまつ  
(終末しより場)

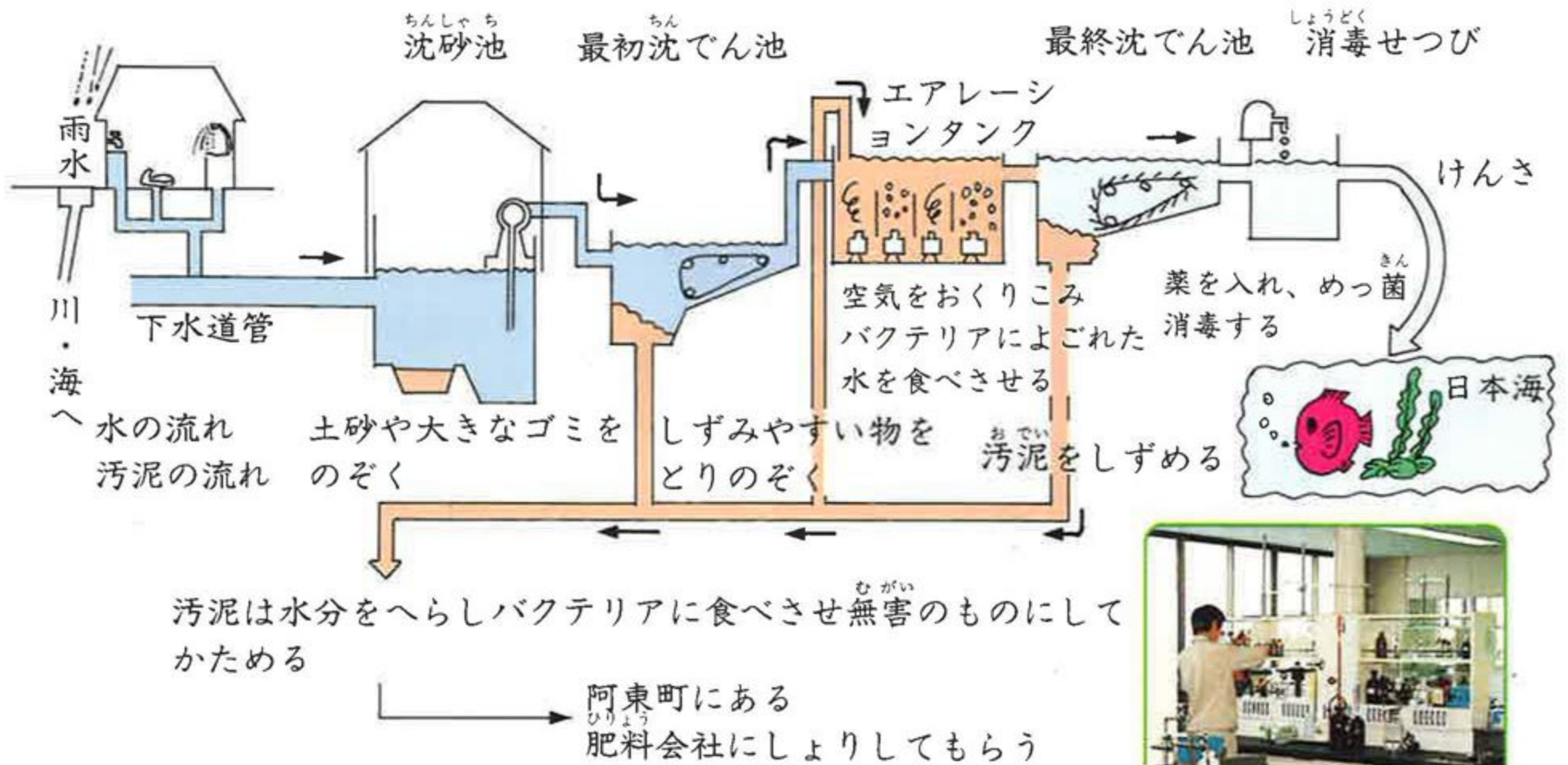


↑萩浄化センター (堀内西ノ浜)

昭和59年12月1日に、  
一部が完成し、下水のし  
よりを開始しました。

萩市では、家からのよ  
ごれた水と雨水を別々に  
流す分流式という方法を  
とっています。

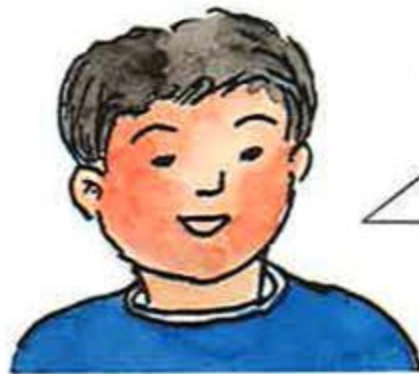
下水がきれいになるまで



↑水質試験室

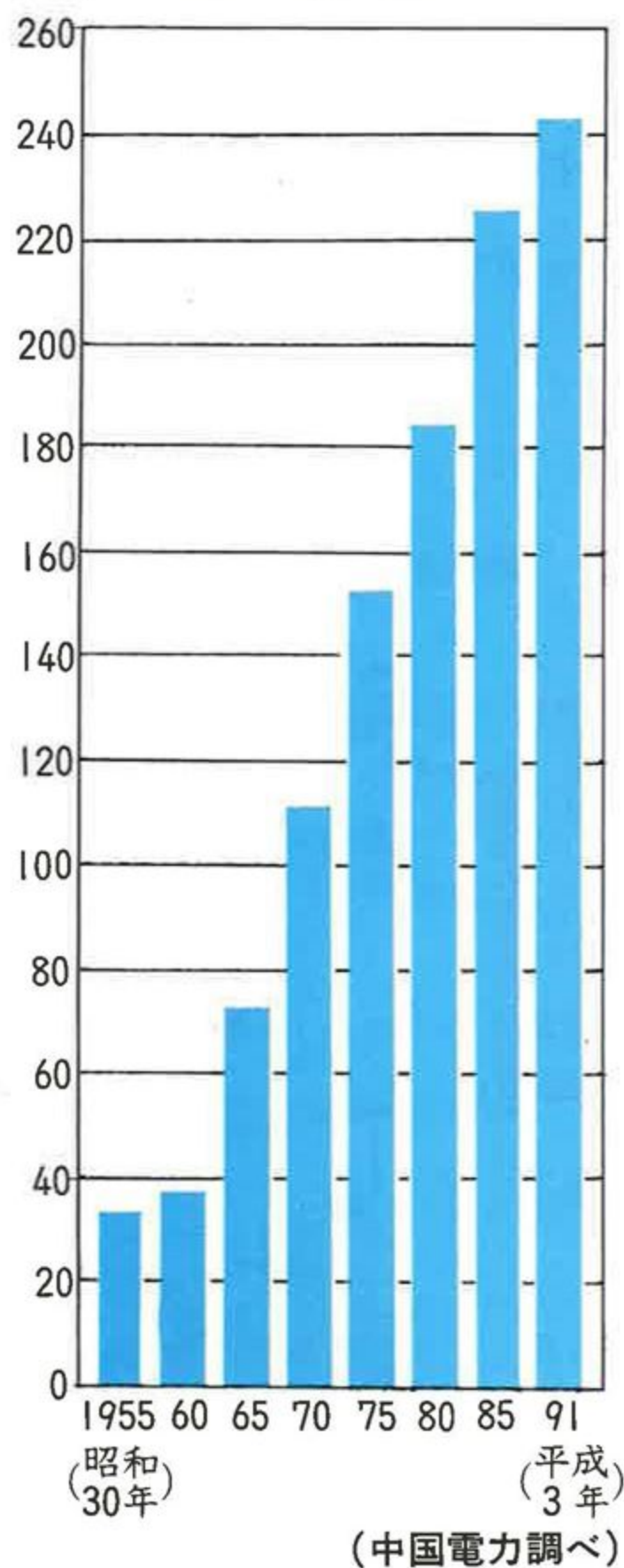
### (3) 萩地方の電気

#### ふえる電気使用量しょうりょう



みんなの家では、どのくらい使っているのか、調べてみよう。

1 けん当たりの毎月の電気の使用量 月/戸



電気ご使用量のお知らせ 毎度ご利用いただきありがとうございます。

お客さま番号 6150223000600400 05

検計日 9月22日

今月 9月22日 前月 8月22日 翌月 10月22日

今月指し数 6061 前月指し数(又は取付指し数) 5671

検計表示数 393 kWh

前月のご使用電力量 393 kWh

料金算定期間 7月22日～8月21日

領収金額(円) 10,811

精算額(再掲) 円 銭 314

契約電力(kVA) 力率(%) 200 30 393

前年同月(3年9月)のご使用電力量 310 kWh

中国電力株式会社

5 人家族の例 (8 月分)



#### 中国電力の人の話

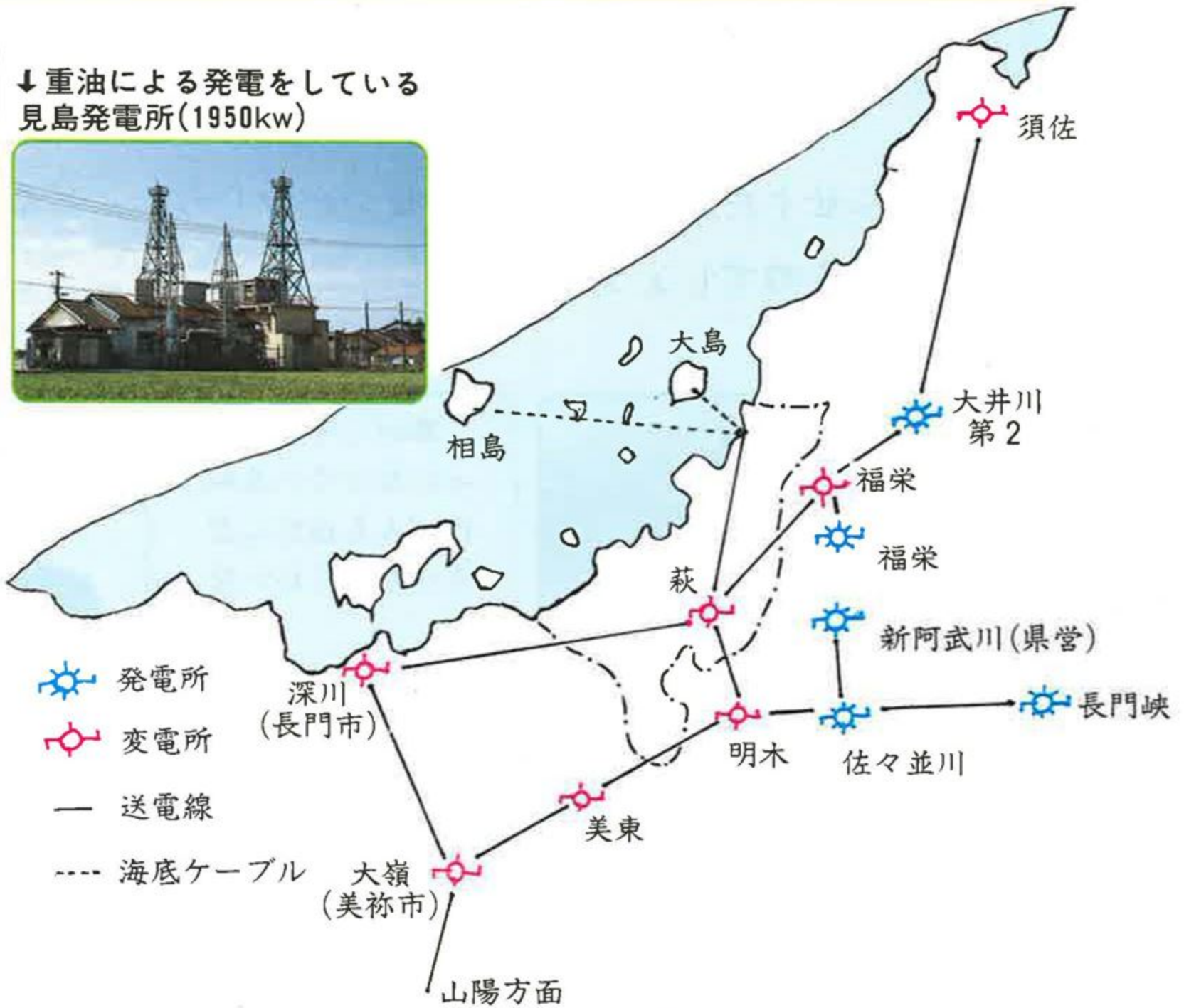
家庭でもしだいに電気器具が多く使われるようになりました。20年くらい前までは、冬に多く使われていた電気が、昭和42年ごろから、クーラー・冷ぞう庫・せん風機などの利用によって冬より夏に多く使われるようになってきました。

電気は、ためておくことができませんから、最も多く使われる時期に合わせて、いつも電力を用意しておかなければなりません。

萩市の電気は、どこで作られ送られてくるのでしょうか。



↓重油による発電をしている  
見島発電所(1950kw)



### 中国電力の人の話

萩地方には、上の地図にかいてある水力発電所があります。これらの発電所は、電気をおこす力が小さく、また水不足の時期もあって、生活や仕事で使うのにとっても足りません。そこで萩市で使う電気の大部分は、下関、小野田、宇部などの山陽方面の火力発電所から萩変電所に送られてきます。



↑<sup>へんでんしょ</sup>萩変電所(椿)

# 7 市民の安全を守る

## (1) 交通じこをふせぐ

交通じこをふせぐために、どんなしせつがつくられ、どんな工夫くふうがされているのでしょうか。



↑おそろしい交通じこ

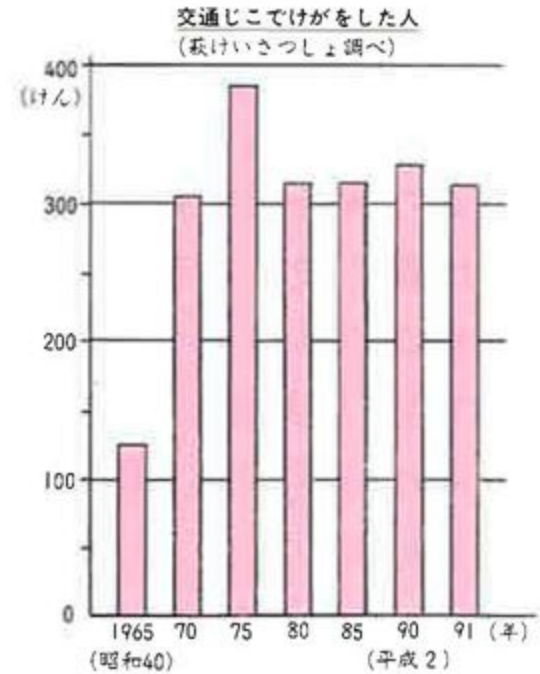
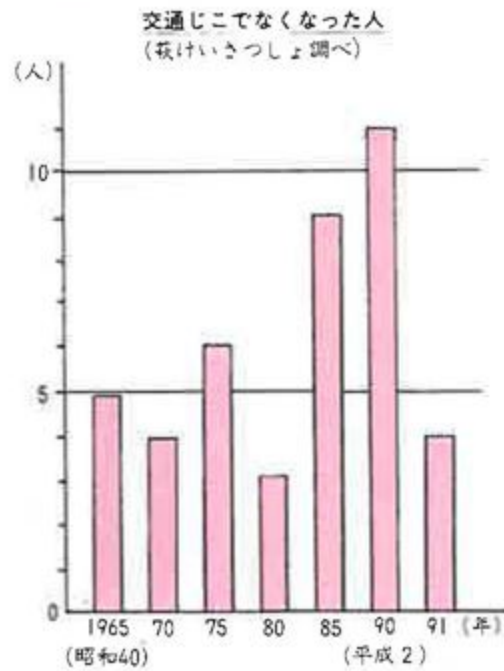
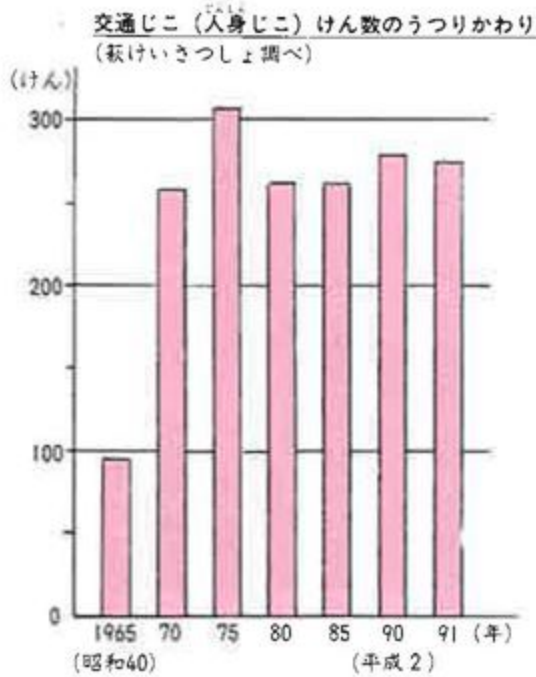
車がぐちゃぐちゃになっているね。けが人も出たんだろうね。こわいなあ。

じこが起きたとき、どんな人が来てじこをしょりするのだろう。



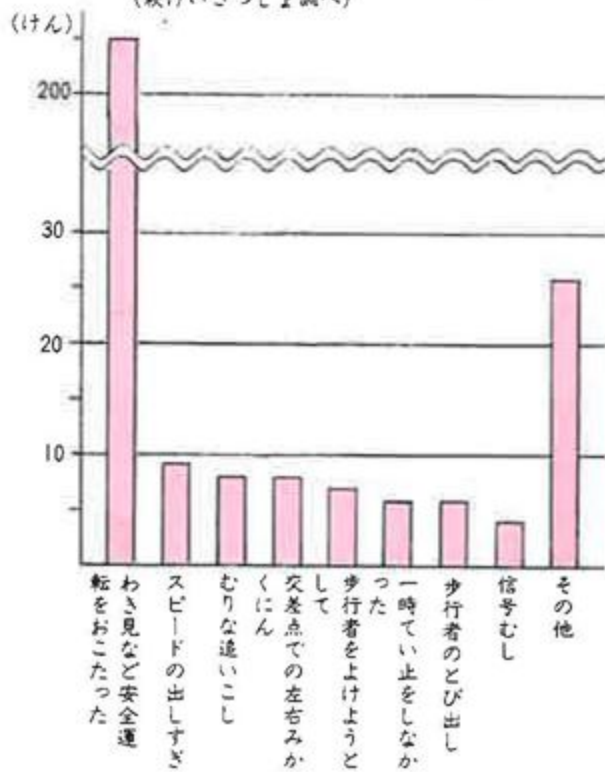
### 萩市の交通じこ

萩市では、一年間にどのくらいの交通じこが起きているのでしょうか。

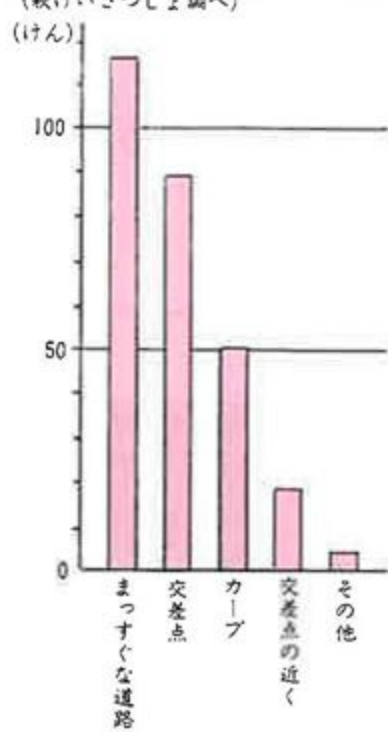





交通じこ（人身じこ）の原いん（1991年）  
（萩けいさつしよ調べ）



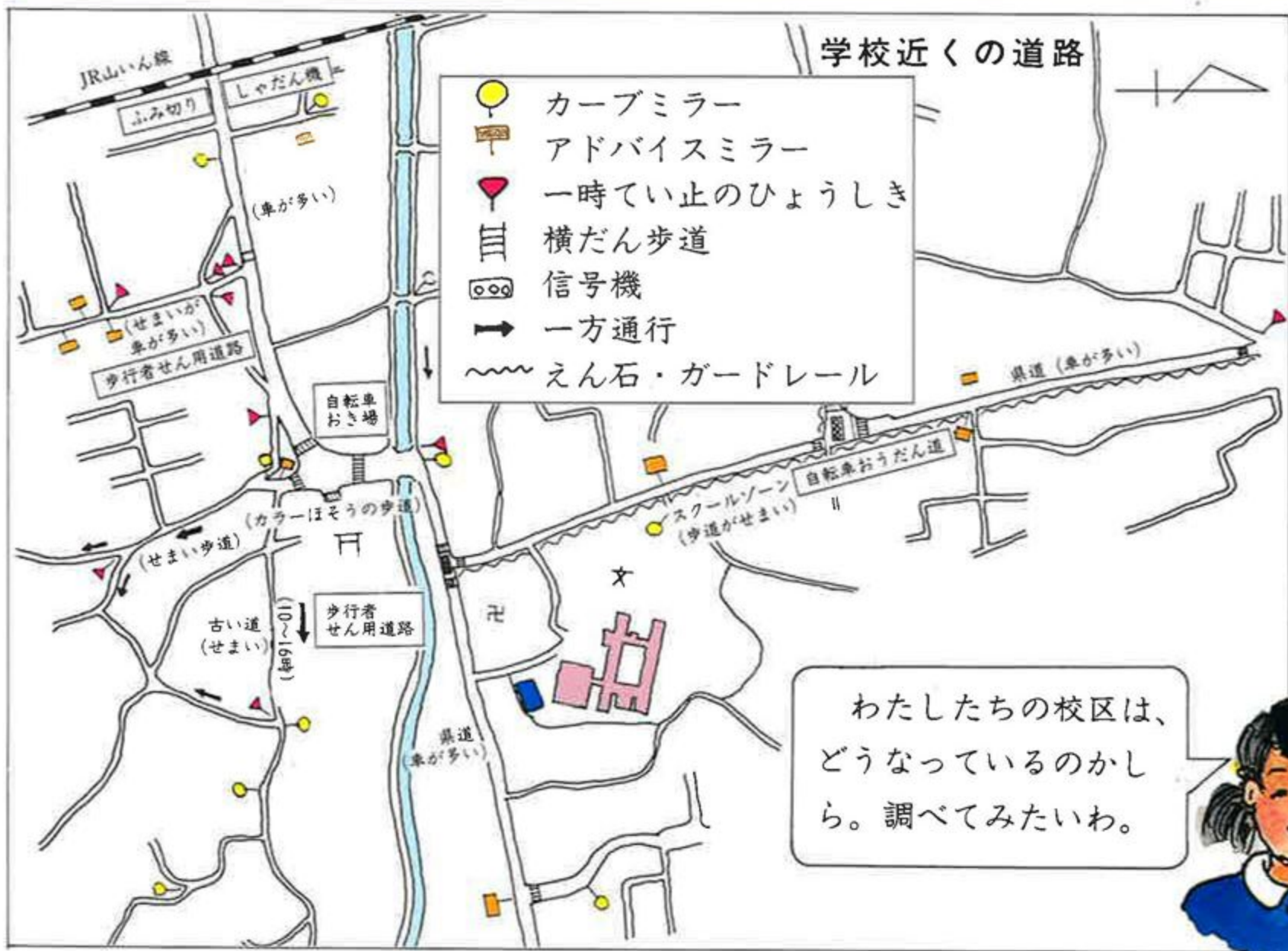
交通じこ（人身じこ）の発生場所（1991年）  
（萩けいさつしよ調べ）




 グラフを見て、どんなことが分かりますか。みんなで話し合ってみましょう。

## りょう 道路と交通量調べ

学校のまわりの道路には、交通じこをふせぐためにどんなしせつがつくられているのでしょうか。



 車のよく通る道路とそうでない道路の交通量を調べてみましょう。そして、しせつにどんなちがいがあるかくらべてみましょう。



↑交通量の多い道路



↑交通量の少ない道路

交通量調べ（5分間）

月 日（ ） 時 分～ 時 分

交通量	車の台数	歩行者の人数	し せ つ
多い道路			
少ない道路			

### 交通じこが起きたら

交通じこが起きたら、どんなことをするのでしょうか。

## けいさつの人のお話



110番の電話が入ると、けいさつ本部の通信指令室から近くのけいさつしょや交番、パトロール中のパトカーなどに、じこの大きさや場所などがすぐ知らされます。そして、消防しょや病院にもれんらくされ、けが人を運ぶ救急車が手

はい配されます。また、わたしたちはじこげん場でじこの原因を調べたり、交通整理をしたりします。じこがへるように、一人一人が気をつけたいものです。

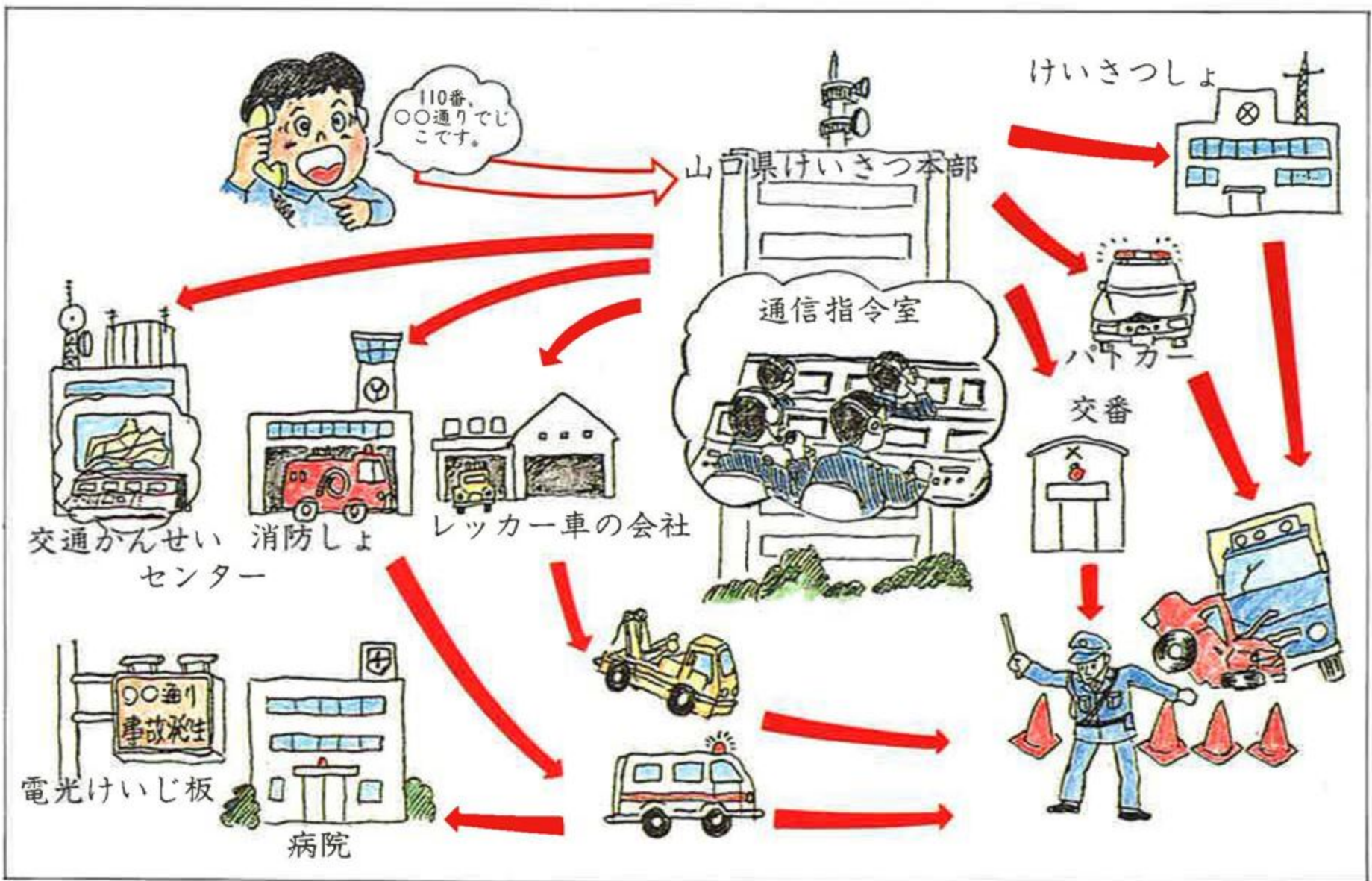


↑じこしよりのようす

じこのときにはたらく人の工夫や努力がよく分かったわ。たいへんな仕事ね。



### じこが起きてから、じこのしよりまで



# じこをふせぐ工夫や努力くふう どりょく

交通じこをふせいだり、安全を守ったりするために、けいさつの人やみんなはどんなことをしているのでしょうか。



↑朝の交通しどろ



↑交通安全教室



↑交通整理



↑パトロール



ほかにも、スピードいはんの取りしまりや、安全しせつをととのえることもしているそうだよ。いろいろな仕事があるんだね。



萩の町はむかしからのせまい道やかん光客の自転車がた多いから、じこには気をつけないと。

萩市には、国道や県道など大きな道路があります。これらの道路には、安全のためどんな工夫がされているのでしょうか。



↑ 歩道橋



↑ 地下道




↑ 歩道と車道を分けた橋(常盤橋)<sup>ときわ</sup>



↑ 整備された歩道(しろうおの道)<sup>せいび</sup>



しゃりょうかんちき<sup>りょう</sup> (車両感知機) (交通量を調べ、青信号の時間を長くするなど、じゅうたいをふせぐのに<sup>しんごう</sup>役立ちます。)

 学習してきたことをもとに、感想文を書いてみましょう。

## (2) 火事をふせぐ

消防本部や消防しょの人たちは、わたしたちを火事から守るために、どんな工夫や努力くふう どりよくをしているのでしょうか。




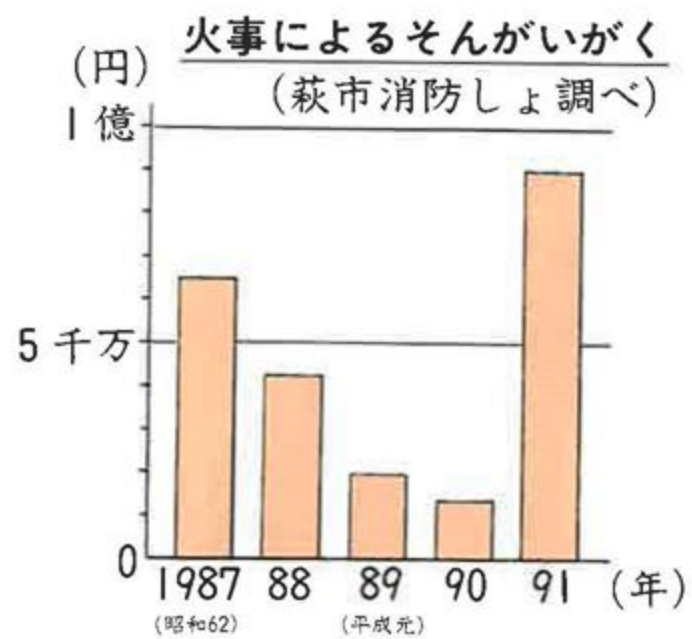
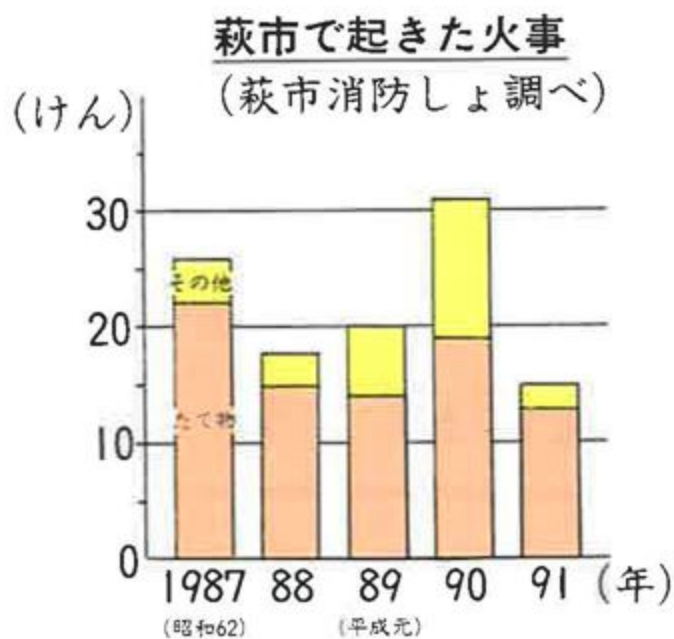
↑おそろしい火事

たくさんたくさんのけむりが出ているわ。それに、いろんな人がいそがしそうにはたらいっているのね。早く火を消そうと一生けん命なのね。



### 萩市の火事

 次のしりょうから、萩市で起こっている火事について、どんなことがわかりますか。みんなで話し合ってみましょう。




火事の原いん (1987~91) (萩市消防しょ調べ) (けん数)

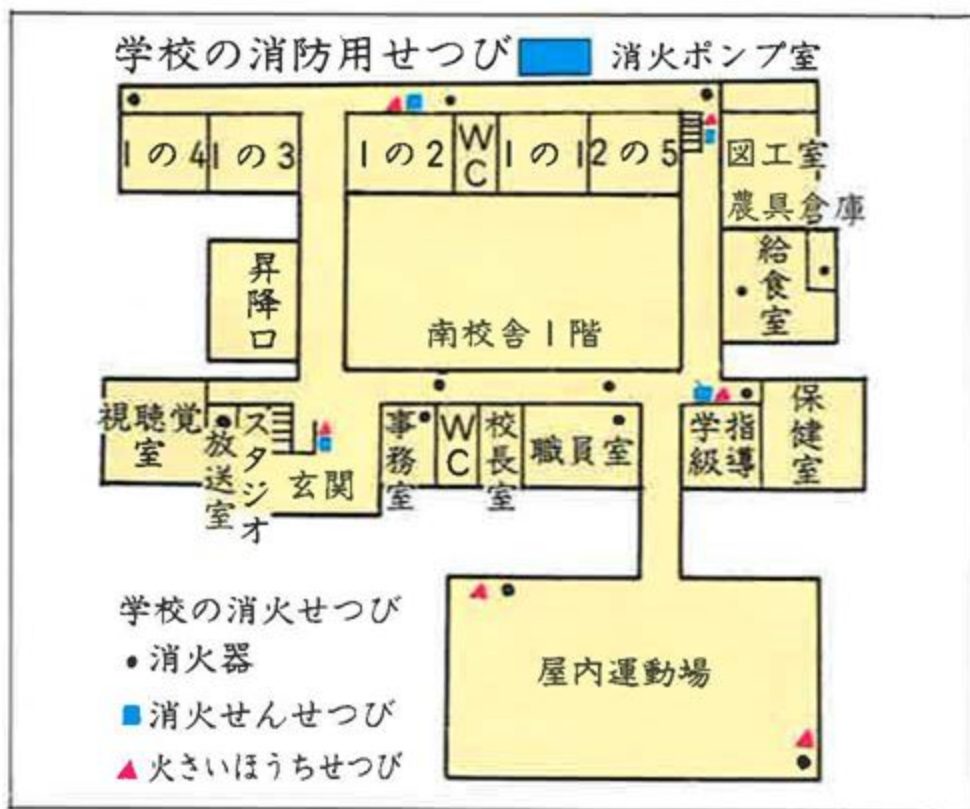
たき火	こんろ	たばこ	ふろえんとつ	とり灰	ほうほうのうたが	ストーブ	火遊び	その他	不明
(17)	(14)	(12)	(9)	(9)	(8)	(8)	(6)	(16)	(11)

毎年たくさん火事が起こっているんだね。それに多くのお金が灰になっているよ。ぼくたちの努力で火事をふせぐことができそうだね。



火事になったら

 学校の中の消防せつびはどのようなになっているか、調べてみましょう。



しせつ・せつび	こ数
消火器	
消火せんせつび	
火さいほうちせつび	
けむり感知機	
防火シャッター	



# 学校のまわりの消防しせつ

学校のまわりには、どのような消防しせつがあるのでしょうか。



ひょうしきやしせつは、赤や黄色にぬってあるわ。文化ざいには、とくべつなせつびがあるのね。



↑防火水そう



↑放水じゅう





## 早く消すための工夫くふう

消防しょの人は、火事を早く消すためにどんな工夫をしているのでしょうか。



↑ 消防本部・消防しょ



↑ 仮かみん室



## 消防しょの 人の話

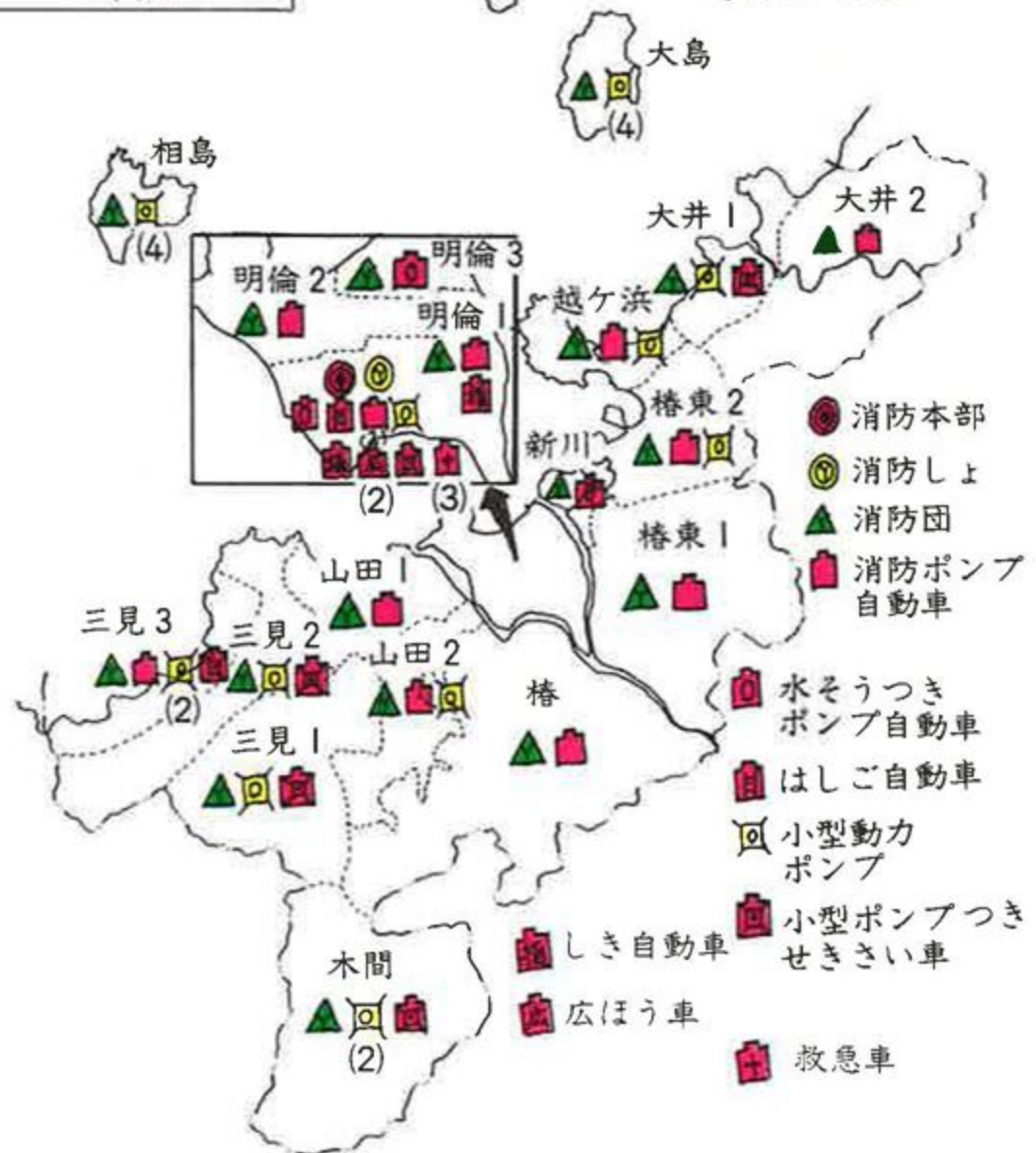
早く火事を消すために、計画を立て、どこにどの消防車が行くか決めていきます。火事のれんらくが入ってから、やく5分でげん場につきます。そのため、ねる時も服を着たままです。きんむは一日おきの24時間です。

# 消火のときの協力きょうりょく

大きい火事のときは、どうするのでしょうか。よその地区の消防車が来ていることがあります。どうしてでしょうか。



地区の消防団と  
そのせつび



## 消防団だんの人の話

萩市内には、19の地区に消防団があり、444人の人が火事や大水などのさい害がいの時に出勤します。ふだんはちがう仕事をしていますが、いつでも出勤できるようにしています。また、日ごろから消火のくんれんも欠かせません。大きい火事の時は、よその地区まで出かけることもあります。  
市内には、ふじんたい 婦人消防隊のある地区もあります。

## 火事にそなえての工夫や努力くふう どりよく

火事がないとき、消防しょの人はどんな活動かつどうをしているのでしょうか。また、火事を起こさないために、わたしたちはどんなことができるのでしょうか。



すべりぼう



出動のくん練



消防せつびの点けん



消防車の手入れ



出ぞめ式



救助くん練

火事を起こさないために、たくさんの人がいろいろな努力をしていることがわかるね。  
火を消す仕事はきけんだから、日ごろからきびしいくん練をしているんだなあ。ぼくも、火遊びなどぜったいにしないようにしようと思ったよ。



きゅうきゅう  
救急活動

救急活動も、消防しょの大切な仕事です。どんな仕事をしているのでしょうか。

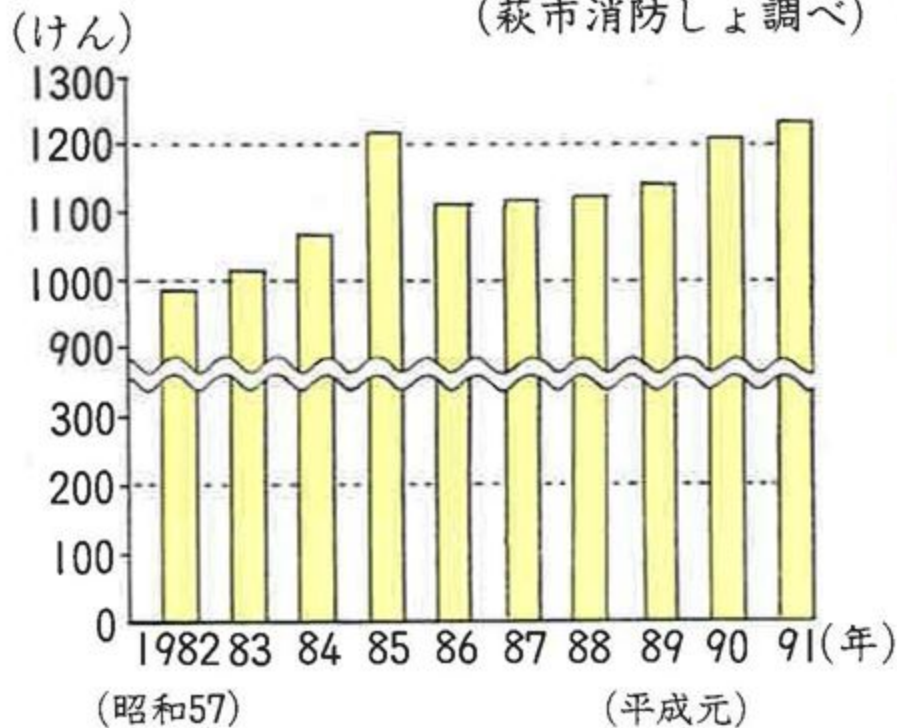


↑消防しょにある救急車



救急車の出動けん数のうつりかわり

(萩市消防しょ調べ)



じこの種類 (1991年) (萩市消防しょ調べ)

(けん数)

急病	交通じこ	けが	その他
(623)	(266)	(134)	(165)

火事 (2)  
さいがい (4)  
水のじこ (5)  
スポーツ (9)  
仕事中のけが (29)



消防しょの人は、多くの人々の命を守っているのね。救急車は急病や交通じこで出動することが多いのね。一秒でも早く病人やけが人を病院にとどけなければならないからたいへんだわ。それに、夏休みの前などに、人工こきゅうのこうしゅう会も開いているそうよ。

### (3) 水害をふせぐ

萩市には、阿武川や大井川などのいくつかの川があります。とくに、阿武川は県内で二番目に大きな川で、昔は大雨のたびにこう水を起こすきけんな川でした。



明倫小学校の東側にある道路だよ。まるで川のように水があふれていて、歩くのもたいへんそうだね。

昔は、こんな大水がたびたびあったそうだよ。



↑水につかった町 (1971年 江向)

### 川の水をおさめる

水害から人々を守るために、どんな人々がどのような仕事をしているのでしょうか。



#### 山口県<sup>とほく</sup>土木けんちく事む所の話

川には、国がかんりする一級<sup>かせん</sup>河川、県がかんりする二級河川、市町村がかんりする<sup>じゅんよう</sup>準用河川があります。阿武川は二級河川ですので、萩土木事む所でかんりしています。

わたしたちは、毎日雨の量を調べたり、<sup>そっこうじょ</sup> 萩測候所からの天気の様子ほうを聞いたりして、いつも大雨のことに気をつけています。また、県から水害のおそれがあるという知らせがあったとき、すぐに市役所や消防本部に知らせるようにしています。

ほかにも、日ごろから、川岸の工事をしたり、川底を深くする工事などをして、水害が起こらないようにしています。



↑川岸をじょうぶにする工事



↑川底を深くする工事



↑阿武川のそばに作られた公園



水害をふせぐだけじゃなく、川で楽しむ工夫もしているんだね。遊びに行きたいなあ。

## 水害が起こりそうなとき

水害が起こりそうになったら、どうするのでしょうか。どんなしくみがあるのでしょうか。

## 市役所の市民相談課の人の話



気象台の気象情報や、テレビ・ラジオの情報、消防団や市民の通報、県からの消防防災無線などで水害が起こりそうだという知らせがあったとき、わたしたちは消防本部や各地区の消防団、けいさつしょなどに連絡します。そして、サイレンや広報車で市民にきけんを知らせたり、決められた場所にひなんさせたりします。さらに、大きな災害になりそうなどとき、市長を本部長にした「災害対さく本部」がおかれます。

また、ゆうびん局、放送局、運送会社、電力会社、電信電話会社、医師会など31委員でつくられる「萩市防災会議」があり、災害のとき協力して市民のくらしを守るようにしています。

そして、日ごろも、消防本部や消防団の倉庫に、くいや土のうのふくろをおき、水害にそなえています。



↑人をひなんさせる消防団 (1972年)



↑衛星通信ネットワーク (1992年9月より)



↑土砂くずれ (1991年)



たくさんの人々が協力しているのね。これでいざというときは安心ね。それに衛星通信を使って連絡し合っているなんて、おどろいたわ。

がいの  
水害のない町に

多かった水害も、このごろはめったに起こりません。どうしてでしょうか。どんなしせつがつくられたのでしょうか。

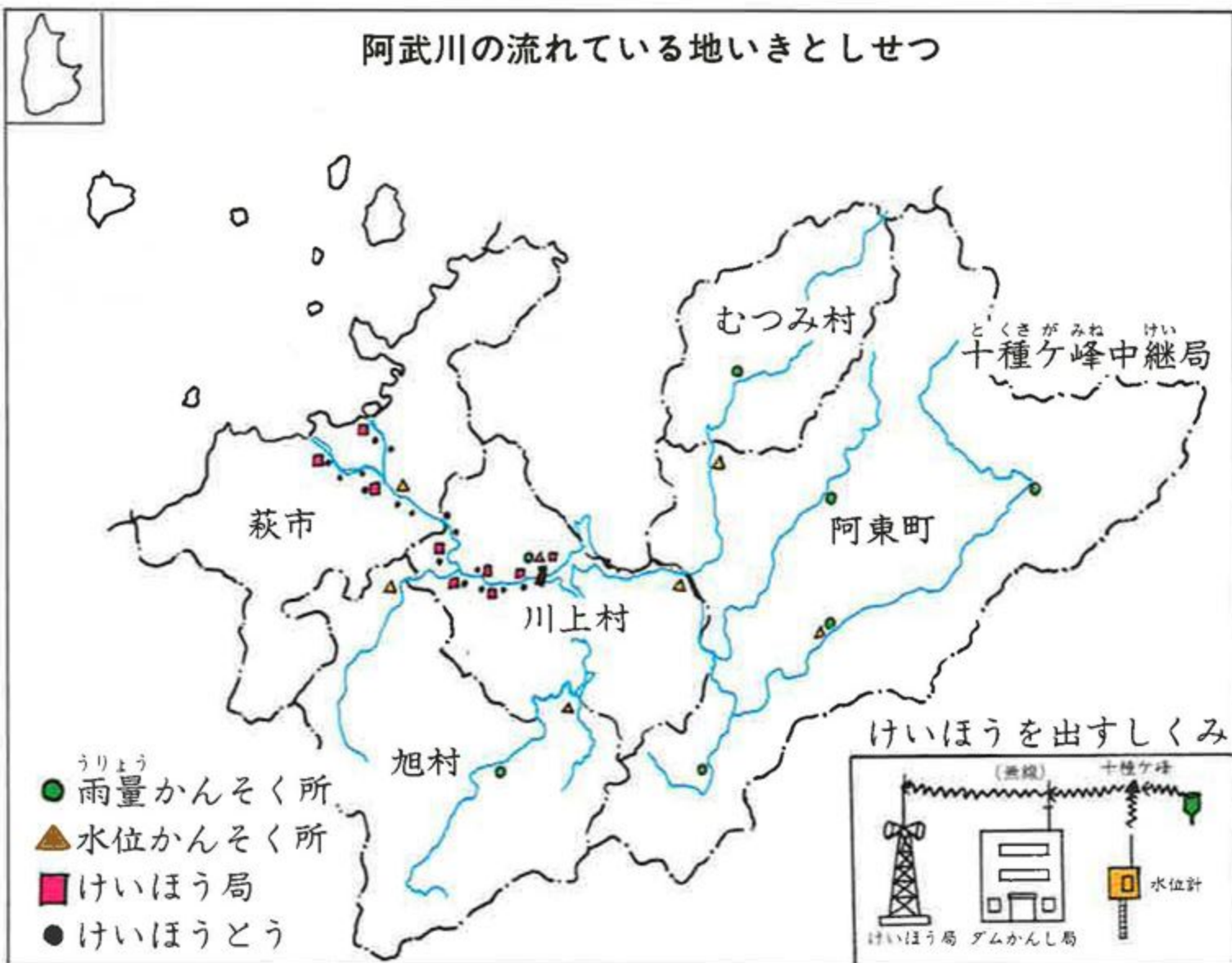


↑阿武川ダム

ダムかんり事む所の人の話



1970~75年に、ひ用およそ150億円でけんせつされた、高さ95メートルの重カアーチ式ダムです。県営ダムとしては、全国でも有数の大きさです。



たくさんの町や村を流れた水が、ダムに集められているんだね。ほうりゅう放流のサイレンは、1時間前に鳴るそうだよ。





↑<sup>すい</sup>水位局



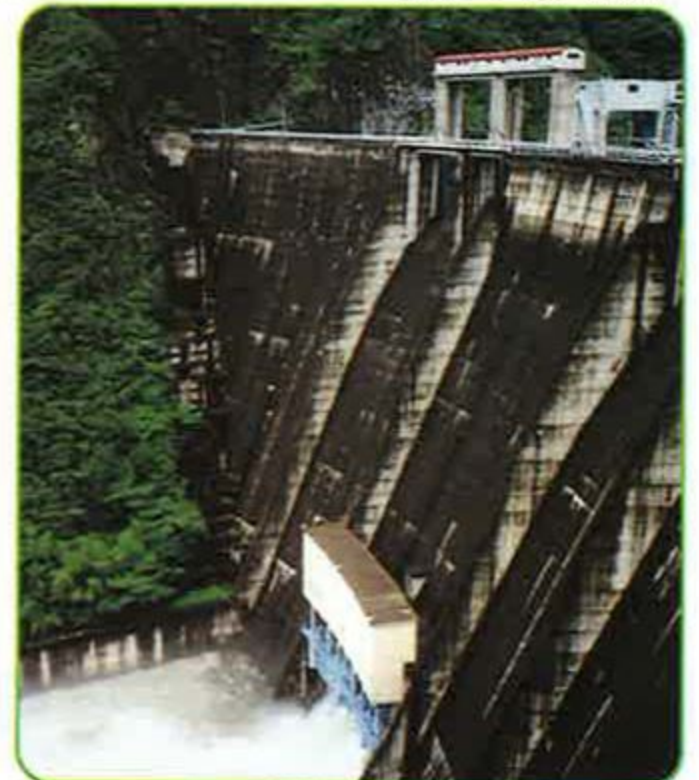
↑水位計



↑萩けいほう局



ダムかんり事務所のテレメーター室



↑<sup>ほうりゅう</sup>放流中のダム



↑阿武川歴史民ぞくしりょう館



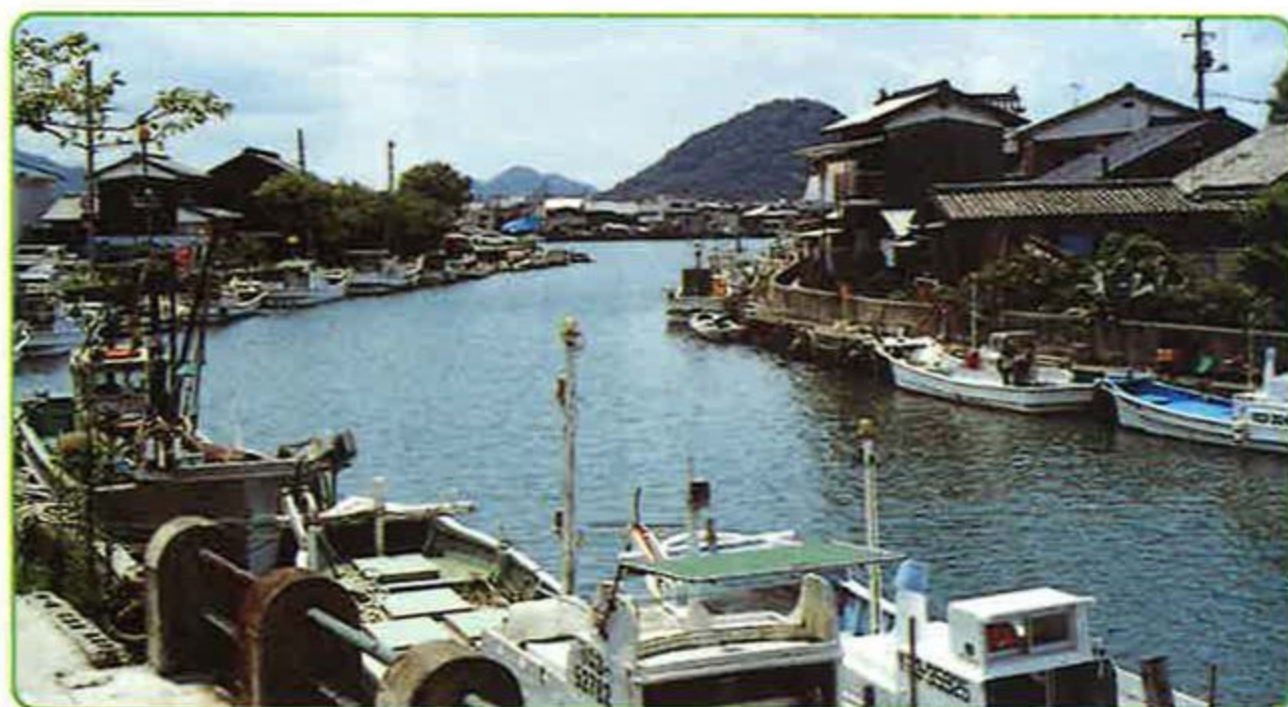
阿武川ダムが水をたくわえ、川の<sup>すいりょう</sup>水量を<sup>ちよう</sup>調せつしながら下流に水を流すのね。だから、下流の萩の町がこう水にみまわれることがなくなったんだわ。でも、このダムのけんせつで207戸の人たちが住みなれた土地をはなれたそうよ。わたしたちが安心してくらせるのも、この人たちの協力のおかげだわ。このダムのつくられる前の生活の様子が、民ぞくしりょう館で調べられるそうよ。

## 8 きょう土を開いた人々

### (1) きょう土のはってんにつくした人々

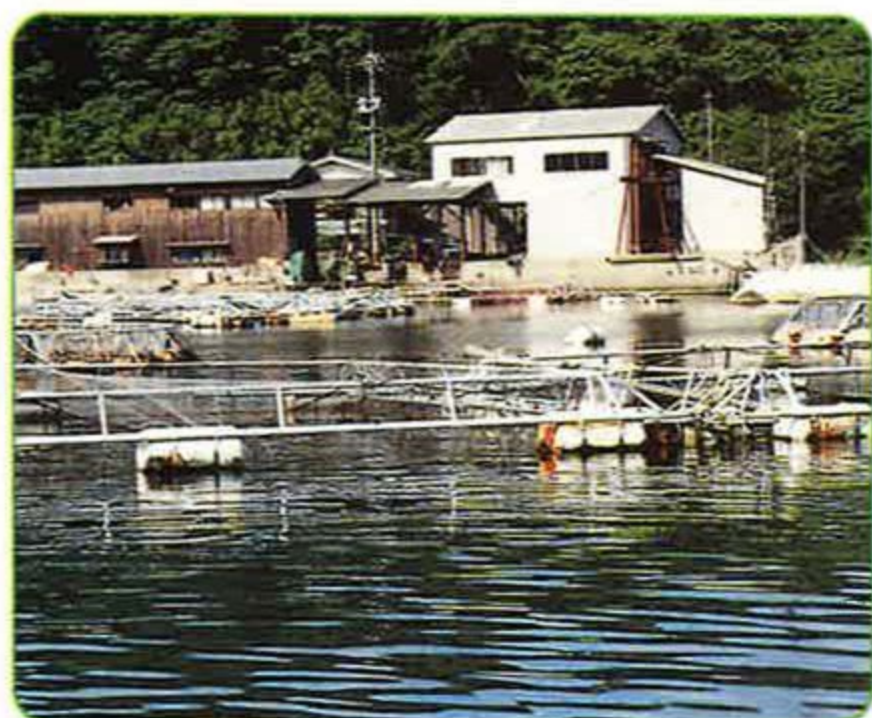
昔の人々は、きょう土の<sup>かいはつ</sup>開発や教育・文化のはってんのために  
どのような工夫や<sup>どりよく</sup>努力をしたのでしょうか。


—<sup>うばくら</sup>姥倉運河をつくり、<sup>すいがい</sup>水害から人々をまもる—



<sup>つるえ</sup>鶴江、<sup>かがわづ</sup>香川津  
<sup>しんかわ</sup>地区と新川地区  
との間に、多くの  
人々の努力に  
よってつくられ  
た姥倉運河があ  
ります。

↑↓今も<sup>いき</sup>地域の人々に<sup>りよう</sup>利用されている姥倉運河↓



 萩の水害年表やお年

よりの話から、なぜ姥倉運河がつくられたのかを考えてみましょう。

お年よりの話

わたしのおじいさんが子どものころの萩の町は、たびたび大水にみまわられて、たいへんだったそうだよ。



それよりずっと前、萩に城しろをつくるのがきまると、今までわずかしか人が住んでいなかった萩に、たくさんの方がひっこしてきて、城をはじめ、武士や商人ぶししょうにんの家がどんどん建てられたそうよ。

家を建てるための材木ざいもくの多くを阿武川あぶぞいの山から切り出したために、大雨が降ると、山から大水が流れ出たそうだよ。

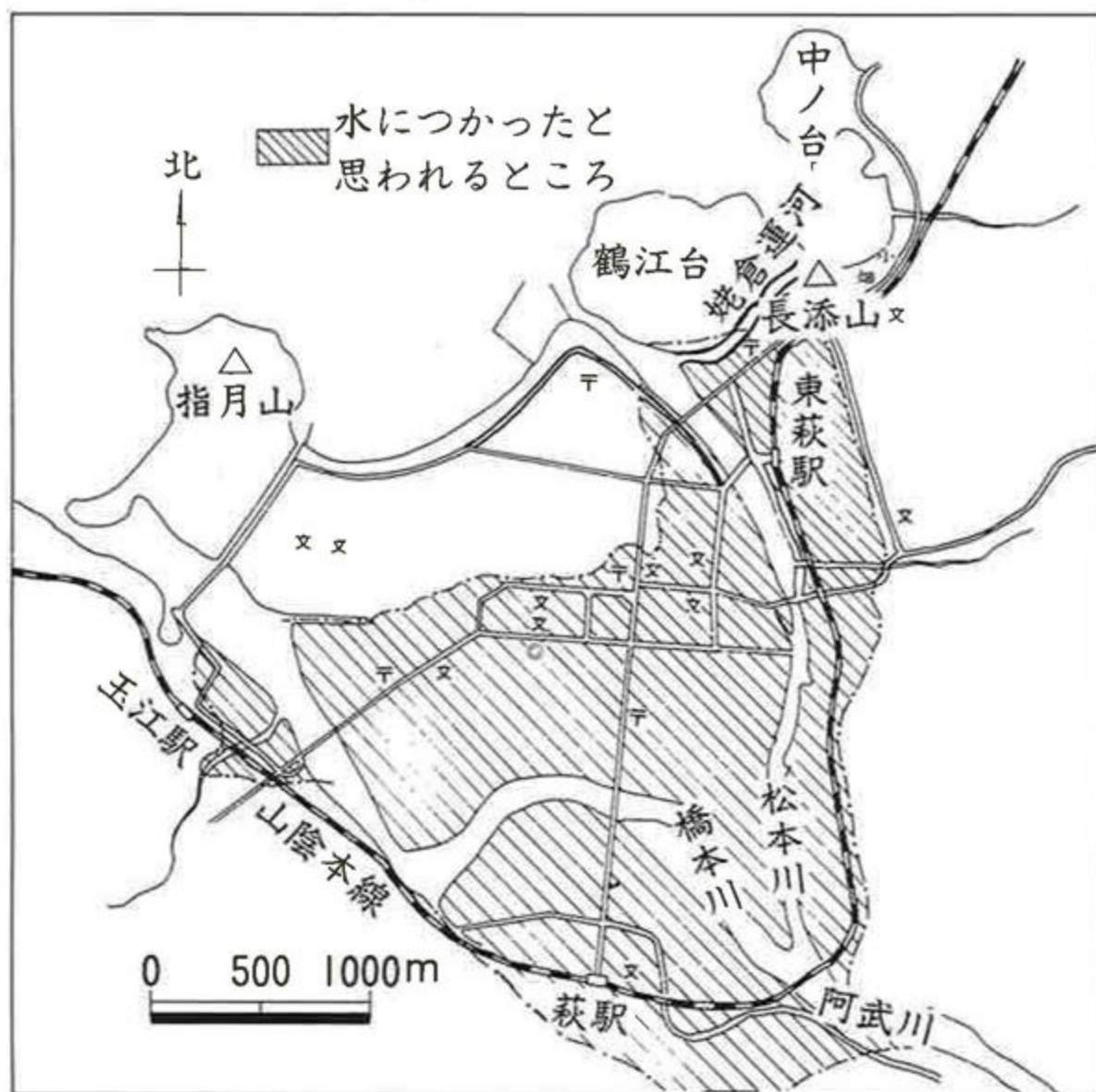
萩の水害年表

1608年 (慶長13年)	萩城 <small>じょう</small> ができる。
1635年 (寛永12年)	大水で城がこわれる。
1653年 (承応元年)	大水で城がこわれる。
1668年 (寛文8年)	大雨で城の石がきかくずれる。
1680年 (延宝8年)	大水で田町、塩屋町 <small>しおや</small> まで水につかる。
1705年 (宝永2年)	大水で川島から河添 <small>こうぞえ</small> までの土手がきれ。
1728年 (享保13年)	川島の土手がきれ、多くの家が流れる。
1745年 (延享2年)	川島の土手がきれ、萩の大部分が水につかる。
1756年 (宝暦6年)	海水がもり上がり、ゆか上まで水につかる。
1770年 (明和7年)	萩の町にふねをうかべるほどの大水がでる。
1796年 (寛政8年)	多くの家が流れる(今の椿東小近くに深さ5メートルのふちができる)
1807年 (文化4年)	町の半分が水につかる。
1836年 (天保7年)	今までにない大水。町の3分の2が水につかり、橋は流れ、山くずれがたくさんおこった。(さる年の大水)
1850年 (嘉永3年)	町の半分が水につかる。
1855年 (嘉永8年)	川内での水害が少なくなった。
1926年 (昭和元年)	このころ堀内のそ水ができる。
1950年 (昭和25年)	せんそうのとき、たくさん木を切ったので、水害がふえた。
1974年 (昭和49年)	阿武川ダムができた。



昔の萩の人は、大雨がふると、いつもたいへんな心配をしたことだろうなあ。

「さる年の大水」のとき水につかったところ



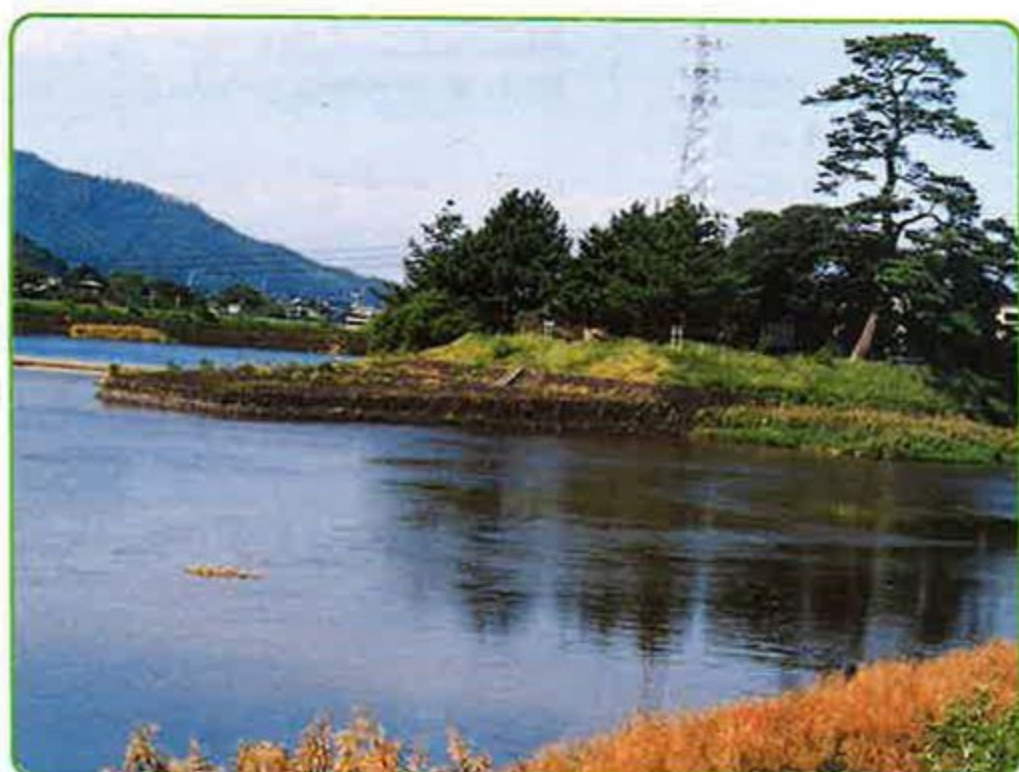
## お年よりの話



わしのおばあさんから聞いたんじやが、江戸時代には、二つの川に囲まれた萩は、300年間に90回以上の大水にみまわれたそうじや。

萩の町が発てんしてくると、まきや木炭や材木として、川上の木が使われるようになったんじや。

また人口がふえるにつれて、水はけの悪い低い土地に家や畑が作られるようになって、ますます、水害をうけやすくなってきたんじやそうな。「さる年の大水」は、とくにひどかったそうじやよ。



↑阿武川が橋本川と松本川に分かれているところ

人びとはどのようにして大水から萩を守ったのでしょうか。

## うばくら 姥倉運河をつくる



### お年よりの話

1852年、大水から町を守るため、藩では大がかりな工事を始めたんだよ。<sup>つる</sup>鶴江台と<sup>えだい</sup>長添山<sup>ながそえやま</sup>の間に運河をつくり、松本川の水を<sup>おぼた</sup>小畑の方へ流そうというんだね。

工事が始まると、土をほる人、かたい岩をのみで打ちわる人、ほりとった土を運ぶ人たちで工事場はにぎわい、萩からも、まわりの村からも、たくさんの人びとが手つだいに来たそうだよ。工事にひつようなお金を出した人も、たくさんいたそうだよ。3年がかりでやっとできたんだよ。



姥倉運河ができあがったころの絵



のべ30万人分の人、25000艘分の船をつかったんだって。すごいな。

うんが  
運河ができてから、町のようすや人々のくらしは、どの  
か  
のように変わったでしょうか。

### 1836年の大水

この水害では、たちまちのうちに三角洲の半分以上が水びたしになってしまった。町の中でも低い所は1.8mぐらいも水につかったといわれている。そのときのおそろしきは「きる年の大水」とよばれ今に言い伝えられている。

### かさ たび重なる水害

大水が出るたびに、人々は、土手を高く、じょうぶにつくりかえなくてはならなかった。しかし、大水は、上流から土やすなを運んでくるので、川のそこがだんだん高くなり、次の大水ではまた土手がくずれるところをくりかえしてきた。

今の人々は、  
どんな気持ちでこの運河を  
行き来しているのかしら。  
近くの人に聞いてみたいわ。



運河が  
きて……

### 1855年 運河が


#### できあがる

よしも、町人も、農民も、みんなが力を合わせて、およそ長さ817mはば29m深さ3mの運河ができあがった。

#### 水害がへる

はじめの計画どおり、大水はこの運河をおぼた通って、小畑の方へ流れるようになり、これからのち、三角州をとりまく土手がくずれることが少なくなった。また、この運河により、はまさき浜崎から小畑へ船でかんたんに行けるようになった。

## (2) 夏みかんと小幡高政<sup>おぼたたかまさ</sup>

 <sup>ひやこ</sup>平安古西区のある家の庭に、小幡高政をたたえる石ひがたてられています。いつごろ、どんなことをした人か、調べてみましょう。



高政の苦勞を書いた石ひ



小幡高政

もと武士であった人々を救った高政<sup>すく</sup>



### れきしの先生の話

仕事を失って困っている武士<sup>ぶし</sup>をなんとか救うことはできないかと考えていた小幡高政は、夏みかんとをさいばいして、日本中へ売り出すことを思いつきました。

1876年(明治9年)高政は兄の宗助<sup>そうすけ</sup>たちと相談<sup>そうだん</sup>し、夏みかんのなえを一万本も買ってきて、つぎ木をし、まわりの人にたのんで植えてもらいました。高政も、自分の畑には全部夏みかんを植えました。


高政が熱心<sup>ねっしん</sup>に夏みかんを植えるのを見て、人々は、ふしぎに思ったり、わらったりしました。

しかし、小幡<sup>おばた</sup>兄弟は日ごろから人々の信<sup>しん</sup>らいがあったので、だんだんまねる人もでてきました。こうして、1889年(明治<sup>めい</sup>22年)ごろには、43000本にふえ、売り先も北海道にまで広がりました。



### おばあさんの話

夏みかんのさいばいが萩の地に合っていることがわかったと、もと武士<sup>ぶし</sup>だった人たちだけでなく、みんなが植えるようになりましたよ。私のうちの庭にも植えましたよ。そのため、昭和のはじめには20万本をこえるまでになったそうですよ。今では「萩の夏みかん」として、全国に知られていますね。

 萩のもと武士だった人たちが夏みかんを植えてくらしをたてるようになったのはなぜか、調べてみましょう。




それまでの武士の世の中が終わると、もと武士だった人たちは、仕事がなくなって食べていくのに困るようになったんだね。





どのさまの時代には、城下町萩には武士の家が3500戸もあったそうよ。この人たちに仕事をあたえることが、町の大きな問題になってきたのよね。

## 夏みかんの<sup>れきし</sup>歴史

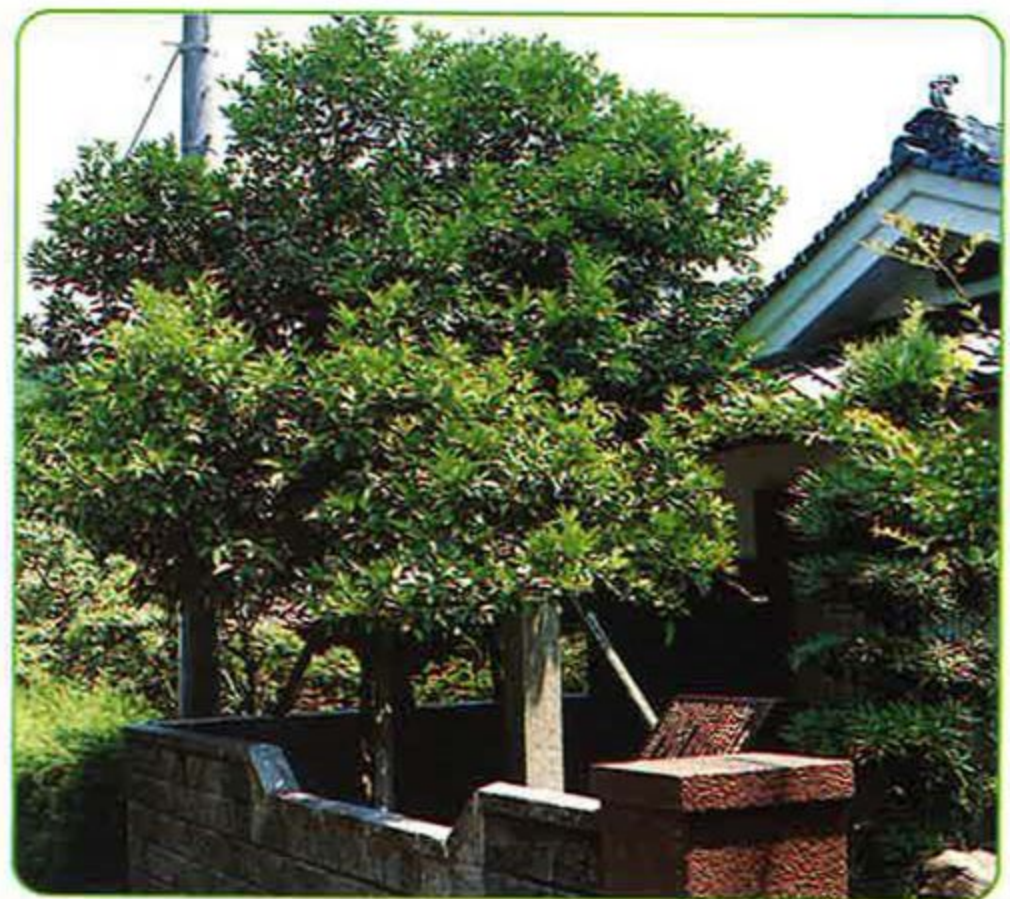
 長門市の<sup>おうみじま</sup>青海島に、おちょうが<sup>う</sup>植えたといわれる夏みかんの木があります。

### 歴史の先生の話

明治のはじめごろには、山口県全体で56本あったことがわかっています。



今からおよそ200年前、<sup>なが</sup>長門市<sup>とおおひび</sup>青海島大日比の海岸に見たことのないみかんが<sup>なが</sup>流れついたそうよ。それをおちょうという女の人<sup>ひろ</sup>が拾って帰り、<sup>にわ</sup>庭先に植えたのが、夏みかんのはじまりなんだって。



↑おちょうが植えた夏みかんの木

## 萩市のうつりかわり (年表)

せいれき 西暦	時代	年	おもなできごと
1868	明治	1	越ヶ浜に水道がつけられる。
1873		6	各地 <small>かく</small> の郷 <small>ごう</small> 学校が小学となる。
1874		7	萩城 <small>じょう</small> がとりのぞかれる。
1876		9	小幡高政 <small>おばたかまさ</small> が夏みかんの栽培 <small>さいばい</small> を始める。
		9	萩 <small>らん</small> の乱 <small>まえばらいっせい</small> (前原一誠の乱) がおこる。
1877		10	萩にせい系工場ができる。
1878		11	萩と福井間に電信線 <small>でんしんせん</small> をつける。
1879		12	コレラがはやり、約2ヶ月つづく。
1884		17	萩 <small>おごおり</small> ～小郡間に道路が通じる。
1889		22	萩町になり、役場ができる。
1898		31	萩～山口間に道路 <small>どうろ</small> が通じる。
1902		35	大井川に、初めて大井橋がかけられる。
1906		39	見島に海底電線 <small>てい</small> が通じる。
1907		40	萩で初めて活動写真会 <small>かつどうしゃしん</small> が開かれる。
1910		43	電話が初めて通じる。
1911	44	電とうがつく。	
1913	大正	2	萩～小郡間にバスが通る。
1914		3	浜崎 <small>はまさき</small> にかんづめ工場ができる。
1915		4	江向 <small>えむかい</small> に火力発電所ができる。

西暦 <small>せいれき</small>	時代	年	おもなできごと
1918	大正	7	越ヶ浜に萩町上水道ができる。
		7	橋本橋がコンクリートでできる。
1921		10	松本橋がコンクリートでできる。
1925		14	萩～三隅 <sup>すみ</sup> 間、萩～東萩間に鉄道がしかれる。
1927	昭和	2	萩港が開港 <sup>かいこう</sup> として指定 <sup>してい</sup> される。
1929		4	東萩～奈古 <sup>なご</sup> 間に鉄道がしかれる。
1932		7	萩町から萩市となる。(全国で110番目)
1933		8	京都 <sup>きょうと</sup> ～下関 <sup>しもせき</sup> 間が開通 <sup>かいつう</sup> し山陰本線となる。
		8	萩～防府 <sup>ほうふ</sup> 間にバスが通る。
1934		9	萩で初めてトーキー映画館 <sup>えいがかん</sup> ができる。
		9	市歌 <sup>か</sup> 及び市章 <sup>しやう</sup> を定める。
1936		11	萩市上水道ができる。
1937		12	ときわ橋ができる。
1942		17	萩でラジオ中継放送 <sup>ちゆうけいほうそう</sup> がはじまる。
		17	山口県萩保健所 <sup>ほけんじょ</sup> ができる。
1943		18	台風のため橋本橋が流される。
1944		19	台風のため萩橋、松本橋が流される。
1947		22	新制 <sup>しんせい</sup> 中学校が一斉 <sup>いっせい</sup> に開校する。
1950		25	萩市公民館 <sup>こうみんかん</sup> ができる。
		25	輸出用 <sup>ゆしゅつよう</sup> の竹すだれをつくる。

せいれき 西暦	時代	年	おもなできごと
1951	昭和	26	台風のため市内で死者・不明者18名出る。
		26	萩電報電話局 <small>でんぽうでんわきょく</small> が土原 <small>ひじわら</small> に新しくできる。
1955		30	萩市、三見村、大井村、六島村、見島村が合peiして、今の萩市ができる。
		30	萩で初めてのスーパーマーケットができる。
1956		31	萩市民球場 <small>きゅうじょう</small> ができる。
1959		34	萩市郷土博物館 <small>きょうどはくぶつかん</small> が新しくできる。
1961		36	田床山にテレビ中継局 <small>ちゅうけいきょく</small> ができる。
1963		38	第18回国民体育大会（山口国体）を開く。
1964		39	山陰本線に特急 <small>とっきゅう</small> 「まつかぜ」が通る。
1965		40	萩市学校寄宿舎 <small>きしゅくしゃ</small> 「明和寮 <small>めいわりょう</small> 」ができる。
1966		41	萩市の電話が自動式に変わる。
1967		42	陸橋 <small>りっきょう</small> が明倫小学校正門前にできる。
1968		43	萩市民館 <small>かん</small> ができる。
		43	韓国蔚山市 <small>かんこくうるさん</small> と姉妹都市 <small>しまいとし</small> になる。
1970		45	山口県萩総合庁舎 <small>そうごうちょうしゃ</small> ができる。
1974		49	市役所の新しい庁舎ができる。
		49	萩市立図書館 <small>としょかん</small> ができる。
1975		50	県営阿武川ダム <small>けんえい</small> ができる。
		50	静岡県下田市 <small>しずおかしもだ</small> と姉妹都市になる。

西暦 <small>せいれき</small>	時代	年	おもなできごと	
1976	昭和	51	萩商港 <small>しょうこう</small> ができる。	
1977		52	明倫小運動場に夜間照明施設 <small>やかんしょうめいしせつ</small> ができる。	
1978		53	田床山に「市民の森」ができる。	
1979		54	萩市民体育館ができる。	
		54	神奈川県鎌倉市 <small>かながわ かまくら</small> と姉妹都市になる。	
1981		56	石彫公園 <small>せきちょうこうえん</small> ができる。	
1983		58	田床山に田床山いこいの広場ができる。	
1984		59	萩浄化センター <small>じょうか</small> が通水 <small>つう</small> する。	
1986		61	萩市保健センターができる。	
1987		62	「サンライフ萩」ができる。	
1988		63	新しい萩清掃工場 <small>せいそう</small> ができる。	
		63	「庭園都市・萩」 <small>ていえんとし</small> を宣言 <small>せんげん</small> する。	
1989		平成	1	大井不燃物埋立処分場 <small>ふねんぶつうめたてしょぶんじょう</small> ができる。
			1	萩女子短期大学 <small>たんき</small> 美萩台 <small>みはぎだい</small> にうつる。
1990	2		萩平成維新塾 <small>へいせいしんじゅく</small> を開講 <small>かいこう</small> する。	
	2		石川県輪島市 <small>わじま</small> と姉妹都市になる。	
1992	4		萩市制60周年記念式典 <small>しゅうねんきねんしきてん</small> を行う。	
	4	萩有料道路 <small>ゆうりょうどうろ</small> 、松陰記念館 <small>しょういんきねんかん</small> 、松陰群像 <small>ぐんぞう</small> 、萩 往還梅林園 <small>おうかんばいりんえん</small> ができる。		

# 萩市民の歌

作詞 山本 鳳 亮

作曲 和 真人

しず—きの もり—に ひ はは—え— て  
 はく—うん きよ—く ゆくと—こ—ろ  
 れきしをつ—ぎ—て なにしお う  
 はんそのおしえ ひとのわのむす  
 びはかたし わがはぎし わが—はぎし せい  
 きのさかえ ここ—にあり

- |   |   |
|---|---|
| 1. 指月の森に<br><small>はくうん</small><br>白雲清く<br>歴史を継ぎて<br><small>はんそ おしえ</small><br>藩祖の遺訓<br>結びは固し<br><small>さかえ</small><br>世紀の栄光  | <small>ひ</small><br>陽ははえて<br>ゆくところ<br>名にし <small>お</small> 負う<br>人の和の<br>わが萩市 わが萩市<br>ここに <small>あ</small> 在り |
| 2. 阿武の流れの<br>みどりの風の<br><small>やくしん いき</small><br>躍進の意気<br><small>じち</small><br>自治のいしずえ<br>あふるる <small>いよき</small> 息吹<br>世紀の希望 | たゆみなく<br>呼ぶところ<br>高く <small>な</small> 鳴り<br>築かんと<br>わが萩市 わが萩市<br>ここに湧く  |
| 3. 長門の <small>かなめ</small> 要津<br>海山の幸<br>みかんの花と<br>文化のかおり<br>羽ばたくみやこ<br>世紀の平和  | ゆるぎなく<br>寄るところ<br>咲き <small>にお</small> 匂う<br>いっぱいに<br>わが萩市 わが萩市<br>ここに来る                                      |

## あ と が き

みなさん、「萩市はどんな町ですか。」と人にたずねられたら、どう答えますか。

小学校3・4年生の社会科では、わたしたちが毎日生活しているふるさと萩市のことを勉強します。みなさんは萩市の土地のようす、人々の仕事や暮らし、市民の努力や願い、むかしのことなどについて、どれくらい知っているでしょうか。

そこで、自分で歩いて調べたり、観察したりして問題点を考え、さらには、萩市を住みよい豊かな町にしようと努力している人々の願いや工夫も感じとってほしいと思います。

そうした勉強に役立つために、副読本「わたしたちのふるさと萩」を新しく作りかえました。

より興味や関心をもって学習してもらうために、学習問題や観察・見学のしかた、資料を使つての調べ方、まとめ方など学習のし方もわかるようにしました。

また、写真やさし絵、グラフなど資料もできるだけ正確で、新しいものをいれて、みなさんが調べやすいように工夫しました。なお、この本に出てくる地名や行事などで、わかりやすくするために、日ごろみなさんが聞きなれていることばにおきかえて表したものがあつたことを申しそえておきます。

どうか、みなさんはこの副読本を使つて、萩市のことをよく知り、21世紀に向かって萩市が住みよい町に発展するように努力してください。

この副読本をつくるために、多くのかたがたのあたたかいご指導、ご協力をいただきました。また、多くの大切な資料や写真なども使わせてもらいました。そうしたかたがたに、心からお礼を申しあげます。

「わたしたちのふるさと萩」編集委員会

「わたしたちのふるさと萩」監修者・編集委員 (平成5年3月31日現在)

監修者	萩市教育委員会	教育長	都築	泰
	萩市小学校教育研究会	会長	宇田川	憲
	萩市郷土博物館	副館長	近藤	隆彦
	萩市教育委員会			
	社会教育課	課長	西元	勇
	学校教育課	課長	杉山	尚
		指導係長	吉屋	安隆
		指導主事	森田	和康
編集委員	越ヶ浜小学校	校長	佐々木	輝雄
	椿西小学校	教頭	郡司	妙子
	明倫小学校	教諭	津田	子章
	明倫小学校	教諭	中谷	俊之
	椿東小学校	教諭	藤田	利枝
	椿東小学校	教諭	舟戸	巖昭
	越ヶ浜小学校	教諭	國森	秀子
	白水小学校	教諭	江田	典子
	大井小学校	教諭	吉屋	美智子
	三見小学校	教諭	久保	田勉
協力委員	越ヶ浜小学校	教諭	木谷	妙子
	木間小学校	教諭	佐竹	敏之
	大島小学校	教諭	塩田	政博
	相島小学校	教諭	小澤	和代
	見島小学校	教諭	新江	田智司
前編集委員	前大島小学校	校長	河野	晴夫
	前白水小学校	教諭	刀禰	元彦

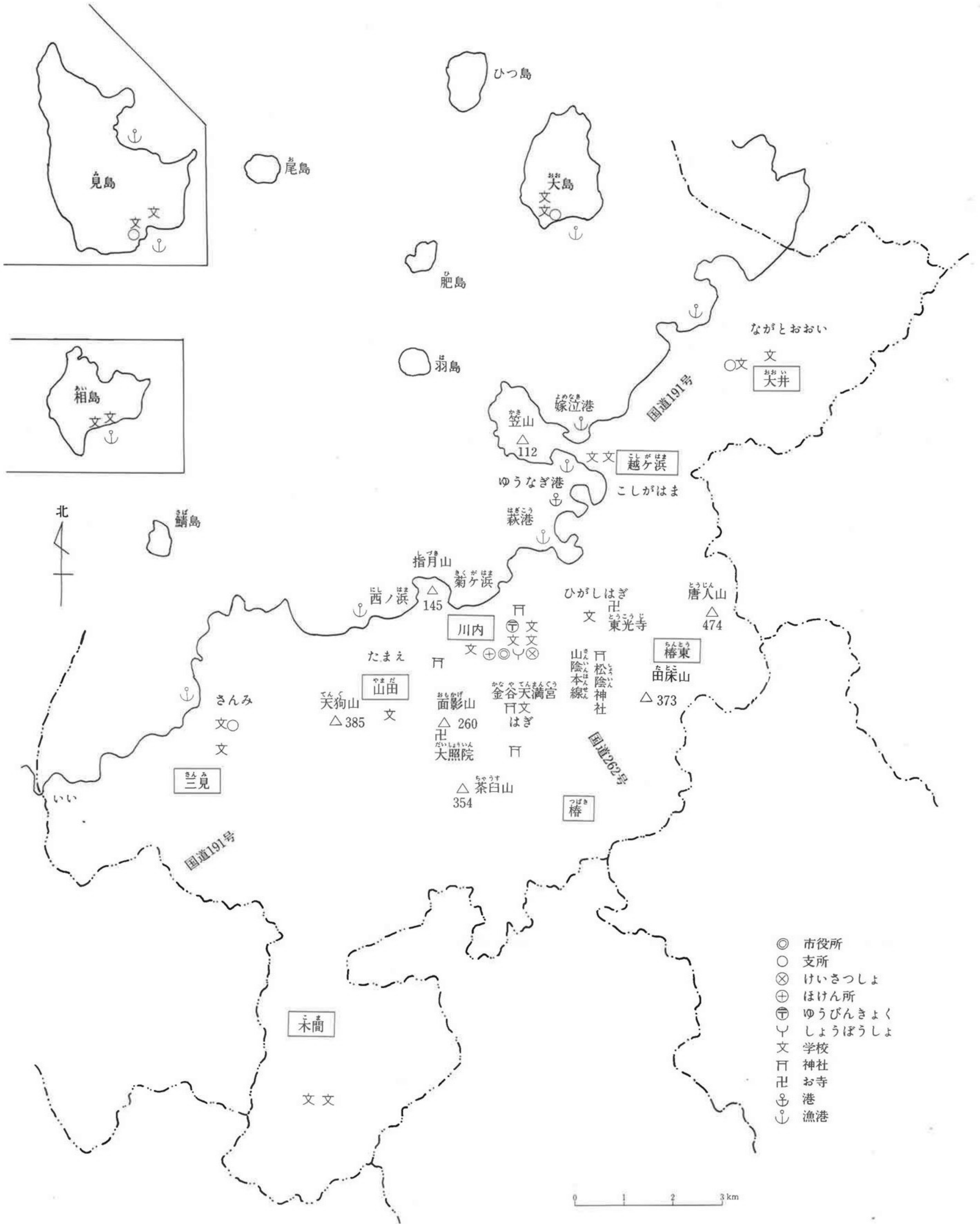
この本を作るためにご協力をいただいた方や資料をいただいたところ (50音順)

角川政治氏  
 下瀬信雄氏  
 末益蒲鉾店  
 田町商店街振興組合  
 中国電力株式会社萩営業所  
 萩警察署  
 萩市郷土博物館  
 萩市消防署  
 萩市農業協同組合 (JA)

萩市役所  
 萩商工会議所  
 防長交通株式会社  
 村田蒲鉾店  
 山口県阿武川ダム管理事務所  
 山口県経済農協連萩加工場  
 山口県漁連  
 山口県萩土木事務所



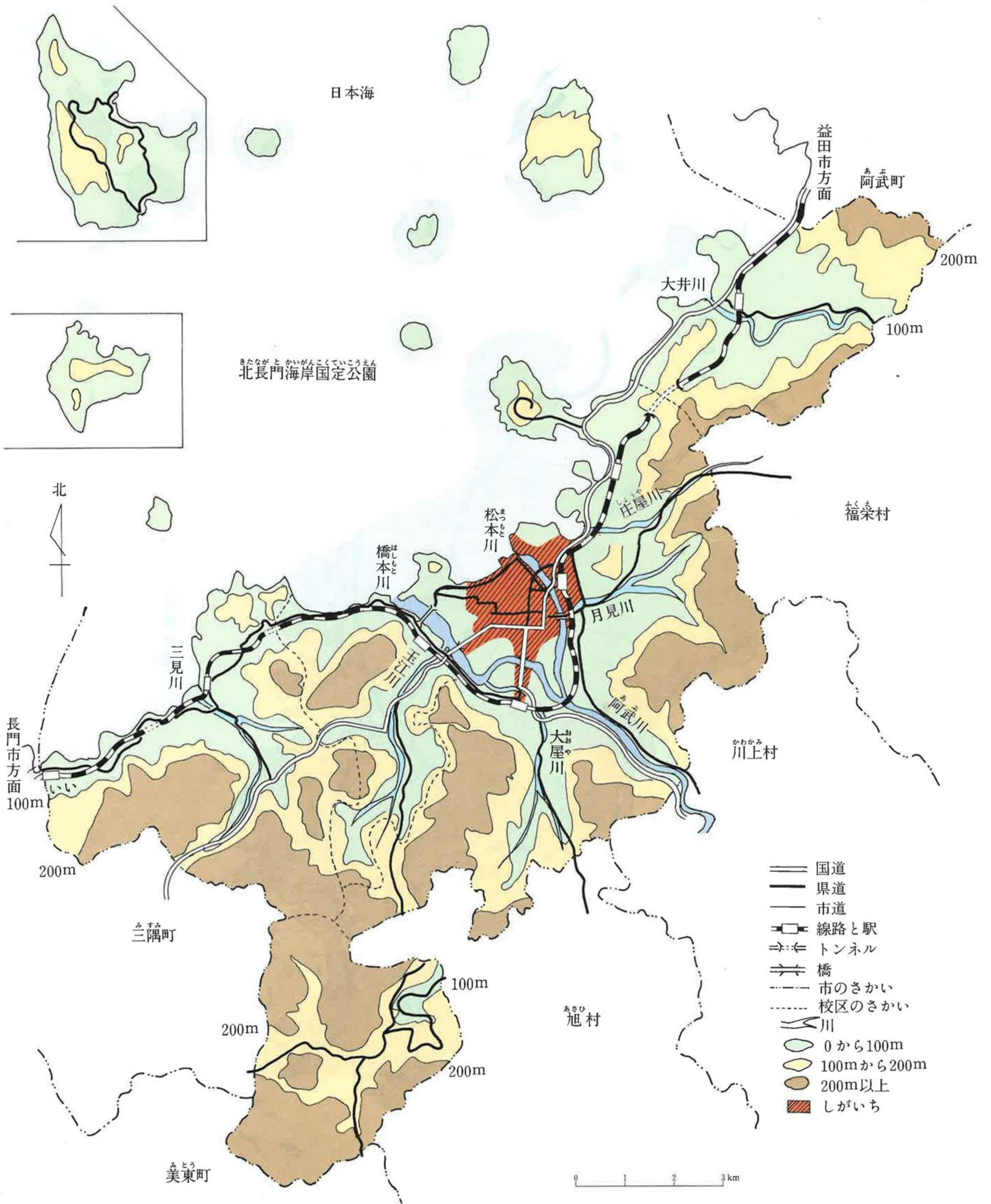
# わたしたちのまち萩市



- ◎ 市役所
- 支所
- ⊗ けいさつしょ
- ⊕ ほけん所
- ㊦ ゆうびんきょく
- ㊧ しょうぼうしょ
- ㊨ 学校
- ㊩ 神社
- ㊪ お寺
- ㊫ 港
- ㊬ 漁港

0 1 2 3 km

# わたしたちのまち萩市



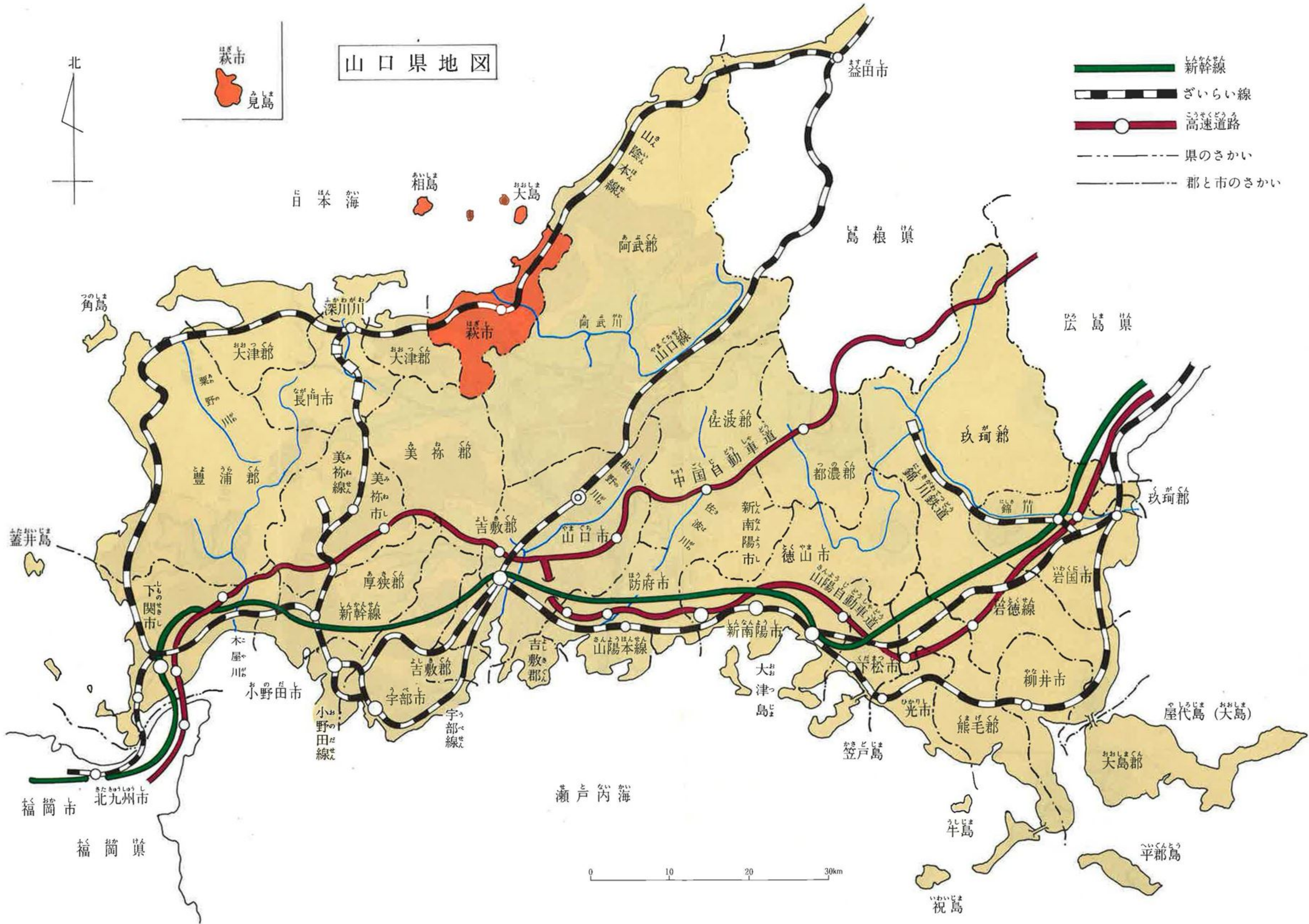
- == 国道
- 県道
- 市道
- 線路と駅
- ⇄ トンネル
- ≡ 橋
- 市のさかい
- 校区のさかい
- 川
- 0 から100m
- 100mから200m
- 200m以上
- しがいち



# 山口県地図



- 新幹線
- ざいらい線
- 高速道路
- 県のさかい
- 郡と市のさかい



小学校社会科 3・4年用  
わたしたちのふるさと 萩

平成5年4月1日発行

編集者 「わたしたちのふるさと 萩」編集委員会  
発行所 萩市教育委員会  
印刷所 大村印刷株式会社



## 萩市章

カタ仮名の「ハ」と「キ」を<sup>すけいてき</sup>図形的に組合わせたもので、中心の<sup>はし</sup>だき合った形が「ハ」、星が「キ」を表し、内には<sup>えんまん</sup>円満、外には<sup>はってん いみ</sup>発展を意味しています。

(昭和9年3月9日<sup>せいてい</sup>制定)



小学校

なまえ